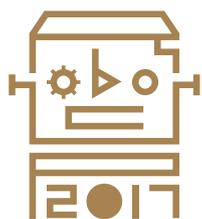
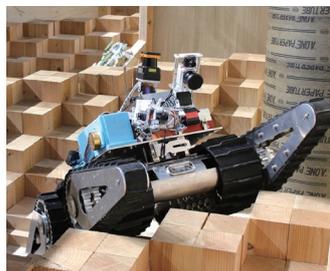
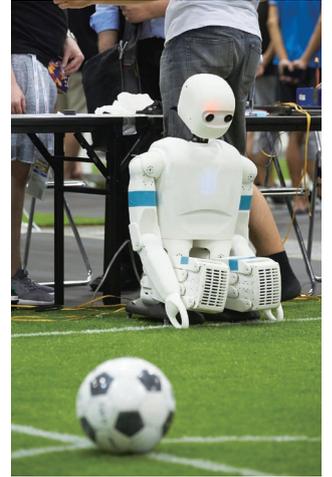
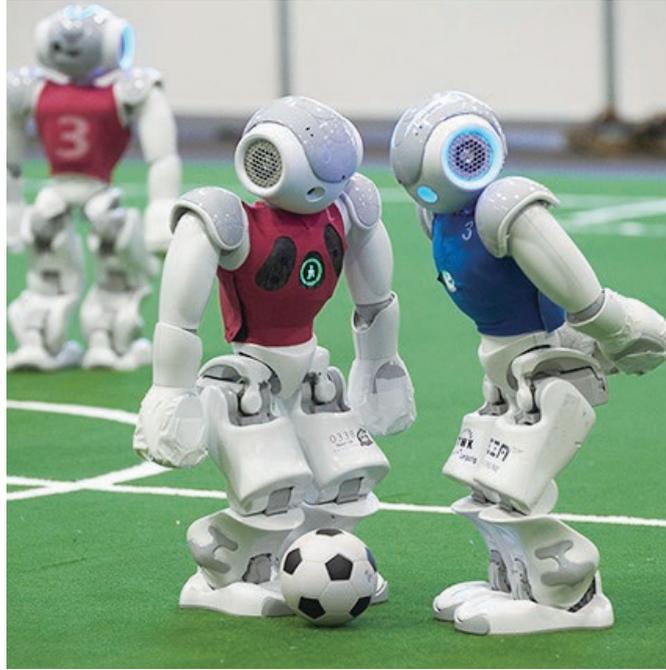


ロボカップ2017名古屋世界大会 開催報告書



RoboCup 2017
Nagoya Japan

ロボカップ2017名古屋大会開催委員会



目次

主催者ごあいさつ	P.4
1.大会概要	P.5
1-1 概要…P.5/1-2 ロボカップとは…P.8/1-3 スケジュール…P.8	
2.大会運営体制	P.9
3.競技概要	P.10
3-1 競技参加チーム数・参加者数…P.10/3-2 競技紹介…P.11	
4.ロボカップシンポジウム	P.24
4-1 概要…P.24	
5.関連事業	P.28
5-1 ロボカップ2017名古屋世界大会開催記念フォーラム…P.28	
5-2 展示会「ロボット技術・産業フェア」…P.29	
5-3 子ども向け事業…P.32	
5-3-1 ロボットパーク…P.32/5-3-2 子ども向けワークショップ…P.33	
5-3-3 からくり人形実演…P.33	
5-3-4 教育委員会と連携した科学館及びロボカップの見学ツアー…P.34	
5-3-5 レゴランドとの連携…P.34	
5-4 World Robotics x AI Seminar…P.35	
6.併催事業	P.36
6-1 世界青少年発明工夫展2017…P.36	
6-2 「愛知の発明の日」記念講演会…P.37	
6-3 アマゾン・ロボティクス・チャレンジ…P.38	
6-4 燃料電池バスの体験試乗…P.40	
6-5 ソニーランチョンセミナー…P.40	
6-6 フラワー・ロボティクスセミナー…P.40	
6-7 クープチャレンジ…P.41	
6-8 名古屋少年少女発明クラブによる見学会…P.41	
7.式典・交流事業	P.42
7-1 開会式…P.42/7-2 関係者交流会…P.43/7-3 閉会式・表彰式…P.43	
7-4 ジュニアパーティー…P.45/7-5 メジャーパーティー…P.46	
7-6 フェアウエルパーティー…P.47	
8.会場概要	P.48
9.大会運営	P.56
9-1 運営…P.56	
9-1-1 警備…P.56/9-1-2 救護、保険…P.56	
9-2 ボランティア…P.57	
9-2-1 大会支援ボランティア…P.57/9-2-2 競技運営ボランティア…P.60	
9-3 参加者関連…P.61	
9-3-1 News Letterの配信…P.61/9-3-2 査証(VISA)の取得支援…P.62	
9-3-3 ロボット等の輸送…P.62	
9-3-4 会場への誘導…P.63/9-3-5 参加登録…P.63	
9-3-6 宿泊支援…P.64/9-3-7 交通支援…P.65	
9-3-8 名古屋市科学館特別展入場券の配布…P.65	
9-3-9 参加者配布物…P.66/9-3-10 名水の配布…P.67	
9-4 来場者関連…P.68	
9-4-1 チケット販売…P.68/9-4-2 来場者配布物…P.69	
9-5 各種サービス…P.70	
9-5-1 飲食の提供…P.70/9-5-2 会場内ガイドツアー…P.71	
9-5-3 第1回世界大会(名古屋)映像の上映、競技解説…P.72	
9-5-4 トラストィツアー…P.72/9-5-5 来場者の輸送…P.73	
9-5-6 トラベルデスク等の設置…P.74/9-5-7 グッズショップ…P.75	

10.広報 P.76

- 10-1 チラシ・ポスター…P.76
- 10-2 広告等…P.77
 - 10-2-1 交通広告、新聞・雑誌における広告等…P.77 / 10-2-2 他団体との連携による広告…P.79
- 10-3 市広報媒体…P.80
- 10-4 記者会見…P.81
- 10-5 Webによる情報発信…P.82
 - 10-5-1 公式ホームページ…P.82 / 10-5-2 公式Facebookページ…P.83
 - 10-5-3 動画、映像配信…P.84
- 10-6 広報活動実績…P.88
 - 10-6-1 イベント…P.88 / 10-6-2 ブース出展…P.92
 - 10-6-3 その他の広報…P.93
- 10-7 大会中の報道対応…P.94
 - 10-7-1 プレスツアー…P.94 / 10-7-2 プレスルーム…P.95
 - 10-7-3 大会期間中の取材実績…P.95 / 10-7-4 各メディア報道実績…P.95
- 10-8 公式ロゴマーク・キャラクター…P.96
 - 10-8-1 ロゴマーク…P.96 / 10-8-2 キャラクター(キービジュアルロボット)…P.97

11.資料 P.98

- 11-1 ロボカップ2017名古屋世界大会開催へのあゆみ…P.98
- 11-2 開催委員会等の開催状況…P.99
- 11-3 国際委員会・開催委員会名簿…P.100
- 11-4 事務局体制…P.104
- 11-5 収支決算…P.104
- 11-6 設備…P.106
- 11-7 サイン表示等…P.112
- 11-8 ロボカップ2017名古屋世界大会 アンケート結果…P.113
 - 11-8-1 来場者アンケート結果…P.113
 - 11-8-2 ロボット技術・産業フェア 出展者アンケート結果…P.118
 - 11-8-3 大会支援ボランティア アンケート結果…P.119
- 11-9 大会結果…P.120
 - 11-9-1 出場チーム一覧…P.120
 - 11-9-2 表彰チーム一覧…P.128
- 11-10 大会関連記事一覧…P.135
- 11-11 主な大会関連記事(一部抜粋)…P.144



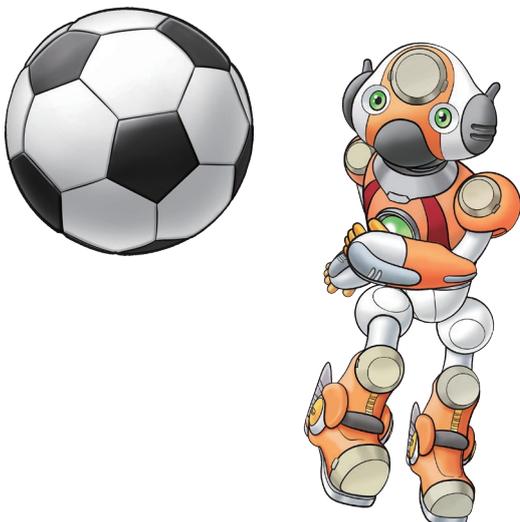
主催者ごあいさつ

「2050年までに、人型ロボットでサッカーのワールドカップチャンピオンに勝つ」という目標を掲げて1997年に始まったロボカップ世界大会が、このたび20年ぶりに発祥の地・名古屋で開催されました。本大会の開催により、この名古屋に世界42か国・地域から2,500名を超える研究者や学生、子どもたちが集い、約13万人の方々にご来場いただいたことを大変嬉しく思っています。開催にご尽力いただいた関係者の皆様方に心からお礼を申し上げます。

今大会ではロボットによる競技に加え、関連事業として展示会「ロボット技術・産業フェア」や子ども向けのワークショップ等を実施したほか、併催事業として「世界青少年発明工夫展」や「アマゾン・ロボティクス・チャレンジ」が開催されました。これらの事業を通じて国内外の多くの方々が最先端の技術に触れ、ロボット技術や人工知能への関心がより高まったのではないかと思っています。

名古屋を中心とした当地域は、自動車産業や航空宇宙産業、ロボット産業といったものづくり産業の集積地です。今大会を契機として当地域の研究開発が進展し、ものづくり産業が一層発展していくとともに、今大会に集まった子どもたちがロボット技術や人工知能などの研究を志し、将来のものづくり産業を支える人材となることを期待しています。

ロボカップ2017名古屋大会開催委員会
会長(名古屋市長) 河村 たかし



1

大会概要

1-1 概要

大会名称 | ロボカップ2017名古屋世界大会 (英語表記) RoboCup 2017 Nagoya Japan

期 間 | 2017年7月25日(火)～31日(月) ◆セットアップ: 7月25日(火)～26日(水)
◆競技期間(一般公開): 7月27日(木)～30日(日)
◆シンポジウム: 7月31日(月)

会 場 | (競 技 等) 名古屋市国際展示場
武田テバオーシャンアリーナ
(シンポジウム) 愛知大学名古屋キャンパス グローバルコンベンションホール

参加者数 | 392チーム 2,532人(42か国・地域)

来場者数 | 12万9,615人

◎ 27日: 25,304人 ◎ 28日: 31,260人 ◎ 29日: 44,961人 ◎ 30日: 28,090人

主 催 | ロボカップ国際委員会
特定非営利活動法人ロボカップ日本委員会
一般社団法人ロボカップジュニア・ジャパン
ロボカップ2017名古屋大会開催委員会

構成団体: 名古屋市、愛知県、名古屋商工会議所、(一社) 中部経済連合会、
ロボカップ国際委員会、(特非) ロボカップ日本委員会、
(一社) ロボカップジュニア・ジャパン、中部経済産業局、中部運輸局、
名古屋市教育委員会、(公財) 名古屋観光コンベンションビューロー、
(公財) 名古屋産業振興公社、(公財) 中部科学技術センター、
(公財) 人工知能研究振興財団、名古屋少年少女発明クラブ、
中部経済同友会、(公財) 科学技術交流財団

共 催 | 中日新聞社

後 援 | 文部科学省、経済産業省、観光庁、
一般社団法人日本ロボット工業会、一般社団法人日本電機工業会、
一般社団法人情報処理学会、一般社団法人情報処理学会東海支部、
一般社団法人人工知能学会、一般社団法人日本ロボット学会、
公益財団法人日本サッカー協会

関連事業 | ロボカップ2017名古屋大会開催記念フォーラム
展示会「ロボット技術・産業フェア」
子ども向け事業(ロボットパーク、ワークショップ、からくり人形実演等)
World Robotics x AI Seminar

併催事業 | 世界青少年発明工夫展2017
「愛知の発明の日」記念講演会
アマゾン・ロボティクス・チャレンジ 等



Sponsors of RoboCup 2017

Global Sponsors



Platinum Sponsors



Gold Sponsors



Silver Sponsors



Bronze Sponsors



Official Logistics Partner



この事業は、競輪の補助を受けています。
<http://hojo.keirin-autorace.or.jp>

協賛 |

プラチナスポンサー

アマゾンロボティクス	ソニー株式会社	トヨタ自動車株式会社
------------	---------	------------

ゴールドスポンサー

ブラザー工業株式会社	公益財団法人栢森情報科学振興財団	西日本電信電話株式会社
パナソニック株式会社	リンナイ株式会社	THK株式会社
TIS株式会社		

シルバースポンサー

A Z A P A 株式会社	中部電力株式会社	中京大学
CKD株式会社	ダイドー株式会社	富士機械製造株式会社
萩原電気株式会社	マクソンジャパン株式会社	名城大学
名鉄グループ	ナブテスコ株式会社	日本電気株式会社
株式会社NTTドコモ	エヌビディア合同会社	岡谷鋼機株式会社
東洋電機株式会社	矢作建設工業株式会社	

ブロンズスポンサー

アイシン精機株式会社	アイシン・コムクルーズ株式会社	株式会社バッファロー
東海旅客鉄道株式会社	株式会社デンソー	宝和工業株式会社
株式会社ジェイテクト	明治電機工業株式会社	名港海運株式会社
名古屋トヨペット株式会社	中西電機工業株式会社	ナカシャクリエイテブ株式会社
南山大学	日本ガイシ株式会社	SegwayRobotics Inc.
シヤチハタ株式会社	東邦ガス株式会社	株式会社豊田自動織機
豊田通商株式会社	株式会社ベガコーポレーション	株式会社八幡ねじ
株式会社吉田SKT		

オフィシャルロジスティクスパートナー

日本通運株式会社

(企業名(英語)のアルファベット順)

特別協力 | 公益財団法人JKA

協力機関 | イオンリテール株式会社 / 愛知工業大学 / 愛知県立大学 / 愛知製鋼株式会社 / 愛知大学
株式会社大丸松坂屋百貨店 / 中京大学人工知能高等研究所 / 日本たばこ産業株式会社
公益社団法人名古屋青年会議所 / 小島プレス工業株式会社 / 名古屋オーシャンズ
豊田工業高等専門学校 / 株式会社日本パーツ製作所
株式会社名古屋グランパスエイト / ロボットスタート株式会社 / 株式会社サガミチェーン
武田テバファーマ株式会社 / 東和不動産株式会社 / 豊田合成株式会社 / トヨタ車体株式会社
トヨタ紡織株式会社 / トヨタホーム株式会社 / 豊通ファイティングイーグルス名古屋
名古屋市交通局 / 名古屋市上下水道局

1-2 ロボカップとは

ロボカップ (RoboCup) は、ロボット工学と人工知能の融合、発展のために自律移動ロボットによるサッカーを題材として日本の研究者らによって提唱されました。

西暦2050年「サッカーの世界チャンピオンチームに勝てる、自律型ロボットのチームを作る」という夢に向かって人工知能やロボット工学などの研究を推進し、様々な分野の基礎技術として波及させることを目的としたランドマーク・プロジェクトです。

1997年に名古屋で第1回大会を開催して以降、世界各地で開催され、現在では、サッカーだけでなく、大規模災害への対応を想定したレスキュー、次世代の技術の担い手を育てるジュニアなどの競技が行われています。

ロボカップ世界大会の開催状況

回	年	開催国・都市	回	年	開催国・都市
1	1997(平成9)	日本・名古屋	12	2008	中国・蘇州
2	1998	フランス・パリ	13	2009	オーストリア・グラーツ
3	1999	スウェーデン・ストックホルム	14	2010	シンガポール
4	2000	オーストラリア・メルボルン	15	2011	トルコ・イスタンブール
5	2001	アメリカ・シアトル	16	2012	メキシコ・メキシコシティ
6	2002(平成14)	日本・福岡・韓国・釜山	17	2013	オランダ・アイントホーフェン
7	2003	イタリア・パドヴァ	18	2014	ブラジル・ジョアンペソア
8	2004	ポルトガル・リスボン	19	2015	中国・合肥
9	2005(平成17)	日本・大阪	20	2016	ドイツ・ライプチヒ
10	2006	ドイツ・ブレーメン	21	2017(平成29)	日本・名古屋
11	2007	アメリカ・アトランタ			

1-3 スケジュール

◆全体スケジュール

7月	25日(火)	26日(水)	27日(木)	28日(金)	29日(土)	30日(日)	31日(月)
セットアップ	メジャー						
		ジュニア					
競技(一般公開)			競技				
式典		開会式				表彰式/閉会式	
交流事業		関係者交流会		ジュニアパーティー		メジャーパーティー	フェアウェルパーティー
シンポジウム							シンポジウム
展示会			ロボット技術・産業フェア				
子ども向け事業			ロボットパーク・ワークショップ				
					からくり人形実演		
セミナー			World Robotics x AI Seminar				
併催事業			世界青少年発明工夫展2017				
				「愛知の発明の日」記念講演会			
			アマゾン・ロボティクス・チャレンジ				

◆開場時間

日程	競技者		一般来場者
	開場時間	備考	開場時間
7月25日(火)	8:00~22:30	メジャーチーム受付、セットアップ	—
7月26日(水)	8:00~22:30	ジュニアチーム受付、セットアップ	—
7月27日(木)	7:00~22:30	競技	9:00~18:00
7月28日(金)	7:00~22:30	競技	9:00~18:00
7月29日(土)	7:00~22:30	競技	9:00~18:00
7月30日(日)	7:00~21:00	競技	9:00~16:00
7月31日(月)	8:50~19:30	シンポジウム	—

ロボカップ国際委員会

・大会参加者の登録受付 ・競技ルールの設定 等

ロボカップ2017名古屋大会開催委員会

・大会の運営及び準備

【開催委員会】

- ・事業計画及び収支予算の決定
- ・事業報告及び収支決算の承認
- ・運営に関する重要事項の決定 等

会 長：名古屋市長

副会長：(特非)ロボカップ日本委員会会長
愛知県副知事(産業労働部所管)
名古屋市副市長(市民経済局所管)
名古屋商工会議所専務理事
(一社)中部経済連合会専務理事

委 員：(特非)ロボカップ日本委員会専務理事
(一社)ロボカップジュニア・ジャパン代表理事
ロボカップ国際委員会理事
中部経済産業局地域経済部長
中部運輸局観光部長
愛知県産業労働部長
名古屋市市民経済局長
名古屋市観光文化交流局長
名古屋市教育委員会教育長
(公財)名古屋観光コンベンションビューロー理事長
(公財)名古屋産業振興公社理事長
(公財)中部科学技術センター専務理事
(公財)人工知能研究振興財団理事長
名古屋少年少女発明クラブ会長

監 事：中部経済同友会常務理事
(公財)科学技術交流財団専務理事

(特非)ロボカップ日本委員会 (一社)ロボカップジュニア・ジャパン

- ・国内のロボカップ参加者の総括
- ・競技会場計画の検討
- ・競技会の準備

【アドバイザー】

・大会開催に関する助言

- ◆浅田 稔
(大阪大学大学院工学研究科教授)
- ◆北野宏明
(株式会社ソニーコンピュータサイエンス研究所
代表取締役社長)
- ◆田所 諭
(東北大学大学院情報科学研究科教授)
- ◆松原 仁
(公立ほこだて未来大学
システム情報科学部教授)

【運営部会】

- ・大会運営及び準備内容の検討
- ・大会の広報についての検討 等

【競技専門部会】

- ・競技会の運営及び準備内容の検討
- ・競技会場計画の検討 等

3

競技概要

3-1 競技参加チーム数・参加者数

リーグ			参加チーム数	参加者数
ロボカップ サッカー RoboCupSoccer	ヒューマノイドリーグ Humanoid League	キッドサイズ KidSize	17	152
		ティーンサイズ TeenSize	9	73
		アダルトサイズ AdultSize	8	62
	スタンダードプラットフォームリーグ Standard Platform League		24	204
	中型ロボットリーグ Middle Size League		7	80
	小型ロボットリーグ Small Size League		20	192
	シミュレーションリーグ Simulation League	2D	16	53
		3D	12	44
ロボカップ レスキュー RoboCupRescue	ロボットリーグ Robot League		20	153
	シミュレーションリーグ Simulation League	エージェント Agent	13	49
		バーチャルロボット Virtual Robot	6	26
	ラピッドリーマニュファクチャードロボット競技 Rapidly Manufactured Robot Competition		10	54
ロボカップ @ホーム RoboCup@Home	オープンプラットフォームリーグ Open Platform League		15	153
	ドメスティックスタンダードプラットフォームリーグ Domestic Standard Platform League		10	76
	ソーシャルスタンダードプラットフォームリーグ Social Standard Platform League		7	40
ロボカップ インダストリアル RoboCupIndustrial	ロボカップロジスティクスリーグ RoboCupLogistics League		7	47
	ロボカップ@ワークリーグ RoboCup@Work League		8	42
メジャー 小計			209	1,500

リーグ			参加チーム数	参加者数	
ロボカップジュニア RoboCupJunior	サッカー Soccer	ライトウェイト Lightweight	プライマリ Primary	16	79
			セカンダリ Secondary	22	129
	オープン Open		20	108	
	レスキュー Rescue	ライン Line		38	219
		メイズ Maze		22	107
		コススペース CoSpace	プライマリ Primary	10	62
			セカンダリ Secondary	15	80
	オンステージ OnStage	プライマリ Primary		19	126
		セカンダリ Secondary		21	122
	ジュニア 小計			183	1,032

合計 392 2,532

※参加登録情報を基に集計

3-2 競技紹介

RoboCupSoccer ロボカップサッカー

Humanoid League ヒューマノイドリーグ

Major League



ヒューマノイドリーグはロボットのサイズによって、3つのサブリーグに分かれている。いずれも二足歩行ロボットを使用するため、移動したり、ボールを正確にキックすることが課題。スピードも人間のように速く動けない。それでも歩行やキックでのバランス能力、周囲のロボットやフィールドを把握する能力、チーム戦略など、技術レベルは年々向上しており、将来のヒューマノイド開発に重要な技術の発展に大きく寄与することが期待される。

- キッド(KidSize)40～90cm／1チーム 4台
- ティーン(TeenSize)80～140cm／1チーム 3台
- アダルト(AdultSize)130～180cm／1チーム 1台

競技レポート



あまり大きなルール変更がなく、各チームともこれまでの技術をブラッシュアップして臨んでいるようであった。そのためかKidSizeの1-3位の顔ぶれは昨年と全く一緒であった。TeenSizeでは樹脂パーツを利用した積極的な軽量化が功を奏していた。人工芝でも歩けるようスパイクを装備したり、ボール認識に機械学習を使う等は一般的な技術となっている。ルールの大変更から3年目となり、各チームの水準が上がってきたためKidSizeとTeenSizeでは接戦が増えていた。しかしながらAdultSizeは1対1の試合に移行したため、10分間サッカーをプレーできる信頼性が勝敗に直結し一方的な展開になりやすかった。また、新しい取り組みとして、Drop-In Game (混合戦) が導入された。これはくじ引きで構成された混成チーム同士が戦い、その試合の中での活躍に応じてチームに得点を配分するやり方である。くじ引きによる混成チームのため、連携プレーのようなものを大会前に準備するのは難しく、基本的にはストライカーが単独で攻め込んで行ってゴールするといったような試合展開となった。



競技スケジュール

キッド(KidSize)

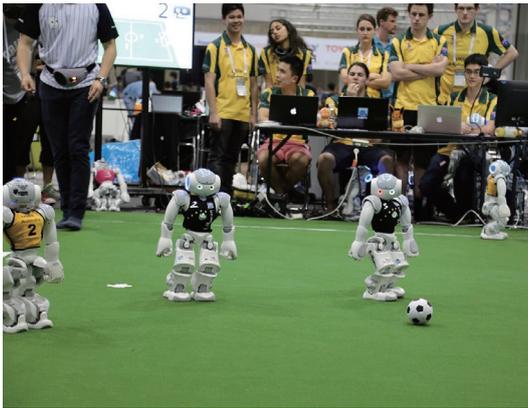
- ◎7月27日: 予選
- ◎7月28日: 予選
- ◎7月29日: 予選、準々決勝
- ◎7月30日: 準決勝、3位決定戦、決勝

ティーン(TeenSize)

- ◎7月27日: 予選
- ◎7月28日: 予選
- ◎7月29日: 予選、準決勝
- ◎7月30日: 3位決定戦、決勝

アダルト(AdultSize)

- ◎7月27日: 予選
- ◎7月28日: 予選
- ◎7月29日: 予選、準決勝
- ◎7月30日: 3位決定戦、決勝



ソフトバンクロボティクスのコミュニケーションロボット「NAO」(身長約58cm)を使用してサッカー競技を行うリーグ(1チーム5台)。各チームはほぼ同一のハードウェア条件で行うが、サッカーに特化したロボットではないので動きには限界がある。各ロボットはコミュニケーションをとりながら、それぞれが自律的に判断しながらプレイする。

競技レポート

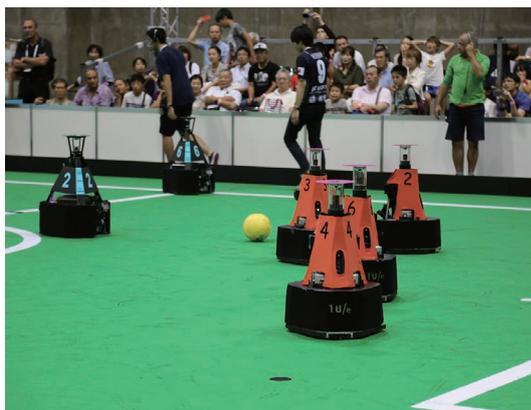


各チーム同一のロボットを使用する中で、ドイツのチームはロボットの上半身について、狭いところでは腕を胴体に寄せるような動きを見せていた。また、今年からの初の取り組みとして2つのチームを混成して1つのチームを作るMixed Teams Competitionを行った。これは、ヒトであれば様々なメンバーでチームを構成しても、すぐにサッカーの試合ができる。一方スタンダードプラットフォームリーグでは、1つのチームのロボットのプログラムは同一のチームメンバーが作成しているため、普段は他者によりプログラムされたロボットがチームメンバーに入ることは考えていない。しかし、将来ヒトと試合をし、あるいはヒトとチームを作れるようなロボットには、そういった考え方の異なるロボットとも協調して動作が必要であるための試みである。また、今年度の大会ではChampions Cup(上位リーグ)とChallenge Shield(下位リーグ)に分け、新しく参加したチームに対しても表彰ができるようにし、来年以降の参加を奨励するような仕組みを導入した。



競技スケジュール

- ◎7月27日: 予選
- ◎7月28日: 予選
- ◎7月29日: 予選
- ◎7月30日: 3位決定戦、準決勝、決勝、チャレンジシールド、混合チーム戦



幅52cm四方×高さ80cm以下に収まる自律ロボットにより、1チーム5台でサッカー競技を行う。フィールドは最大12m×18mの緑色のカーペット上で、人間のサッカーと同じ5号球の大会前に指定された色のボールを使用する。カメラを含むセンサー類や動くために使用されるコンピュータなどは各ロボットに搭載されており、ほかのロボットとの位置を共有しながら戦略的にプレイする。

競技レポート

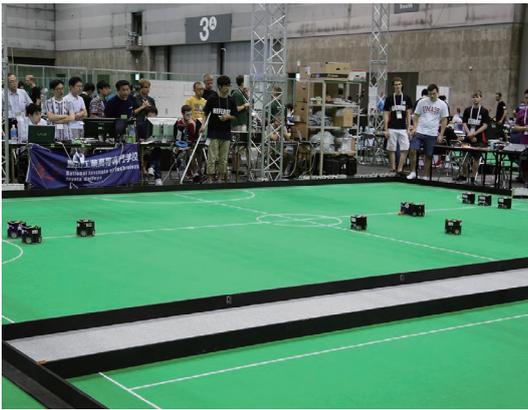


ドリブルでのパスプランニングによる攻撃からパスを用いた攻撃を推奨し、飛躍的に仲間とのコミュニケーション技術や群知能としての協調作業の進化が進んでいる。今大会では、これまでにはなかったスルーパスや15m以上のパスの成功率が上昇し、大会を大いに盛り上げた。また、大会自体においてルールは年々ロボットへの接触行為や衝突に関して厳しくなっているが、ロボットの障害物回避技術や目標地点へ向かうための最短経路を探索する技術も年々上がってきている。大会優勝チームのWaterは、決勝戦終了後の人とのエキシビジョンマッチで、うまくパスを行い得点する事ができた。しかし、まだ人間に勝つためには多くの技術課題があり、今後は人間との対戦を含めたサッカーの戦術や行動の生成を行っていくことが課題である。



競技スケジュール

- ◎7月27日：予選
- ◎7月28日：予選
- ◎7月29日：予選
- ◎7月30日：準決勝、決勝



直径18cm 高さ15cm以下のロボットを使い、1チーム6台で競う。フィールドは長さ9m×幅6mの緑色のカーペットで、ボールはオレンジ色のゴルフボールを使用する。フィールド上方に設置された4台のカメラによるビジョンシステムと、審判のジャッジ等の情報が両対戦チームに送信され、ロボットはそれらの情報を元に無線で通信を行い、自律的かつ戦略的にプレイする。

競技レポート



昨年優勝のMRLが不調(本大会6位)で、昨年準優勝のCMDragonsは不参加であったため、昨年の上位チームはどこも優勝を虎視眈々と狙っていた。優勝したSRCは初出場であったが、メンバーは今年3位のZJUNlictのOBであり、優勝経験もあるベテランチームともいえた。彼らは格安の部品(他製品の流用)で、ロボット自体を驚くほどの安価で製作し、販売も予定しているという。予選を勝ち抜いた日本チームでは、OP-Amp(浅神製作所)が世界で唯一のカーブシュートが可能なキック機構を本大会で初披露した。残念ながら、本大会準優勝のER-Forceとの本戦1回戦で、十分な性能を発揮できず敗退した。KIKS(豊田高専)も同成績のベスト12、最高位はRoboDragons(愛知県立大学)の5位であった。多くのチームは過去のログ解析から、戦略パターンを検討あるいは学習させている。今後はフィールドサイズの拡大やロボット台数の増加などのルール改正が検討されており、パワープレイに頼らないスマートな試合運びを実現するAIの進化に期待したい。

競技スケジュール

- ◎7月27日: 予選
- ◎7月28日: 予選、テクニカルチャレンジ
- ◎7月29日: 予選、テクニカルチャレンジ
- ◎7月30日: 3位決定戦、準決勝、決勝



シミュレーションは実際のロボットは使わず、TVディスプレイ内で行うサッカー競技である。ビデオゲームを行っているようにも見えるが、人間のプレイヤーではなく自律型システムが対戦するので人工知能による対戦競技と表現されることもある。競技はSoccerServerと呼ばれるサーバー上で行われ、プレイヤーの数は11対11、各プレイヤーは仮想のセンサーを使用して周囲の状況やボールの位置等を把握して行動する。サブリーグとして「3D」と「2D」がある。3D (Soccer 3D Simulation League) はソフトバンクロボティクスの「NAO」をプレイヤーに見立てて行う。2D (Soccer 2D Simulation League) はロボカップサッカーで最も古い歴史を持つ競技のひとつで、高度な戦術を自律した人工知能がスピーディにサッカーで競い合う。

競技レポート



2Dは日本チームであるHELIOS2017 (福岡大学、大阪府立大学) が無敗で優勝した。HELIOS2017は対戦相手の戦術を試合中に識別し対応することで、安定した戦績を残した。準優勝のFRA-UNitedは強化学習によって選手の行動を改良するアプローチを採っており、以前から非常に高い個体性能を見せていたが、今大会ではチーム戦術の完成度も高まっており、順位を上げた。参加チームが採る戦術の多様性と完成度が高まっており、今後より柔軟な適応能力が必要になると予想される。



3Dでは、UT Austin Villa 3Dが機械学習技術により獲得した動作をさらに成熟させ、安定の優勝であった。また、戦略シミュレータを開発してチーム戦略の改善を行った magmaOffenburgが準優勝の成績を収めた。日本チームも FUT-K (福井工業大学) が3位の好成績を収めた。これまではドリブルを軸とした個人スキル中心の組み立てであったが、精度よくパスを狙うチームが現れており、今後はチーム戦略が重要になると考えられる。

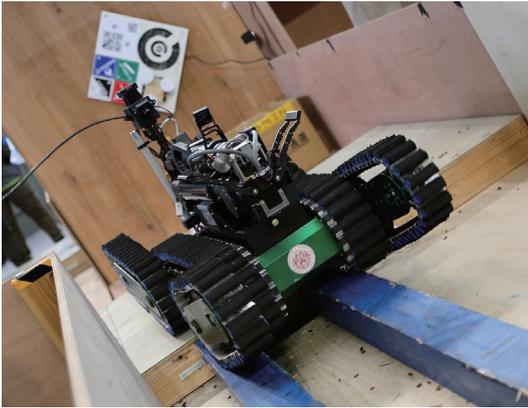
競技スケジュール

2D

- ◎7月27日: 予選
- ◎7月28日: 予選
- ◎7月29日: 予選
- ◎7月30日: 決勝トーナメント

3D

- ◎7月27日: 予選
- ◎7月28日: 予選
- ◎7月29日: 予選
- ◎7月30日: 準決勝、決勝



災害現場を想定したフィールド内に複数配置された被災者をロボットが探索して発見や救命活動を行う。ロボットは操縦機構と自律機構を併せ持ち、カメラ、温度センサー、二酸化炭素センサーなどを搭載している。ロボットの障害走破回数、発見した被災者の数、操縦者の人数などによって採点が行われる。例えば、凹凸のある災害現場や回転するパイプの障害物を乗り越えて通行するなどの操縦性と走破性、自律型の場合は自律走破性が試されたり、鉛直で斜めの棒を押して進んだり、押し型・引き型のドアの開閉や通り抜け、触る、回る、はずすなどの器用さが要求されるタスクもある。

競技レポート



昨年、大幅なルール変更を行ったため、今年のルールは昨年のルールをほぼ踏襲する形となった。なお、主な変更点は次の5点であった。(1) レディネステストは競技時間内に行う、(2) 遠隔操縦ロボットの競技時間は5分短縮、自律／半自律ロボットの競技時間は5分増加、(3) 小型ロボットの認定条件に直径60cmの塩ビパイプの通過を追加、(4) レディネステスト要素(特にDexterity)の変更、(5) 賞の見直し。予選では、各ロボットの性能評価を目的として、(1) 操作性 (Maneuvering)、(2) 走破性 (Mobility)、(3) 器用さ (Dexterity)、(4) 環境認識能力 (Exploration) に関するカテゴリーに対して合計21のテストコースを用意した。予選の結果を分析した結果、決勝に残ったチームは、それぞれ得意分野に集中して評価テスト項目を選んでいただいていたことがわかった。優勝したYRAや2位のiRAP Robotは、操作性や走破性の項目に集中し、3位のMRLや4位のShinobi(京都大学)はそれぞれ環境認識能力、器用さに特化していた。また、自律制御促進を目的に、逆運動学や経路ナビゲーションなどを導入しているチームを事前にヒアリングし、競技ポイントに反映させた。

競技スケジュール

- ◎7月27日: 予選
- ◎7月28日: 予選
- ◎7月29日: 予選
- ◎7月30日: 決勝ラウンド



コンピュータ内に作られた市街地で大規模災害が発生したことを想定し、「エージェント」と呼ばれる救助隊や消防隊、道路警戒隊を導入して、要救助者を探して救助するシミュレータ内の競技である。例えば、火事を消火する消防エージェント、建物から要救助者を救助する救急エージェント、壊れた道路を修復する土木(啓開)エージェント等が協力し、被災者の探索と救助を行う。被災地の災害状況は視覚情報、通信情報(音声・無線)、各エージェント自身が取得した情報である。火災の状況や、建物の中に要救助者がいるかどうかはエージェントが近付いて確認する必要がある。火災には温度、燃焼度、倒壊度などの数値が与えられ、数値は順次変わっていき、延焼した家屋が燃え尽きたり、近隣の建物への飛び火、建物の倒壊など、災害は進行していく。市民も自力で歩いて避難所に向かう人もいて、その場合は倒壊した道路を修復して安全な避難路を確保することが重要となる。

競技レポート



競技は都市規模の災害救助を目的とした Agent Competition (エージェント) と、実機を用いた競技のシミュレーションである Virtual Robot Competition (バーチャルロボット) が行われた。Agent Competition は、今年から全チームで ADF という共通のソフトウェア・プラットフォームが導入された。このプラットフォームにより、競技の目的となる重要なアルゴリズムを部分的に取り出すことが可能となったため、参加チーム相互に「資源割当」アルゴリズムを交換した Technical Challenge が実施され、その有効性を広く確認できた。今後の学術研究への応用が大いに期待できる。Virtual Robot Competition は、Gazebo と呼ばれるソフトウェアを用いたプラットフォームを導入し、ROS ベースの開発がサポートされた。また現実に近いレンジセンサー、カメラなども利用可能になったため、これまでよりも現実に近いシミュレーション競技を実現可能とした。競技自体、発展途上であるが、今後の発展を大いに期待させる内容となった。



両競技とも災害救助を対象とした重要な競技であり、学術及び社会の両面からの貢献を期待できる内容であった。

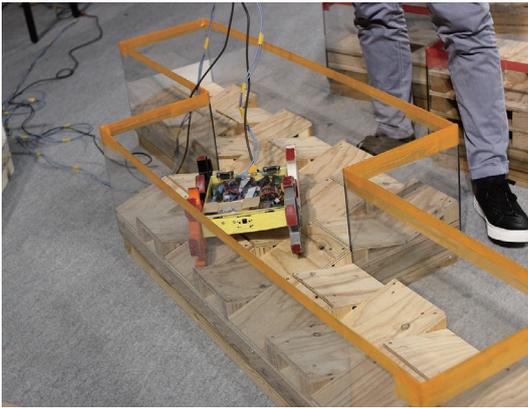
競技スケジュール

Agent
(エージェント)

- ◎7月27日: 予選
- ◎7月28日: 予選
- ◎7月29日: 準決勝
- ◎7月30日: 決勝

Virtual Robot
(バーチャルロボット)

- ◎7月27日: 予選
- ◎7月28日: 予選
- ◎7月29日: 予選
- ◎7月30日: 決勝



今大会から新たに始まった高校生、高専生、大学生を対象した競技会である。ラピッドリーマニファクチャードロボット競技は、災害現場での探索、救助活動を題材に、限られた空間で活動するロボット、センサーなどの技術の入り口になるタスクを取り上げている。

競技レポート



今大会から正式競技として実施され、競技ルールはメジャーのルールに準拠する形で行われた。決勝には5チームが進み、優勝したのはS.A.R.Tで、彼らのシステムはOpen SourceとしてWEB上で公開されており、新しい競技カテゴリーである本競技の普及に貢献している。国内チームではTUPAC(東京都立産技高専)が3位となり健闘した。国内から参加したもう一つのチームであるTeam AIT(愛知工業大学)は、無線通信の環境が良好ではなかったため苦戦していた。メジャーと同等の性能を小型のロボットに求められ、参加者に求められる技術レベルが比較的高いが、メジャーとジュニアの橋渡しの存在として今後の展開が期待される。



競技スケジュール

- ◎7月27日: 予選
- ◎7月28日: 予選
- ◎7月29日: 予選
- ◎7月30日: 決勝ラウンド



ロボカップ@ (アット) ホームは、日常生活でのロボットの利用を想定し、リビングルームやキッチンなどの家庭環境において、いかに人間との暮らしに役立つ作業を遂行できるかを競う。ドアを開閉したり、モノをつかんだりといったロボットアームやマニピュレーション技術が重要である。また、人間を追尾したり、ロボットと人が自然にコミュニケーションをとることも重視される。各種センサーを駆使し、音声対話技術や画像認識技術なども問われる。自作したロボットで競うカテゴリーは「Open Platform League」(OPL)と呼ばれ、その他、トヨタ自動車製のロボット「HSR」で競う「Domestic Standard Platform League」(DSPL)や、ソフトバンクロボティクスの「Pepper」で競う「Social Standard Platform League」(SSPL)がある。

競技レポート



@ホームでは、自作したロボットで競うOPLに加え、今大会から、トヨタ自動車のHSR(ヒューマンサポートロボット)で競うDSPL、ソフトバンクロボティクスのPepperで競うSSPLの2つの競技が追加された。2つのスタンダードプラットフォームリーグは、基本的に同じ型のロボットで競うことにより、ソフトウェアの開発の促進を目指すものであり、ハードウェアの改造が禁止されているため、OPLと同様の競技が実施できるのか懸念されたが、上位の参加チームについては、見事に競技をこなすことが出来た。また、競技会場については、床をカーペットではなく、木目調のフロアシートを張ることにより、部屋の境界が明確になったほか、競技会場を凹型にすることにより、競技会場の内側に観客が入れるようにし、観戦しやすいよう配慮に努めた。



競技スケジュール

- ◎7月27日: 予選
- ◎7月28日: 予選
- ◎7月29日: 予選
- ◎7月30日: 決勝ラウンド

移動可能な産業用ロボットによる物流や倉庫管理システムを題材とした競技で、インダストリー4.0を視野に入れて、ロボットによる自動化・自律化・移動可能なロボット技術を競う。インダストリー4.0とは、情報技術を駆使した製造業の革新を指す。機械同士、または、機械と人とが連携して動くことにより、製造現場が最適化されると想定されている。



RoboCupLogistics League

(ロボカップロジスティクスリーグ)

大量生産に適した固定ラインから、多品種少量生産に対応する柔軟なライン体制を重視する工場が増えているが、そのような工場では製品を作るために複数の素材を複数の加工機械に運ぶ機能が必要である。そんな環境にも適合できるように、3台のロボットが加工機器の間を動き回り、協調して効率の良い生産のプランニングとスケジューリングを目指す競技である。



RoboCup@Work League

(ロボカップ@ワークリーグ)

インダストリー4.0のスマート工場では、産業用ロボットアームを備えた移動ロボット「モバイル・マニピュレータ」が人間を支援すると考えられている。その将来を想定してロボット技術を競い、車輪などの移動機構を備えたロボットアームが部品を検知して回収し、目的地へと運ぶ。

競技レポート



ロボカップインダストリアルはドイツの国家プロジェクトであるインダストリー4.0を想定した競技であることからかヨーロッパ圏の参加チームが多く、優勝もロジスティクスリーグがアーヘン工科大学のCarologistics、@ワークリーグがニュルンベルク専門大学のAutonOHMと両リーグともにドイツのチームとなった。ロジスティクスリーグと@ワークリーグはそれぞれ独立した競技であったが、ロボカップインダストリアルとして工業化技術を競う扱いとなり今大会が2回目となった。ロジスティクスリーグでは昨年、大きなルール変更があり、優勝チームであるCarologistics以外のチームが製品の加工を行えなかったが、今大会ではいくつかのチームも加工工程を行えるようになり、競技の進展が見られた。来年、カナダで開催される世界大会では各チームの更なる技術向上で戦略等の進歩が期待でき、本来の競技目的であるスケジューリングやプランニングの実現が期待できる。

競技スケジュール

RoboCupLogistics League (ロボカップロジスティクスリーグ)

- ◎7月27日：予選
- ◎7月28日：予選
- ◎7月29日：予選
- ◎7月30日：決勝

RoboCup@Work League (ロボカップ@ワークリーグ)

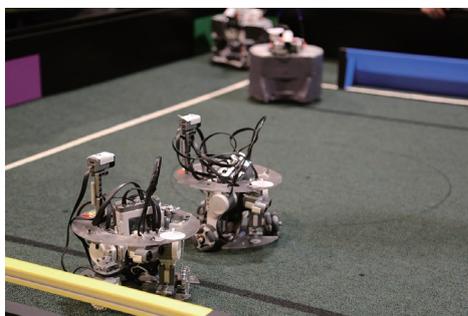
- ◎7月27日：予選
- ◎7月28日：予選
- ◎7月29日：予選
- ◎7月30日：決勝ラウンド

RoboCupJunior ロボカップジュニア

ロボカップジュニアは、11歳以上19歳以下の子どもたちが参加するリーグである。ロボカップジュニアの種目は「サッカー」「レスキュー」「オンステージ」があり、ロボカップ2017名古屋世界大会では「レスキュー(ライン・メイズ)」以外の競技で「プライマリ」(14歳以下)と「セカンダリ」(19歳以下)の年齢区分が設けられた。

Soccer サッカー

Junior League



各チーム2台のロボットで行うサッカー競技で、2台のロボットはBluetoothかZigBeeによる相互通信が認められる。また、ロボットは直径22cm×高さ22cmの円筒形状に収まるサイズと規定されている。

ロボットの重量によって「オープンリーグ」(2.4kg)と「ライトウェイトリーグ」(1.1kg)に分けられ、前者はオレンジ色のボール、後者は赤外線を発光するボールを使用する。

競技レポート



各クラスとも、昨今の3Dプリンタ、CNCなどの加工機の普及で、これを用いた洗練された機体が増えており、想いをカタチにできる環境が急速に普及しているように見える。一方で、世界大会のため他国のチームの実力を見て、会場で更なる改良・改修するチームも多く、パドックでは連日はんだ作業、部品加工が行われていた。

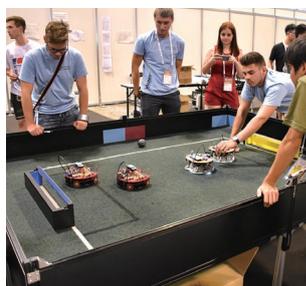
オープンリーグ

ルール変更があり、難易度を高める狙いで今大会からボールがパッシブボール(オレンジ色のボール)となった。今までのIRボール(赤外線を発するボール)ではボール認識に赤外線リモコンの素子を使っていたチームが多かったが、今回の変更によりほとんどのチームがカメラを用いていた。カメラの搭載は1台と限られているため、自作した凸面鏡を用いて視野を360度に拡大しているチームが多く、全チームが対応出来ていた。重量制限が緩く、スピード・パワーを上げられて、頑丈な機体を組める反面、止まれないためラインから機体が出て退場になる例が多かった。1位になった日本のINPUT(長岡高専)は、1度も故障退場が無く、白線オーバーでの退場もほぼ無かった。



ライトウェイトリーグ

ここ数年で大きなルールの変更が無いいためか、ほとんどのチームが「オムニホイール」「多数のボールセンサー」「距離センサー」「床の色センサー」「方位センサー」を使用しており、年齢を問わず、技術的なスタンダードが出来てきている。しかし、これらを積むにも重量面での制約があり、年齢による差は軽量化の手法や作り込み、センサーなどアイテムの取捨選択・戦略に現れていた。日本の4チームは比較的安定して健闘し、プライマリ総合1位となったTeam Takahama Robots(たかほま夢・未来塾)は堅牢な機体で安定していた。



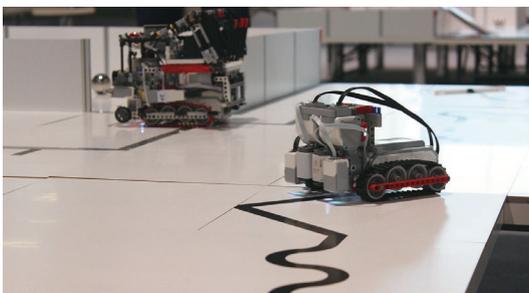
競技スケジュール

- ◎7月27日:予選
- ◎7月28日:予選
- ◎7月29日:決勝ラウンド
- ◎7月30日:スーパーチーム決勝ラウンド



ジュニアのレスキューはロボカップレスキューとは異なるルールで行われる。決められたラインに沿ってロボットが移動する「ライントレース」(Rescue Line)、迷路の中を進む「メイズ」(Rescue Maze)がある。フィールドには大小様々な障害物も置かれ、被災者を素早くみつけて救助することが高得点に繋がる。また、「コospace」(CoSpace)と呼ばれる、シミュレーション画面内で救助を行う競技もある。被災現場のフィールドに合わせ、その場でプログラムを作成し救助活動を行い、さらには作成したプログラムをダウンロードした実機でも競技を行う。

競技レポート



レスキューライン

「プライマリ」と「セカンダリ」の区分がなくなり、チームが課題レベルを選択したが、「セカンダリ」に相当するレベルを選択するチームがほとんどであった。今大会から、トリアージ課題が導入された。競技最終日に行われるスーパーチームでは抽選でペアを組んだチームが特別な課題に挑戦した。ここでも、トリアージが大きな課題だったため積極的に挑むチームが増え良い競技となった。



レスキューメイズ

今大会はカメラを使用して文字を認識しトリアージを行う課題が追加された。まだ達成率の低い課題であったため、来年以降に期待したい。



レスキューコospace

充電器の不具合から実機での競技がほとんど行われなかったのが残念だった。参加者全員が個別に参加するゲームが設けられているのは、あまり取り上げられないが特筆に値する。またフィールドが会場入口に設けられたこともあり観客が多かった。画面の中のロボットの動きにチームも観客も一喜一憂する一体感は素晴らしかった。

競技スケジュール

- ◎7月27日：予選
- ◎7月28日：予選
- ◎7月29日：決勝ラウンド
- ◎7月30日：スーパーチーム決勝ラウンド



オンステージは、発想力や芸術性が特に問われる。ルールによる制限が少ないことが大きな特徴である。ロボットの台数や大きさにとられず、ロボットのみならず、ロボットと人間のコラボレーションを目指すなど、自由な発想で競うことが最大の魅力である。審査方法も独特で、ロボット(と人間)が演技をするパフォーマンス審査とともに、面接方式のインタビュー審査も行われ、出場する子どもたちはプレゼンテーションや説明する能力、工夫でも競う。審査の基準は「プログラミング」「構造・構成」「センサーの使用」「振付け」「衣装」「エンターテインメント性」6つのカテゴリーに分かれている。ロボットと共同したアート表現の要素があるため、家族みんなで観覧するのも楽しい競技である。

競技レポート



今大会では審査方法の大きな改定が行われ、ロボット(と人間)が演技をする従来のパフォーマンス審査(Performance)に加え、自分たちのロボットを観客に向けて紹介するデモンストレーション審査(Open Technical Demonstration)、その直後に舞台袖で審査員による詳細な調査を受ける面接方式のインタビュー審査(Technical Interview)が行われた。新たに設けられたデモンストレーション審査は、参加者間の情報共有の促進を目指し、各チームが自分たちのロボットを製作する過程において技術面で工夫したこと、直面した困難、その克服方法などを発表した。一方、ルール上、無線技術によるロボット間コミュニケーションが推奨され、審査ではBluetoothまたはZigBeeの利用に対する評価比重が今まで以上に高まった。このような状況の中、日本から出場したNORMAL(松戸市立小金中学校)は、複数のセンサーをユニークな方法で使用し、パフォーマンスでも独特な世界観を表現したことが評価され、Best Stage Performance賞を受賞した。また、複数のチームで構成されるスーパーチームを作り、会場で発表されるルールに沿った競技に挑戦する「スーパーチームチャレンジ」が設けられ、今大会は「Freeze-tag」(日本では「氷鬼」と呼ばれる鬼ごっこ的一种)をテーマに、ロボットと人間の鬼ごっこパフォーマンスを披露した。言葉や文化の違いがある中で、スーパーチームのメンバー全員が協力して、会場内でロボットの変更やプログラミングに取り組んだ。



競技スケジュール

- ◎7月27日:オープンテクニカルデモンストレーション/テクニカルインタビュー
- ◎7月28日:パフォーマンス①
- ◎7月29日:パフォーマンス②
- ◎7月30日:スーパーチームチャレンジ

4

ロボカップシンポジウム

4-1 概要

ロボカップシンポジウムは、ロボカップに関連する様々な研究対象について、発表、討論する場であり、ロボットや人工知能以外にも、幅広い範囲での研究、教育活動が対象となっている。シンポジウムでは、人工知能やロボット分野で活躍する著名な研究者の招待講演や、ロボカップ参加チームからの口頭発表、及びポスター発表などが行われた。また、ジュニア競技者が参加するワークショップも同時に開催された。

開催期間 | 2017年7月31日(月) 8:50~18:00

会場 | 愛知大学名古屋キャンパス

1. グローバルコンベンションホール(シンポジウム会場)
2. 講義棟210, 211号室(ジュニアワークショップ会場)
3. 講義棟1Fフードコート(ポスター発表、ランチ及びコーヒーブレイク会場)

参加者数 | 約480人(メジャー約400人、ジュニア約80人)

■ 招待講師



浅間 一 教授
東京大学

略歴:1984年に東京大学大学院工学系研究科精密機械工学専攻修士課程修了。1989年に工学博士取得。1986年から2002年にかけて、理化学研究所等で科学研究院として活動し、東京大学大学院工学系研究科精密工学専攻の教授である。主な研究内容としては、自律分散型ロボットシステム、空間知能化、サービス工学、移動知、脳内身体表現、サービスロボティクス、ヒューマン・インタフェースの研究等がある。



Associate Prof. Maya Cakmak
University of Washington

略歴:2012年ジョージア工科大学ワシントン大学のロボット工学専攻博士課程修了。ワシントン大学の准教授である。主な研究内容としては、人間・ロボット間の共同的相互作用、エンドユーザープログラム、介助ロボット等がある。

■ 飲食提供

ポスター発表会場で、コーヒーブレイクやランチの際に、惣菜パン、サンドイッチ、おにぎりなどの軽食を提供した。



■ プログラム

時間	内容
8:50 – 9:00	Welcome and Greetings
9:00 – 10:00	基調講演 1 (Keynote 1): 浅間 一
10:00-10:40	<p>口頭発表 1 (Oral Session 1)</p> <p>Timothy Wiley, Ivan Bratko and Claude Sammut A Machine Learning System for Controlling a Rescue Robot</p> <p>Nicolai Ommer, Alexander Stumpf and Oskar von Stryk Real-Time Online Adaptive Feedforward Velocity Control for Unmanned Ground Vehicles</p>
10:40-11:00	<p>ポスター発表紹介 1 (Poster Teasers 1)</p> <p>Thomas Röfer CABSL - C-based Agent Behavior Specification Language</p> <p>Sarah Haas, Thomas Ulz and Christian Steger Secured Offline Authentication on Industrial Mobile Robots using Biometric Data</p> <p>Thomas Weber, Sergey Triputen, Michael Danner, Sascha Braun, Kristiaan Schreve and Matthias Rätsch Follow Me: real-time in the wild Person Tracking Application for Autonomous Robotics</p> <p>Klaus Dorer Learning to Use Toes in a Humanoid Robot</p> <p>Enric Cervera, Gustavo Casañ and Ricardo Tellez Cloud Simulations for RoboCup</p> <p>Aijun Bai, Stuart Russell and Xiaoping Chen Concurrent Hierarchical Reinforcement Learning for RoboCup Keepaway</p> <p>Andre Mühlenbrock and Tim Laue Vision-based Orientation Detection of Humanoid Soccer Robots</p> <p>Matthias Hofmann and Thorben Seeland Situation-dependent Utility in Extended Behavior Networks</p>
11:00-11:30	ポスターセッション 1、コーヒースタンド (Poster Session 1 with coffee break)
11:30-12:30	<p>口頭発表 2 (Oral Session 2)</p> <p>Timm Hess, Martin Mundt, Tobias Weis and Visvanathan Ramesh Large-scale Stochastic Scene Generation and Semantic Annotation for Deep Convolutional Neural Network Training in the RoboCup SPL</p> <p>Nicolas Cruz, Kenzo Lobos-Tsunekawa and Javier Ruiz-Del-Solar Using Convolutional Neural Networks in Robots with Limited Computational Resources: Detecting NAO Robots while Playing Soccer</p> <p>Jacob Menashe, Josh Kelle, Katie Genter, Josiah Hanna, Elad Liebman, Sanmit Narvekar, Ruohan Zhang and Peter Stone Fast and Precise Black and White Ball Detection for RoboCup Soccer</p>
12:30-12:50	<p>ポスター発表紹介 2 (Poster Teasers 2)</p> <p>Xiping Wang, Feng Wu, Dongcai Lu and Xiaoping Chen A Robust Algorithm: Find an Unknown Person via Referring Grounding</p> <p>Takuya Fukushima, Tomoharu Nakashima and Hidehisa Akiyama Online Opponent Formation Identification Based on Position Information</p> <p>Santosh Thoduka, Frederik Hegger, Gerhard K. Kraetzschmar and Paul G. Plöger Motion Detection in the Presence of Egomotion Using the Fourier-Mellin Transform</p> <p>João Victor M.C. Oliveira, Leonardo B. Farçoni, Adam H. M. Pinto, Rafael G. Lang, Ivan N. Silva and Roseli A. F. Romero A Review on Locomotion Systems for RoboCup Rescue League Robots</p> <p>Lotte de Koning, Juan Pablo Mendoza, Manuela Veloso and René van de Molengraft Skills, Tactics and Plays for Distributed multi-robot control in Adversarial environments</p> <p>Arthur Demarchi, Leonardo B. Farçoni, Adam Pinto, Rafael G. Lang, Roseli Romero and Ivan N. Silva Modelling a Solenoid's Valve Movement</p>

12:30-12:50	<p>ポスター発表紹介 2 (Poster Teasers 2)</p> <p>Matias Mattamala, Gonzalo Olave, Clayder González, Nicolás Hasbún and Javier Ruiz-Del-Solar The NAO Backpack: An Open-hardware Add-on for Fast Software Development with the NAO Robot</p> <p>Thomas Muender and Thomas Röfer Model-based Fall Detection and Fall Prevention for Humanoid Robots</p>
12:50-14:00	ポスターセッション 2、ランチ (Lunch and Poster Session 2)
14:00-15:00	基調講演 2 (Keynote 2): Maya Cakmak
15:00-16:00	<p>口頭発表 3 (Oral Session 3)</p> <p>Shunki Takami, Kazuo Takayanagi, Shivashish Jaishy, Nobuhiro Ito, Kazunori Iwata, Yohsuke Murase and Takeshi Uchitane Proposed environment to support development and experiment in RoboCupRescue Simulation</p> <p>Tetsunari Inamura and Yoshiaki Mizuchi Competition design to evaluate cognitive functions in human-robot interaction based on immersive VR</p> <p>Olivia Michael, Oliver Obst, Falk Schmiddsberger and Frieder Stolzenburg Analysing Soccer Games with Clustering and Conceptors</p>
16:00-16:15	<p>ポスター発表紹介 3 (Poster teasers 3)</p> <p>Mikhail Prokopenko, Peter Wang, Sebastian Marian, Aijun Bai, Xiao Li and Xiaoping Chen RoboCup 2D Soccer Simulation League: Evaluation Challenges</p> <p>Mohammad Javadi, Sina Mokhtarzadeh Azar, Sajjad Azami, Saeed Shiry Ghidary, Soroush Sadeghnejad and Jacky Baltes Humanoid Robot Detection using Deep Learning: A Speed-Accuracy Tradeoff</p> <p>Luz M. Martínez and Javier Ruiz-Del-Solar Recognition of Grasp Points for Clothes Manipulation under unconstrained Conditions</p> <p>Carlos Celemin, Rodrigo Perez, Javier Ruiz-Del-Solar and Manuela Veloso Interactive Machine Learning Applied to Dribble a Ball in Soccer with Biped Robots</p> <p>Sebastian Zug, Martin Seidel, Jonathan Beckhaus and Nico Winkelstraeter Collision-Detection for RoboCup@Work-Competitions</p> <p>Pedro Pena, Joseph Masterjohn and Ubbo Visser An Omni-directional Kick Engine for Humanoid Robots with Parameter Optimization</p> <p>Simon O'Keeffe and Rudi Villing A Benchmark Data Set and Evaluation of Deep Learning Architectures for Ball Detection in the RoboCup SPL</p>
16:15-17:00	ポスターセッション 3、コーヒーブレイク (Poster Session 3 with coffee break)
17:00-17:40	<p>口頭発表 4 (Oral Session 4)</p> <p>Caroline Rizzi, Colin G. Johnson and Patricia A. Vargas Fear Learning for Flexible Decision Making in RoboCup: A Discussion</p> <p>Kenzo Lobos-Tsunekawa, David L. Leottau and Javier Ruiz-Del-Solar Toward Real-Time Decentralized Reinforcement Learning using Finite Support Basis Functions</p>
17:40-18:00	閉会 (Close Remarks)

■ ジュニアワークショップ (Workshop on Educational Robotics 2017)

時間	内容
8:50 – 9:00	Welcome and Greetings
9:00 – 10:00	基調講演 1 (Keynote 1): 浅間 一
10:00 – 11:00	チームプレゼンテーション (Team presentations): Takeru Saito and Kiyomasa Kodama - Learning programming isn't the purpose, Learning programming is a process to you realizing your thoughts and ideas. -What we learned from our experience in RoboCupJunior Yusuke Tada and Keitaro Masaoka - Organizing a team between distant places and making Omni-view camera for passive ball rule S.A.R.T., St Francis Xavier College - Rescue Rapid Manufactured Robot Challenge TDP presentation
11:00 – 11:30	ポスターセッション 1、コーヒープレイク (Poster Session 1 with coffee break)
11:30 – 12:50	ワークショップ (Workshop) : @Home EDU
12:50 – 14:00	ポスターセッション 2、ランチ (Lunch and Poster Session 2)
14:00 – 15:00	基調講演 2 (Keynote 2): Maya Cakmak
15:00 – 15:20	プロジェクトプレゼンテーション (Project presentation): Jiaxiang Shi -Understanding development of RCJ in Shanghai from personal experiences on robotics contests and activities
15:20 – 16:15	ロボカップジュニアパネルディスカッション (RoboCupJunior League Panel Discussion)
16:15 – 17:00	ポスターセッション 3、コーヒープレイク (Poster Session 3 with coffee break)
17:00 –	ロボカップジュニア関係者会議 (RoboCupJunior League Discussion (Closed Session))



5-1 ロボカップ2017名古屋世界大会開催記念フォーラム

20年後を想定し、人工知能、ロボットの発展により、私たちの暮らしが将来どのように変わっていくのか等をテーマとしたフォーラムを開催し、人工知能やロボットに対する理解を深めていただくとともに、開催機運の盛り上げを図った。

■ 開催概要

- 名 称 | ロボカップ2017名古屋世界大会開催記念フォーラム
「ロボットが変える未来の暮らし～新時代の幕開け～」
- 日 時 | 2017年7月15日(土) 13:30～17:00
- 場 所 | 中区役所ホール
- 対 象 | 一般向け
- 参 加 者 | 257人(入場無料)
- 内 容 | 基調講演、ロボカップの見どころ紹介、パネルディスカッション



■ プログラム

区分	出演者
13:35～14:35	基調講演 「空間と機能 ―ロボットデザイン序説―」 フラワー・ロボティクス株式会社 代表取締役社長 松井 龍哉 氏
14:45～15:15	ロボカップの見どころ紹介 ロボカップ国際委員会 理事 大阪大学大学院工学研究科 教授 浅田 稔 氏
15:25～16:55	【コーディネーター】浅田 稔 氏 【パネリスト】 ◎松井 龍哉 氏 ◎ATR知能ロボティクス研究所 所長 萩田 紀博 氏 ◎東北大学大学院情報科学研究科 教授 田所 諭 氏 ◎株式会社アールティ 代表取締役 中川 友紀子 氏 ◎ロボットパートナー 太田 智美 氏



5-2 展示会「ロボット技術・産業フェア」

国際的なロボット研究者との交流、ロボット技術の研究開発や高度化、関連産業の振興・商取引の拡大を図ること等を目的として、ロボット関連技術、製品、サービスなどを展示する展示会「ロボット技術・産業フェア」をロボカップ競技会場内において開催した。出展については、大会の協賛企業のほか、ロボット等の関連企業に対して幅広く募集を行った。また、あわせてロボット技術等に関するセミナーも実施した。

■ 開催概要

- 名 称 | ロボット技術・産業フェア
 主 催 | ロボカップ2017名古屋大会開催委員会
 共 催 | 名古屋国際見本市委員会
 期 間 | 2017年7月27日(木)～30日(日) 9:00～18:00(30日は16:00まで)
 会 場 | 名古屋市国際展示場
 (展示会)第2展示館、第3展示館 (セミナー)交流センター4階 第7会議室
 対 象 | 各種ロボット及びその要素技術、人工知能関連、IoT・ICT関連技術等
 規 模 | 121小間(43社・団体)

出 展 料 |

区分	出展料(税別)	
	小間 (W2,970×D2,970mm)	1土間 (W3,000×D3,000mm)
一般企業	150,000円	100,000円
研究シーズ(大学等)	100,000円	—
協賛企業	100,000円	70,000円

※協賛企業には、スポンサー区分に応じて無料で小間の提供も行なった。

募集期間 | 2016年12月1日(木)～2017年4月10日(月) ※申込多数により3月9日(木)で募集締め切り

会 場 図 | 52～54ページ参照



■ 出展者名、出展内容

出展者名	主な出展内容
愛知県・名古屋市	愛知県におけるロボット産業、名古屋の産業について
愛知工業大学 ロボットミュージアム	AIT鉄人プロジェクト「AIT鉄人13号」
AZAPA株式会社	自動運転用電気自動車
株式会社NTTドコモ 東海支社	スマホと各種デバイスの連携技術「デバイスWebAPI」
エヌビディア合同会社	AIコンピューティングプラットフォーム「NVIDIA Jetson」
岡谷鋼機株式会社	モーションキャプチャー技術を利用したロボット制御
公益財団法人科学技術交流財団	画像処理自動化ハンドリング検査ロボット
株式会社KIT	超高速開発ツールRADEN
CKD株式会社	薬品錠剤包装シート異物検査装置
新東工業株式会社	介護医療コンシェルジュロボット「ルチア」
株式会社スタッフ	金属3Dプリンタ+5軸CNC ハイブリッドマシン
株式会社スマートロボティクス	小型 2足歩行ヒューマノイドロボットNAO
ソニー株式会社	AlxRobotics 好奇心を刺激する体験の創出
Softbank Robotics Europe	NAO、Pepperの紹介
大栄機工	ロボットを用いたSTEM教育
大同大学	伝統工芸の有松鳴海絞りロボット
中京大学 人間共生ロボティクス研究室	赤ちゃん型ロボットBabyloid
TIS株式会社	個性を学習するパートナーロボット「ユニボ」
THK株式会社	サービスロボット向けRTシステム「SEED Solutions」
トヨタ自動車株式会社	生活支援ロボットHSR
ナカシャクリエイテブ株式会社	パソコン内の自動化ロボット「RPA」
中西電機工業株式会社	小形多間接ロボユニット「Smart Wing」
ナブテスコ株式会社	コンパクトアクチュエータ AFシリーズ
西日本電信電話株式会社	スマート光チャレンジ
日星電気株式会社	SROC ヒューマノイドロボット専用可動ケーブル
有限会社日双工業	史上初!このギアが世界を変える
日本バイナリー株式会社	ロボットモジュール HEBIスマートアクチュエータ
萩原電気株式会社	ワイヤレス9軸加速度センサー
パナソニック株式会社	自律搬送ロボットHOSPİ
フエスト株式会社	研究開発用プラットフォームRobotino
富士機械製造株式会社	移乗サポートロボットHugT1
双葉電子工業株式会社	ロボット用機能部品(サーボ、無線機及び周辺機器)
ブラザー工業株式会社	コンパクトマシニングセンタ SPEEDIO
フラワー・ロボティクス株式会社	家庭用ロボットPatin
株式会社ボーダック	インフラ点検用・壁面走行ロボット
マクソンジャパン株式会社	小型化、高出力化を可能とした高品質DCコアレスモータ
MathWorks	MATLABによる物体認識とロボット制御
三菱電機株式会社	けん玉・輪投げ・綿菓子ロボット
株式会社メイテツコム(名鉄グループ)	ウェイティングボードアプリ with Pepper
株式会社吉田SKT	テフロンTMコーティング
株式会社ロボティズ	ROS公式プラットフォーム「タートルボット3」
World Robot Summit	World Robot Summitの紹介

■ セミナープログラム

日時		内容	参加者数
7月27日(木)	11:00~12:00	人とロボットが共生する未来社会に向けて ～トヨタのパートナーロボット開発～ トヨタ自動車(株) パートナーロボット部 部長 玉置 章文 氏	62人
	13:00~14:00	<弱いロボット>における関係性のデザインとその応用 豊橋技術科学大学 情報・知能工学系 教授 岡田 美智男 氏	46人
	15:00~16:00	名古屋工業大学におけるロボット導入社会連携事業と基礎研究 名古屋工業大学 副学長(産学官連携,社会連携担当) 産学官連携センター長 江龍 修 氏	48人
7月28日(金)	11:00~12:00	ロボットへの応用も期待される次世代携帯電話システム「5G」 ～5Gの概要と早期実現に向けたドコモの取り組み～ (株)NTTドコモ 先進技術研究所 5G推進室 主幹研究員 奥村 幸彦 氏	52人
	13:00~14:00	ロボットやヘルスケアIoTサービスを活用した 「スマート保育園」で保育士不足問題に挑む ユニファ(株) 代表取締役社長 土岐 泰之 氏	39人
	15:00~16:00	先端ロボット技術によるユニバーサル未来社会の実現 文部科学省 科学技術・学術政策局 研究開発基盤課 研究基盤整備係長 川崎 拓磨 氏	71人



5-3 子ども向け事業

5-3-1 ロボットパーク

子どもたちがロボットに親しむことで、ロボットに対する興味関心をさらに向上させることを目的に、各種ロボットによる搭乗体験や操作体験、デモンストレーション等を行うイベント「ロボットパーク」を実施した。

■ 概要

内 容 | カブトムシ型巨大ロボット、動作拡大型スーツ「スケルトニクス」、スライジャーロボット、ロボットステージ、お魚ロボットたちの水中展示

実 施 日 | 2017年7月27日(木)～30日(日)

会 場 | 名古屋市国際展示場 第1展示館内

体 験 者 | 約8,000人

名称	内容	実施回数	実績
カブトムシ型 巨大ロボット	コックピット操作体験	終日	1,467人
	胴体内搭乗体験		2,704人
スケルトニクス	グリーティング	15回(各日4回 ※30日は3回)	1,423人
	操作体験	12回(各日3回)	239人
スライジャーロボット	お絵かきストリート	4回(各日2回 ※28日・29日)	390人
ロボットステージ		8回(各日2回)	1,352人
ぶるぶる魚つり(お魚ロボットたちの水中展示)		11回(各日3回 ※30日は2回)	509人

*スライジャーロボットは、名古屋トヨペット(株)の協力により実施



▲カブトムシ型巨大ロボット



▲スケルトニクス



▲スライジャーロボット



▲ロボットステージ

5-3-2 子ども向けワークショップ

来場した小中学生を対象に、ものづくりやプログラミングの楽しさを体験する機会を提供するため、モーターの仕組みを学ぶロボット工作教室や、プログラミングの基礎を学ぶワークショップを実施した。

■ 概要

内 容 | 工作教室、プログラミング体験
 実 施 日 | 2017年7月27日(木)～30日(日)
 会 場 | 名古屋市国際展示場 交流センター 3階 第3会議室
 実施回数 | 11回(各日3回、30日のみ2回)
 募集方法 | 交流センター1階 ワークショップ受付にて毎回抽選
 参 加 者 | 182人

対象	内容	実施回数	実績	備考		
				定員	応募者数	倍率
小学生低学年	工作教室(実費負担有)	4回(各日1回)	62人	64人(16人/回)	588人	9.2倍
小学生高学年	工作教室(実費負担有)	4回(各日1回)	79人	80人(20人/回)	720人	9.0倍
中学生以上	プログラミング体験	3回 (27～29日、各日1回)	41人	48人(16人/回)	88人	1.8倍
合計	—	11回	182人	—	1,396人	—



5-3-3 からくり人形実演

ロボットのルーツとも言われるからくり人形について、当地域で活躍する人形師・九代玉屋庄兵衛氏を講師に「茶運び人形」「弓曳童子」「文字書き人形」の実演と解説を実施した。

■ 概要

内 容 | 九代玉屋庄兵衛氏による実演、解説
 実 施 日 | 2017年7月29日(土)・30日(日)
 会 場 | 名古屋市国際展示場 交流センター 3階 第3会議室
 実施回数 | 4回(各日2回)
 参 加 者 | 約500人(各回100～140人)



5-3-4 教育委員会と連携した科学館及びロボカップの見学ツアー

子どもたちの科学技術への関心を高めることを目的に、名古屋市教育委員会の協力のもと、名古屋市内在住の小中学校等の児童・生徒を対象に、名古屋市科学館及びロボカップ会場を巡るバスツアーを実施した。

■ 概要

実施日 | 2017年7月27日(木)～29日(土)

対象 | 名古屋市内在住の小中学校等の児童・生徒(保護者同伴)

9:15	名古屋市科学館 集合
9:30～12:30	名古屋市科学館 見学 (プラネタリウム「Brother Earth」鑑賞、特別展「ロボットってなんだろう?」見学)
12:30～13:00	移動
13:00～15:00	ロボカップ2017名古屋世界大会 見学(第2展示館、第3展示館) プラザーブースを見学・ものづくり体験(子どもの名前入りネームプレートをプレゼント)
15:20～16:00	集合・解散(現地、金山駅、伏見駅)

参加者 |

日	組数・人数	人数内訳
27日	15組 36人	保護者15、小学生20、中学生1
28日	18組 42人	保護者18、小学生22、中学生2
29日	15組 33人	保護者15、小学生17、中学生1
合計	48組111人	保護者48、小学生59、中学生4



募集方法 | 保護者と子どもを一組とし、広報なごやや大会ホームページへの案内掲載、チラシ配布(市立図書館、科学館等)により募集を行い、応募者多数のため抽選により参加者を決定した。

区分	申込数	当選数	倍率
組数	722	55	13.1倍
人数	1,751	133	13.2倍



5-3-5 レゴランドとの連携

レゴランドの協力を得て、大会入場者を対象としたレゴランドの1DAYチケットをプレゼントする抽選会を実施することで大会への誘客を図り、あわせてレゴランドのPRを行った。また、抽選ブースには名古屋大学レゴ部の協力を得て、レゴブロックで制作した大会ロゴマークの展示も行った。

■ 概要

内容 | ロボカップ入場券の半券1枚につき、1回抽選

実施日 | 2017年7月27日(木)～28日(金)

会場 | 名古屋市国際展示場 交流センター1階(第3展示館連絡口付近)

対象者 | 3～12歳の子ども(家族)がいる方

参加者 | 両日とも200名超(各日10組が当選した時点で終了)



5-4 World Robotics x AI Seminar

ロボティクスと人工知能分野における世界的な研究者(ロボカップ国際委員会理事及びアマゾン・ロボティクス・チャレンジ関係者)をスピーカーとして、ロボティクス等の最新動向について紹介するセミナーを開催した。このセミナーにおいては、Microsoft translatorによる同時機械翻訳を試行的に行った。

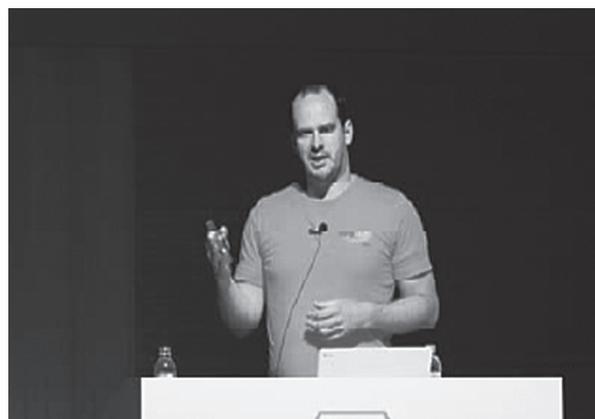
また、セミナー開催前にはロボカップ世界大会およびアマゾン・ロボティクス・チャレンジ会場を視察するテクニカルツアーを実施した。

■ 開催概要

- 主 催 | 特定非営利活動法人 ロボカップ日本委員会
共 催 | ロボカップ2017名古屋大会開催委員会
実 施 日 | 2017年7月27日(木)
場 所 | 名古屋市国際展示場 交流センター 3階 会議ホール
参 加 者 | 111人(テクニカルツアーには54人参加)
内 容 | ◆テクニカルツアー(10:00~14:30)
◆セミナー(15:00~18:00)

■ プログラム

時間	内容
15:10~15:50	Manuela M. Veloso/カーネギーメロン大学 「Towards Transparent Human-AI Interaction」
15:50~16:30	Joey Durham/アマゾンロボティクス社 「Robotics and AI in the Amazon Robotics Challenge」
16:30~17:10	Daniel D. Lee /ペンシルベニア大学 「Machine Learning in Autonomous Systems: Theory and Practice」
17:10~17:50	Peter Stone /テキサス大学、コジタイ社CEO 「Intersections of the Future: Using Fully Autonomous Vehicles」



6-1 世界青少年発明工夫展2017

世界各国の青少年が創作した発明作品の展示・コンテスト等を通じて、創造性と国際感覚を養う目的で創設された国際イベント。2004年に東京で第1回が開催され、以後開催国・地域を変えながら毎年実施されており、13回目の開催となる今回は、第1回以来の日本での開催となった。会場では、世界中から参加した子どもたちによる発明工夫作品の紹介のほか、企業による参加・体験ブースや豊田佐吉翁生誕150周年記念展示など様々なブースが出展された。

■ 開催概要

主 催 | 公益社団法人発明協会

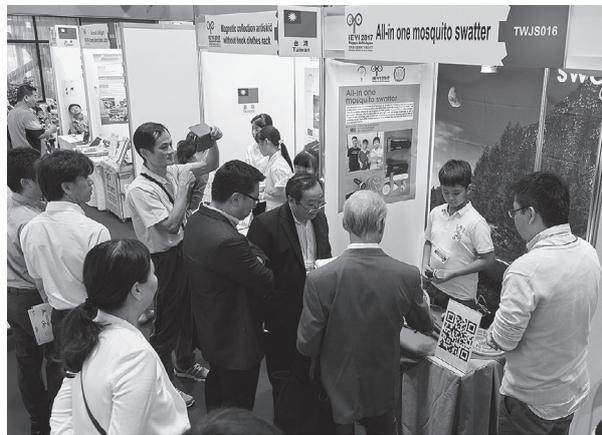
期 間 | 2017年7月27日(木)～29日(土) (各日10:00～16:00)

会 場 | 名古屋市国際展示場 第2展示館

参 加 数 | 15か国・地域、生徒246人 引率159人 合計405人
(うち日本からの参加は、生徒20人、引率6人、合計26人)

作 品 数 | 発明品125作品、絵画11作品、参考出展23作品 合計159作品

来 場 者 | 32,061人



6-2 「愛知の発明の日」記念講演会

愛知県が定める「愛知の発明の日」(8月1日)を記念し、トヨタ自動車の豊田名誉会長による特別講演、東京大学政策ビジョン研究センターの渡部教授による講演が行われた。メイン会場の名古屋市国際展示場のほか、講演を同時中継するサテライト会場を名古屋商工会議所に設けて行われた。

■ 開催概要

主 催 | 愛知県、中部経済産業局、一般社団法人愛知県発明協会

共 催 | 公益社団法人発明協会

日 時 | 2017年7月28日(金) 12:45~14:30

会 場 | 名古屋市国際展示場 交流センター 3階 会議ホール
(サテライト会場)名古屋商工会議所 2階 大ホール

参 加 数 | 570人(メイン会場448人 サテライト会場122人)

内 容 |

時間	内容
12:45~13:00	主催者挨拶 大村 秀章 愛知県知事 波多野 淳彦 中部経済産業局長 石丸 典生 (一社)愛知県発明協会会長
13:00~13:30	特別講演 講師:トヨタ自動車株式会社 名誉会長 豊田 章一郎 氏 演題:「ものづくり、ひとづくり」
13:40~14:30	講演 講師:東京大学 政策ビジョン研究センター 教授 (一社)知財学会会長 渡部 俊也 氏 演題:「第4次産業革命で製造業が遭遇する大変革—その処方箋としての新たな知的財産戦略とビジネスモデル構築について—」



6-3 アマゾン・ロボティクス・チャレンジ

制限時間内に様々な形状の物を箱から取り出し棚に収納する作業や、棚から取り出し箱に詰める作業を行う競技。世界各地から16チームが参加し、それぞれが考案したロボット(ハードウェア・ソフトウェア)による物体認識、姿勢制御、作業計画などを競った。



■ 開催概要

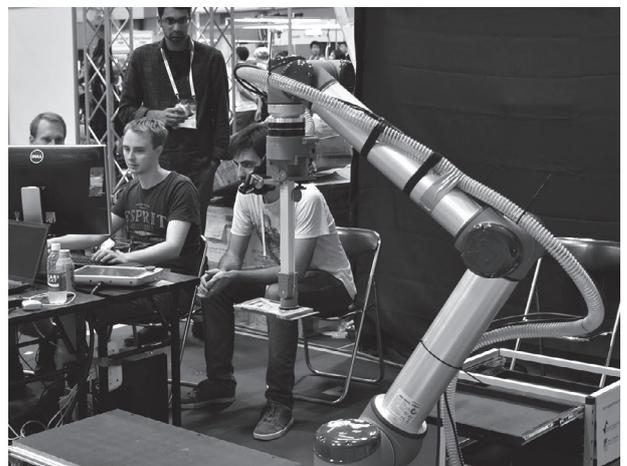
主催 | アマゾンロボティクス
期間 | 2017年7月27日(木)~30日(日)
会場 | 名古屋市国際展示場 第3展示館
参加数 | 10か国、16チーム

■ スケジュール

7月27日(木)	Practice Runs
7月28日(金)	Stow Task
7月29日(土)	Pick Task
7月30日(日)	Finals & Awards Ceremony

■ 出場チーム・結果

順位	チーム名	チーム構成
1	ACRV	クイーンズランド工科大学
2	NimbRo Picking	ボン大学
3	Nanyang	南洋理工大學
4	IITK-TCS	インド工科大学カーンプル校、タタ・コンサルタンシー・サービスズ
5	MIT-Princeton	マサチューセッツ工科大学、プリンストン大学
6	NAIST-Panasonic	奈良先端科学技術大学院大学、パナソニック
7	IFL PiRo	カールスルーエ工科大学、ヘルムートシュミット大学
8	Applied Robotics	スマートロボティクス、シドニー大学
—	MC ²	三菱電機、中部大学、中京大学
—	Team T2	鳥取大学、東芝
—	Team K	東京大学
—	Team Duke	デューク大学
—	PLAID	カーネギーメロン大学
—	GMU-Negev	ジョージメイソン大学、ネゲヴ・ベン=グリオン大学
—	TKU M-Bot	淡江大学
—	UJI RobInLab	ジャウメ1世大学



6-4 燃料電池バスの体験試乗

走行時に排出ガスや二酸化炭素を出さない最先端の燃料電池バスに乗車して、その乗り心地などを体感できる体験試乗を、トヨタ自動車(株)や東邦ガス(株)の協力を得て、名古屋市で初めて実施した。

■ 開催概要

- 主催 | 名古屋市環境局、市民経済局、交通局
- 協力 | トヨタ自動車株式会社、東邦ガス株式会社
- 期間 | 2017年7月28日(金)～30日(日)
- 対象 | 大会来場者(先着で整理券を配布)
- 内容 | 名古屋国際展示場及びその周辺道路をコースとして運行
- 参加数 | 3日間で延べ約500人(計25本運行)



6-5 ソニーランチョンセミナー

ソニー(株)の主催により、同社が2017年6月に発表した、新しいディープラーニング開発フレームワークについて、その特徴の紹介や解説を実施したほか、同社が資本参加するCogitai社 CEOのPeter Stone氏による講演も行なわれた。

■ 開催概要

- 名称 | An Introduction to Sony's Deep Learning Framework
- 主催 | ソニー株式会社
- 日時 | 2017年7月28日(金) 12:00～13:30
- 会場 | 名古屋市国際展示場交流センター 3階 第4会議室
- 参加者数 | 110人



6-6 フラワー・ロボティクスセミナー

フラワー・ロボティクス(株)の主催により、人工知能搭載の自走式ロボットプラットフォーム・家庭用ロボット「Patin(パタン)」を紹介するセミナーが行われた。

■ 開催概要

- 名称 | Development of Home Robots
- 主催 | フラワー・ロボティクス株式会社
- 日時 | 2017年7月27日(木) 14:00～15:30
- 会場 | 名古屋市国際展示場交流センター4階 第6会議室
- 参加者数 | 15人



6-7 クープチャレンジ

(株)ソニー・グローバルエデュケーションの主催により、ロボット・プログラミング学習キット『KOOV™』を用いた日本・中国の子どもたちによるアイデアロボットコンテストが実施された。

KOOV Challenge in RoboCup 2017 Nagoya Japan

■ 開催概要

- 名 称 | KOOV Challenge in
RoboCup 2017 Nagoya Japan
- 主 催 | 株式会社ソニー・グローバルエデュケーション
- 日 時 | 2017年7月29日(土)・30日(日)
- 会 場 | 名古屋市国際展示場交流センター 4階
第7会議室 ほか
- 参加者数 | 43人



6-8 名古屋少年少女発明クラブによる見学会

名古屋少年少女発明クラブの主催により、会員とその保護者を対象に、ロボカップ及び世界青少年発明工夫展の見学会が行われた。

■ 開催概要

- 日 時 | 2017年7月29日(土) 10:00~11:00
- 対 象 | 名古屋少年少女発明クラブ会員及び
保護者(平成29年度の会員を対象に
案内を配布し、希望者は全員受付)
- 参加者数 | 128人(会員65人、保護者63人)



7-1 開会式

ロボカップ2017名古屋世界大会の開催にあたり、競技日前日に、開会式を開催した。開会式では、河村たかし開催委員会会長のあいさつを始め、大村秀章愛知県知事の来賓祝辞、太鼓演奏のアトラクションなどを行った。また、開会式の前には、開会式参加者のうち希望者に対し、競技会場の見学会を実施した。

■ 開催概要

区分	事項	内容
開会式	日時	2017年7月26日(水) 18:00～18:50
	場所	名古屋市国際展示場 交流センター 3階 会議ホール
	参加者	約400人 主催者:開催委員会委員・国際委員会理事 56人 招待者:●協賛企業・団体 82人(39社・団体) ●公職者 32人(国会議員9人※、県議会議員8人、市議会議員15人) ※代理出席者4人含む ●後援団体 9人 ●その他 13人 競技参加者:約200人
競技会場 見学会	日時	2017年7月26日(水) 17:00～17:45
	場所	名古屋市国際展示場 第3展示館内 ロボカップ競技会場
	参加者	約80人(4グループ)
	内容	ロボカップ関係者の案内によるサッカーや@ホーム競技のデモンストレーションの見学など

■ 次第

時間	次第(プログラム)	内容
18:00	オープニングアクト	YAMATO(太鼓演奏者・2名)による演奏
18:03	オープニング映像	オープニング映像の上映
18:06	開会コメント	司会(生田 サリー)による開会アナウンス
18:07	主催者挨拶	主催者挨拶(5分) 開催委員会会長/名古屋市長 河村 たかし
18:13	来賓祝辞 歓迎挨拶	来賓祝辞(5分) 愛知県知事 大村 秀章 歓迎挨拶(5分) 国際委員会理事(ファウンディングトラスティ) 浅田 稔
18:25	スピーチ	スピーチ(8分) 国際委員会理事(ファウンディングトラスティ) Manuela M. Veloso
18:34	公式オープニング	公式オープニング(5分) 国際委員会会長 野田 五十樹
18:40	閉会	司会による閉会アナウンス
18:42	エンディングアクト	YAMATO(太鼓演奏者・5名)による演奏



7-2 関係者交流会

開会式終了後、ロボカップ国際委員会の理事である世界各国の著名な研究者と大会の協賛企業・団体及び地元関係者などの交流を図るため、関係者交流会を開催した。交流会では大橋健ロボカップ日本委員会会長のあいさつや、プラチナスポンサー3社からのスピーチなどがあり、会場では各々が歓談し、情報交換などが行われた。

■ 開催概要

日 時 | 2017年7月26日(水) 19:00~20:30

会 場 | 名古屋市国際展示場 交流センター 2階 臨時レストラン(北)

参 加 者 | 約200人(開催委員会、国際委員会、協賛企業等、開会式出席者)

概 要 | ◆ 開会挨拶 ロボカップ日本委員会会長／開催委員会副会長 大橋 健
◆ 歓迎挨拶 文部科学省大臣補佐官 鈴木 寛 経済産業省製造産業局ロボット政策室長 安田 篤
◆ 乾杯挨拶 名古屋市会議長 渡辺 義郎
◆ 協賛企業挨拶 アマゾンロボティクス社 Joey Durham ソニー株式会社 御供 俊元
トヨタ自動車株式会社 玉置 章文
◆ 中締め 中部経済連合会専務理事 小川 正樹
◇ 立食形式



7-3 閉会式・表彰式

全ての競技の終了後、閉会式・表彰式を開催した。閉会式では河村たかし開催委員会会長のあいさつなどの後、各競技の表彰が順次行われ、表彰を受けたチームは壇上でトロフィや表彰状を受け取り、それぞれ喜びの表情を見せた。また、式の後半には12月にタイ・バンコクで行われるアジア・パシフィック大会の紹介や、次回のロボカップ世界大会の開催地であるカナダ・モントリオールへの大会旗の引継ぎなどを行い、閉会した。

■ 開催概要

区分	内容
日時	2017年7月30日(日) 17:00~18:45
場所	名古屋市国際展示場 交流センター 3階 会議ホール
参加者	約700人 主催者:開催委員会委員・国際委員会理事50人 招待者:●協賛企業・団体 24人(13社・団体) ●視察団 19人(カナダ3人、オランダ13人、クロアチア3人) ●その他 7人 競技参加者(表彰者等):約600人

■ 次第

時間	次第(プログラム)	内容
17:00	オープニングアクト	山口 晃司(津軽三味線奏者)による演奏
17:03	オープニング映像	オープニング映像(大会回顧映像)の上映
17:06	開会	司会(クリス・グレン、イレーネ)登場 司会による開会アナウンス
17:07	主催者挨拶	主催者挨拶①(3分) 開催委員会会長/名古屋市長 河村 たかし 主催者挨拶②(3分) 開催委員会副会長/愛知県副知事 森岡 仙太
17:13	スピーチ	スピーチ(5分) 国際委員会理事(ファウンディングトラスティ) 北野 宏明
17:18	表彰式	表彰(60分)
18:18	挨拶	挨拶①(5分) 国際委員会会長 野田 五十樹 挨拶②(5分) 国際委員会新会長 Daniel Polani
18:29	アジア・パシフィック大会のアナウンス	大会PR及びPR映像上映 大会組織委員 Jackrit Suthakorn、Changjiu Zhou
18:34	次回世界大会開催地(カナダ・モントリオール)への大会旗引継ぎ等	大会旗引継 開催委員会会長/名古屋市長 河村 たかし⇒モントリオールへの引継セレモニー モントリオールPR映像上映
18:42	閉会	司会による閉会アナウンス
18:45	エンディングアクト	山口 晃司(津軽三味線奏者)による演奏



7-4 ジュニアパーティー

ジュニア競技者の交流を図るため、大会会場に隣接するリニア・鉄道館でジュニアパーティーを開催した。パーティーはリニア・鉄道館の閉館後、貸切で行い、リニア・鉄道館が誇る東海道新幹線の運転シミュレーターの体験など、多彩な展示物を参加者が自由に見学した。パーティー中は参加者同士、様々に交流する風景が見られるなど、和やかな雰囲気であった。

■ 開催概要

日 時 | 2017年7月28日(金) 18:30~20:30

会 場 | リニア・鉄道館

参 加 者 | 約900人(ジュニア競技者・関係者)

概 要 | 開会挨拶

ロボカップジュニア・ジャパン代表理事 高橋友一
展示物の自由見学

◇ 立食形式(洋食)

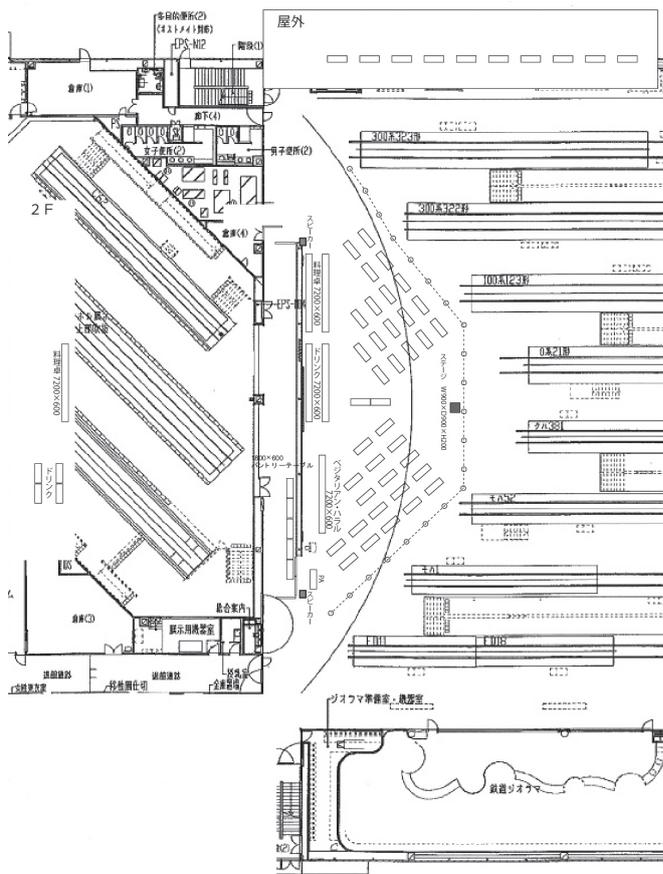
提供メニュー

- ・サンドウィッチ(ポテトサラダ)・チキンのから揚げ
- ・フライドポテト・ミニハンバーグ・カレーライス
- ・スパゲッティ・ミニワッフル

■ スケジュール

時間	内容
13:00	準備開始
17:30	リニア・鉄道館通常営業終了
18:30	開場
19:00	ジュニアパーティー開始
20:30	ジュニアパーティー終了

■ 会場レイアウト



7-5 メジャーパーティー

閉会式・表彰式の終了後、開催委員会及び国際委員会の関係者、メジャー競技者などが参加するメジャーパーティーを開催した。海外の参加者に日本の文化体験として日本の夏祭りをコンセプトに企画し、会場内に祭り櫓を設置、和太鼓演奏や名古屋おもてなし武将隊による演武、書道家の一ノ瀬芳翠氏による書道パフォーマンス、盆踊りなどのアトラクションを行った。また、会場内の各ブースでは甲冑の試着や射的、コスプレ等の体験を行ったほか、飲食の提供では、立食形式による和食・洋食の提供のほか、飲食に制限のある方への配慮として、ハラルやベジタリアンメニューも提供した。さらに、名古屋のPRを図るため、名古屋めしのブースを設置し、名古屋の食文化の体験も行った。なお、メジャーパーティーの開催にあたっては、名古屋青年会議所の協力を得て、各ブースを運営した。

開催概要

日時 | 2017年7月30日(日) 19:00~21:00

会場 | 名古屋市国際展示場 第2展示館

参加者 | 約1,700人(開催委員会、国際委員会、協賛企業・団体、メジャー競技者・関係者)

概要 | ◆開会挨拶 開催委員会会長/名古屋市長 河村 たかし

◆歓迎挨拶 名古屋青年会議所理事長 大和 直樹 氏

◇立食形式(和食、洋食、ハラル、ベジタリアン向けも提供)

◇司会進行 クリス・グレン、イレーネ(ZIP-FM ミュージック・ナビゲーター)

◇アトラクション

①和太鼓(YAMATO) ②名古屋おもてなし武将隊演武(武将6名、陣笠4名)

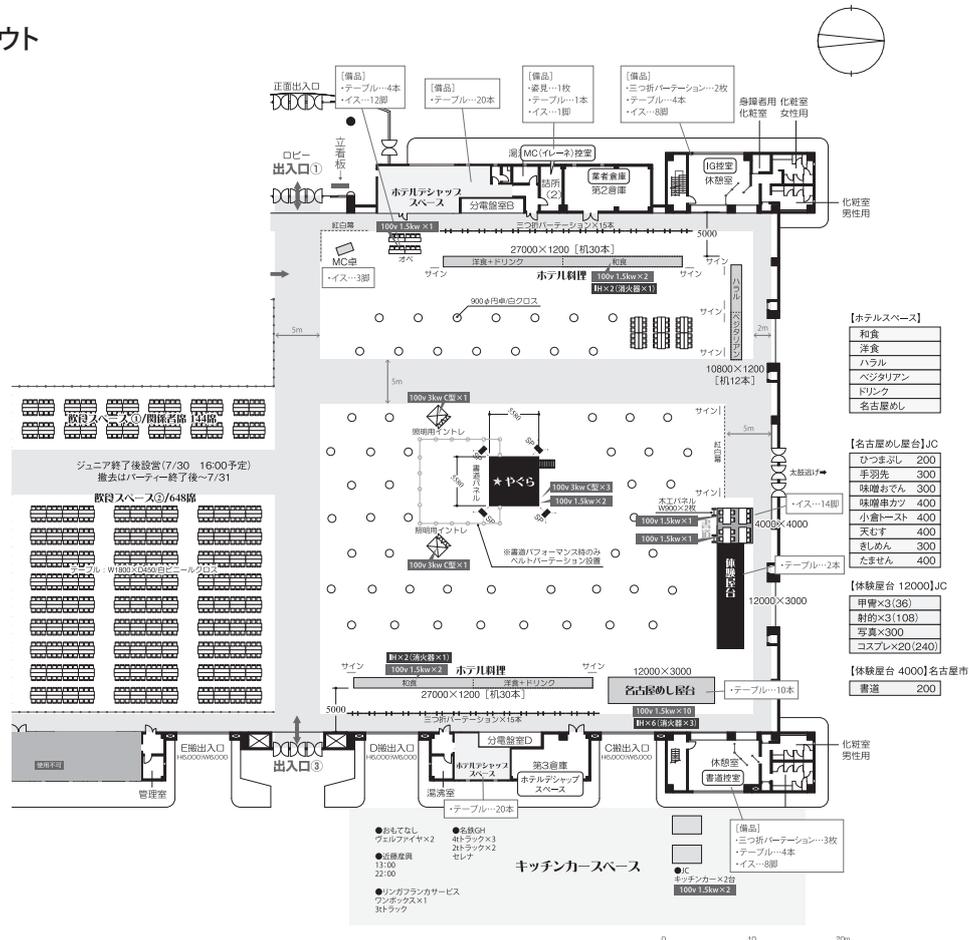
③書道パフォーマンス(一ノ瀬 芳翠 氏) ④盆踊り(日本民踊研究会 松平師範以下29名)

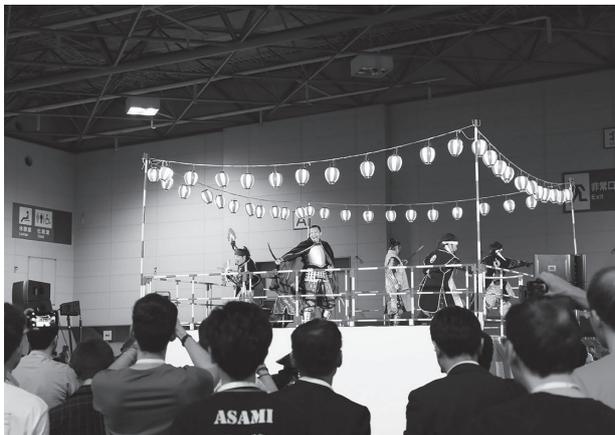
◇名古屋青年会議所ブース…甲冑試着体験、射的、コスプレ体験、

名古屋めし(ひつまぶし、手羽先、味噌おでん、味噌串かつ、小倉トースト、天むす、きしめん、たません)

◇その他ブース…書道体験(一ノ瀬 芳翠 氏)

会場レイアウト





7-6 フェアウェルパーティー

ロボカップシンポジウムの終了後、同会場でフェアウェルパーティを開催した。冒頭、大橋健口ロボカップ日本委員会会長が挨拶し、同パーティーの閉会により、大会は全ての日程を終了した。

■ 開催概要

日 時 | 2017年7月31日(月) 18:00~19:30

会 場 | 愛知大学名古屋キャンパス 講義棟1Fフードコート

参 加 者 | 約300人(シンポジウム及びジュニアワークショップ参加者)

提供メニュー | 寿司、惣菜、オープンサンドなど



■ 競技会場

サッカーや@ホームなどの競技を名古屋市国際展示場、レスキュー関連の競技を武田テバオーシャアリーナにそれぞれ配置し、設計にあたっては、開催委員会の各リーグの専門部会委員が中心となり、ロボカップ国際委員会の関係者と調整を重ね、レイアウトや詳細な仕様を決定した。各競技会場の面積、仕様については以下のとおりである。

メジャーリーグ							
リーグ名	フィールド数	フィールドの広さ	表面の仕様 (カバリング)	チーム エリアの 総面積	電気容量	Wi-Fi 仕様	
ロボカップ サッカー	ヒューマノイドリーグ	5	10.4m×7.4m	人工芝 (h=30mm)	750㎡	100V:57.5kw 200V:13.0kw	2.4G:1ch / 5G:60ch,64ch AP:Ruckus ZoneFlex ZF7372
	スタンダードプラットフォームリーグ	5	10.4m×7.4m	人工芝 (h=8mm)	380㎡	100V:20.0kw	2.4G:5ch / 5G:60ch,64ch AP:Ruckus ZoneFlex ZF7372
	中型ロボットリーグ	2	20.4m×10.4m	バンチカーペット	150㎡	100V:8.5kw	2.4G:9ch,36ch / 5G:無し AP:Ruckus ZoneFlex ZF7372
	小型ロボットリーグ	4	(小)10.4m×7.4m (大)14.8m×10.4m	バンチカーペット	400㎡	100V:20.5kw	2.4G:13ch,14ch / 5G:48ch AP:Ruckus ZoneFlex ZF7372 または 持込AP利用
	シミュレーションリーグ 2D	1	テーブル6台分	—	220㎡	100V:9.5kw	Wi-Fi無し、有線LANのみ
	シミュレーションリーグ 3D	1	テーブル6台分	—			Wi-Fi無し、有線LANのみ
ロボカップ レスキュー	レスキューロボットリーグ	1	24m×20m	製作物	370㎡	100V:23.0kw	2.4G:無し / 5G:36,40,44,48,52,56,60,64ch AP:持込利用
	レスキューシミュレーション リーグ	1	テーブル12台分	—	220㎡		Wi-Fi無し、有線LANのみ
	ラピッドリーマニファクチャード ロボット競技	1	6m×5m	製作物	60㎡		
ロボカップ @ホーム	オープンプラットフォーム フォームリーグ	1	12m×10m	クッションフロア シート敷き	550㎡	100V:22.0kw	2.4G:無し / 5G:36ch,52ch,56ch AP:CISCO AIR-CAP3702E+DP: AIR-ANT2566D
	ドメスティックスタンダード プラットフォームリーグ	1	12m×10m	クッションフロア シート敷き			2.4G:無し / 5G:40ch,108ch,112ch AP:CISCO AIR-CAP3702E+DP: AIR-ANT2566D
	ソーシャルスタンダード プラットフォームリーグ	1	12m×10m	クッションフロア シート敷き			2.4G:無し / 5G:44ch,116ch,120ch AP:CISCO AIR-CAP3702E+DP: AIR-ANT2566D
ロボカップ インダストリアル	ロボカップ ロジスティクスリーグ	1	14m×8m	会場アスファルト	250㎡	100V:87.0kw	2.4G:9ch / 5G:136ch AP:Ruckus ZoneFlex ZF7372 または 持込AP利用
	ロボカップ@ワーク リーグ	1	9m×6m	会場アスファルト			2.4G:無し / 5G:100ch,104ch(周囲の状況を考慮し 48ch利用も可) AP:Ruckus ZoneFlex ZF7372 または 持込AP利用

※AP=アクセスポイント、DP=指向性アンテナ

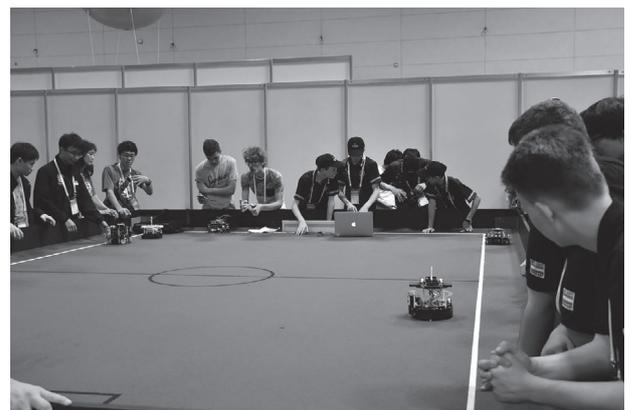
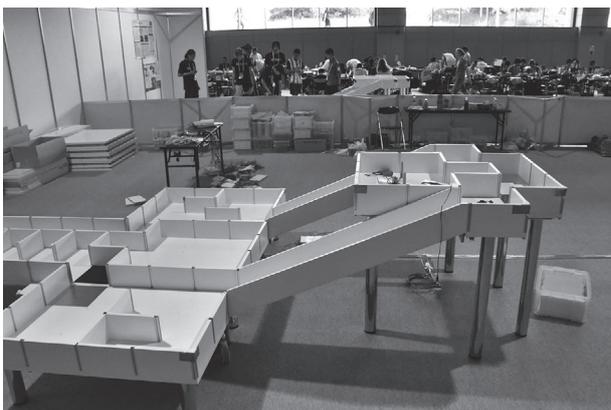
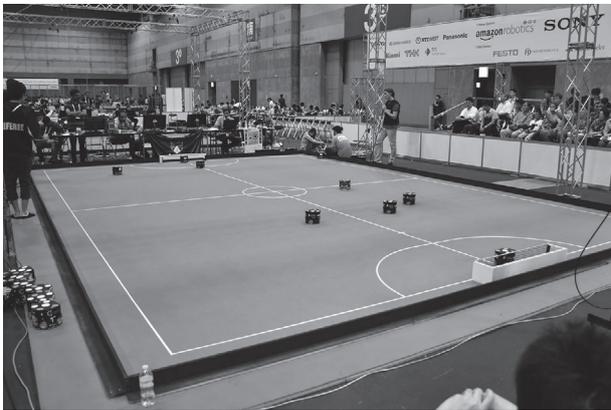
ジュニアリーグ						
リーグ名	フィールド数	フィールドの広さ	表面の仕様 (カバリング)	チーム エリアの 総面積	電気容量	Wi-Fi 仕様
サッカー	15※	2.49m×1.88m	バンチカーペット	300㎡	100V:15.5kw	Wi-Fi無し
	2	6m×4m (ビッグフィールド)				
レスキュー	6	4.8m×1.2m (ライン)	製作物	230㎡	100V:15.0kw	
	4	3m×1.5m (メイス)	製作物	150㎡		
レスキューコススペース	4	2.5m×1.8m	製作物	320㎡	100V:12.0kw	
オンステージ	2	4m×3m	コンパネ 30mm厚 (白塗装)	400㎡	100V:22.5kw	

※内、3面は練習用

会場内には、サッカースタンダードプラットフォームリーグの標準機である「NAO」や、@ホームリーグの標準機である「HSR」及び「Pepper」の修理・調整を行うクリニックを設置したほか、各リーグ関係者用のミーティングルームも名古屋市国際展示場内に3か所設置するなど、競技が円滑に行われるよう努めた。

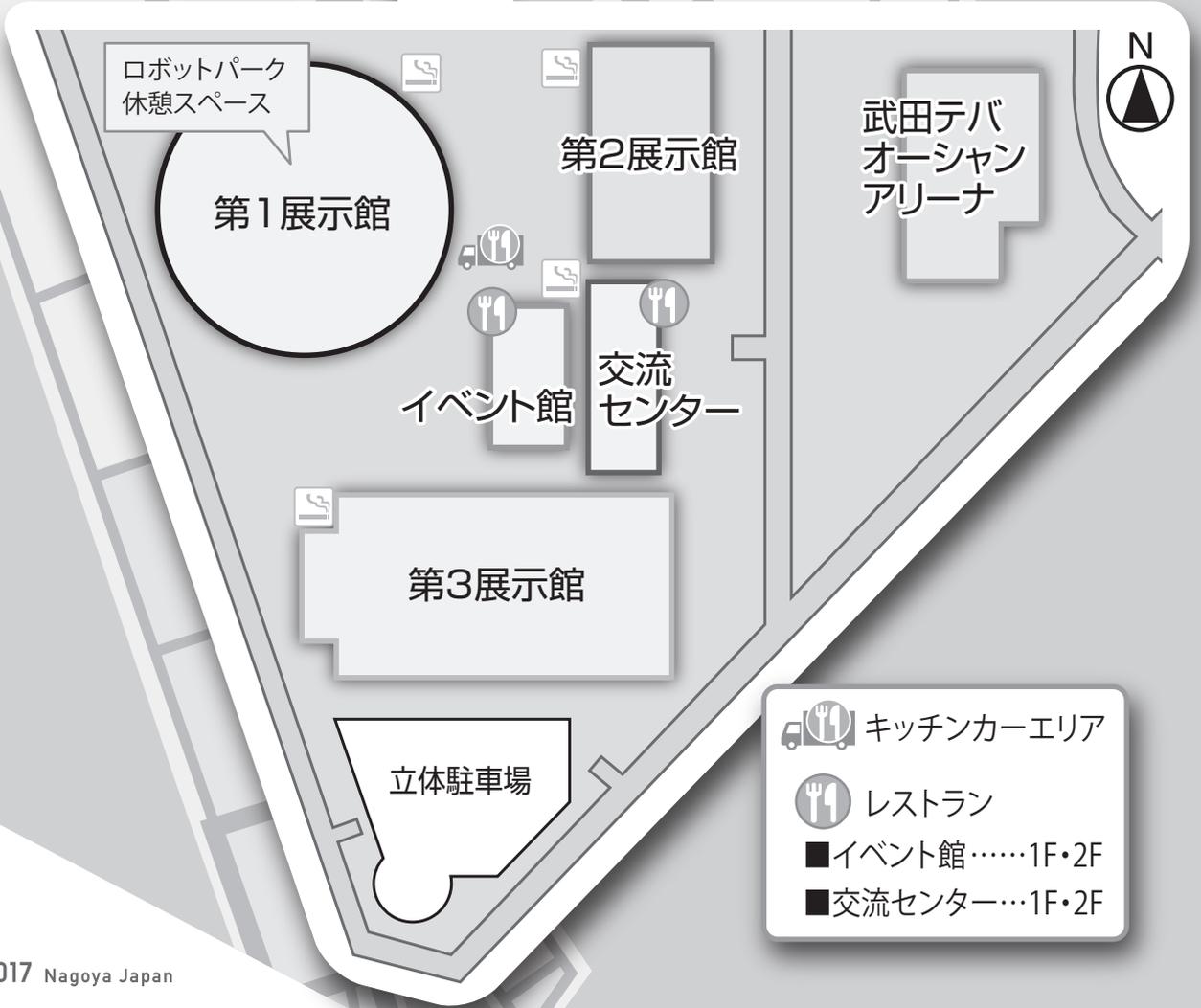
■ Wi-Fi環境

ロボカップの競技はWi-Fiのネットワークを介し、ロボット間やロボットとパソコン間での通信が頻繁に行われるが、各リーグがWi-Fiの同一周波数帯のチャンネルを使用すると、電波の干渉が発生し競技に支障が出るため、事前に各リーグと調整し、Wi-Fiの各チャンネルの割り当てを行った。また、展示会（ロボット技術・産業フェア）の出展者や一般の来場者にWi-Fi機器の利用を控えるよう、協力を呼び掛けた。



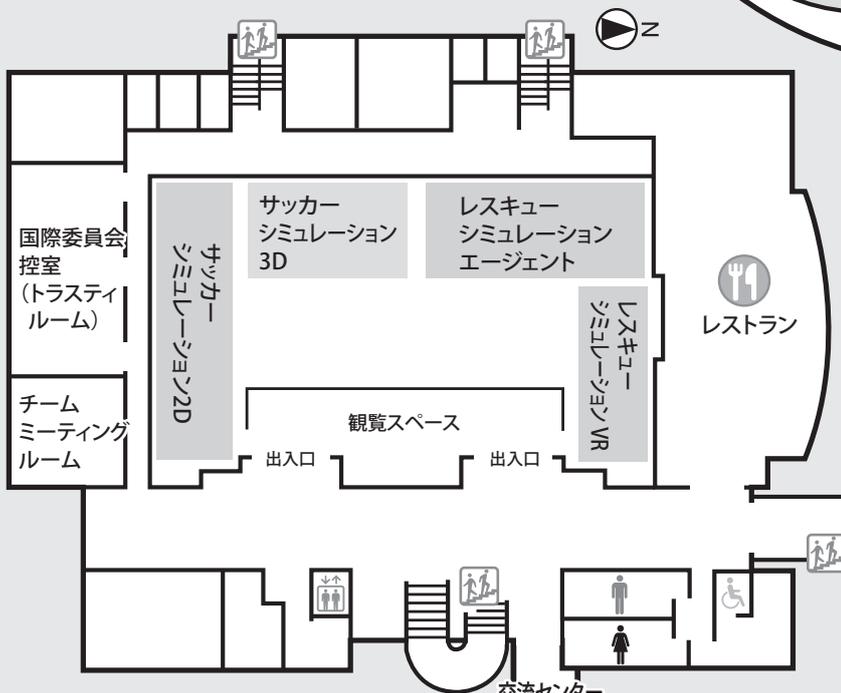
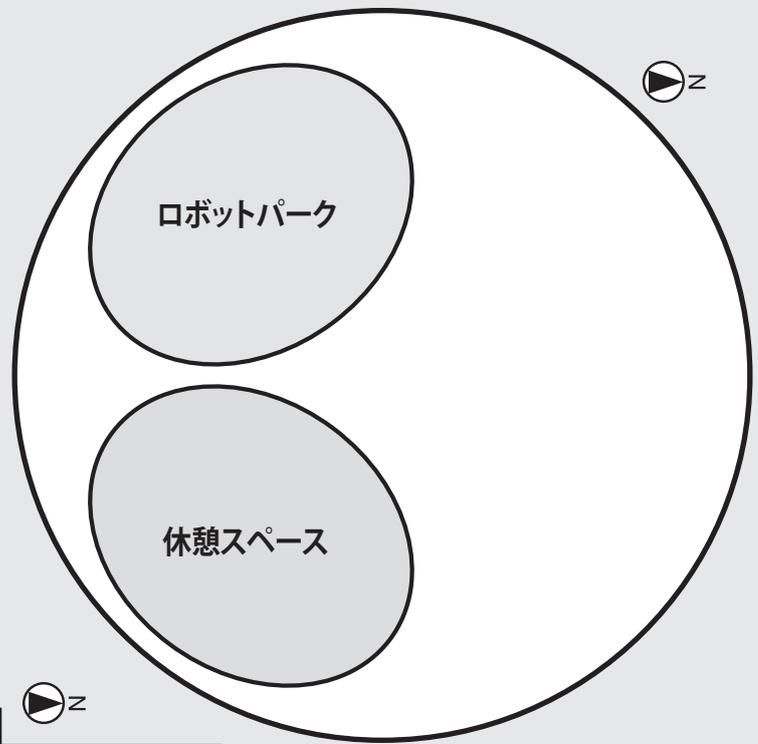
会場全体図

名古屋駅方面



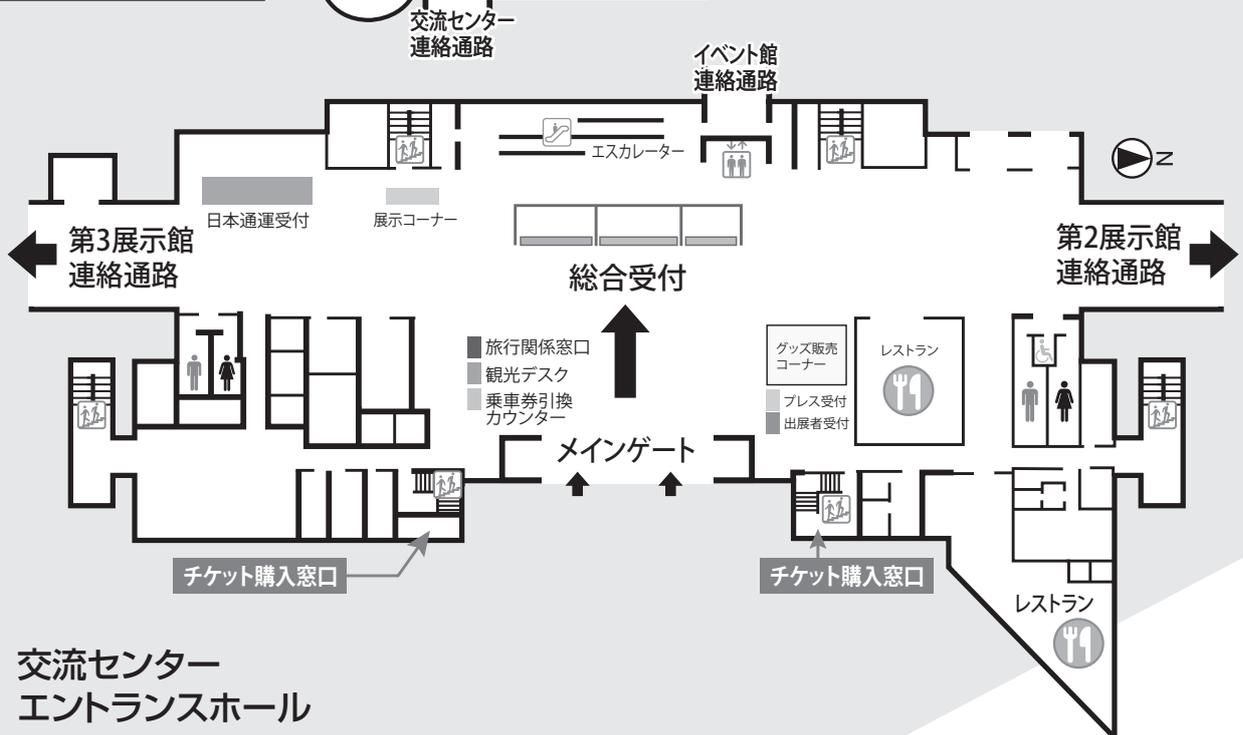
-  キッチンカーエリア
-  レストラン
-  イベント館……1F・2F
-  交流センター…1F・2F

ポートメッセなごや 第1展示館



イベント館 2F

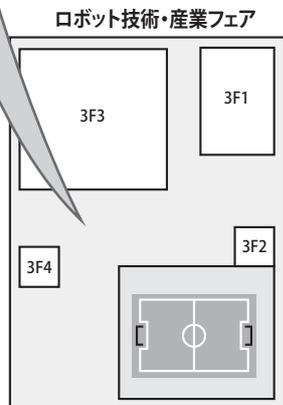
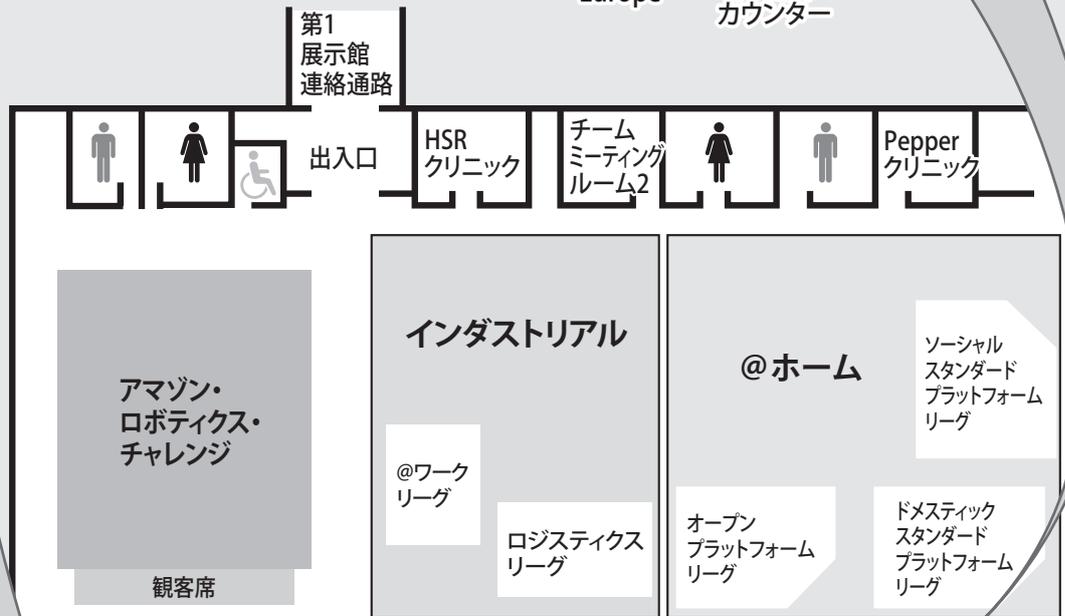
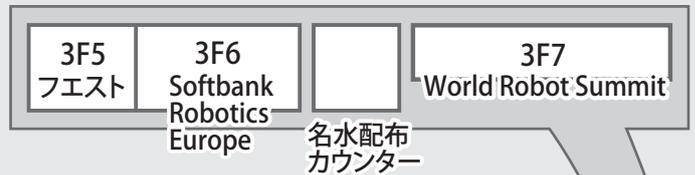
- ◎ロボカップサッカー(シミュレーション)
- ◎ロボカップレスキュー(シミュレーション)

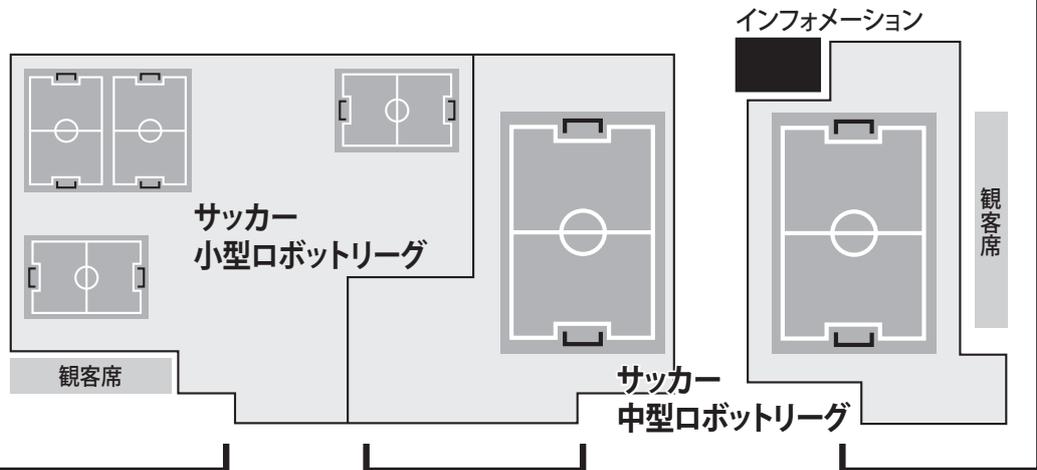
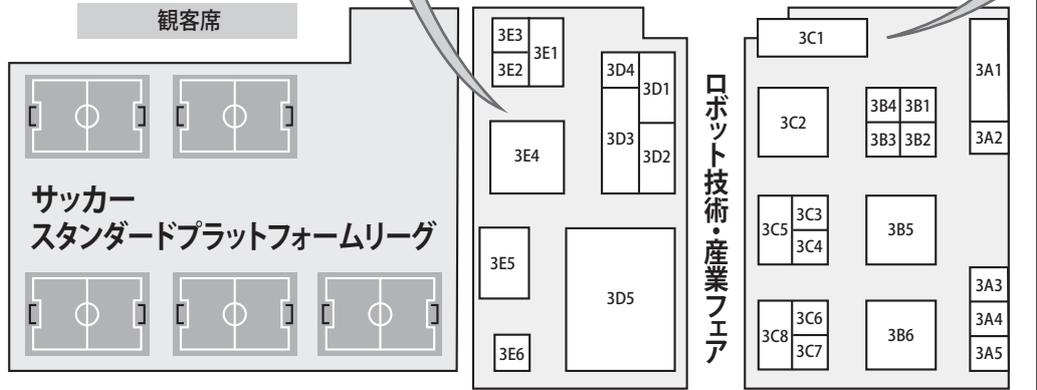
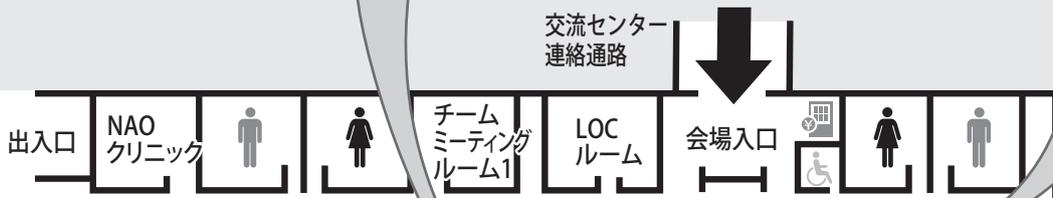
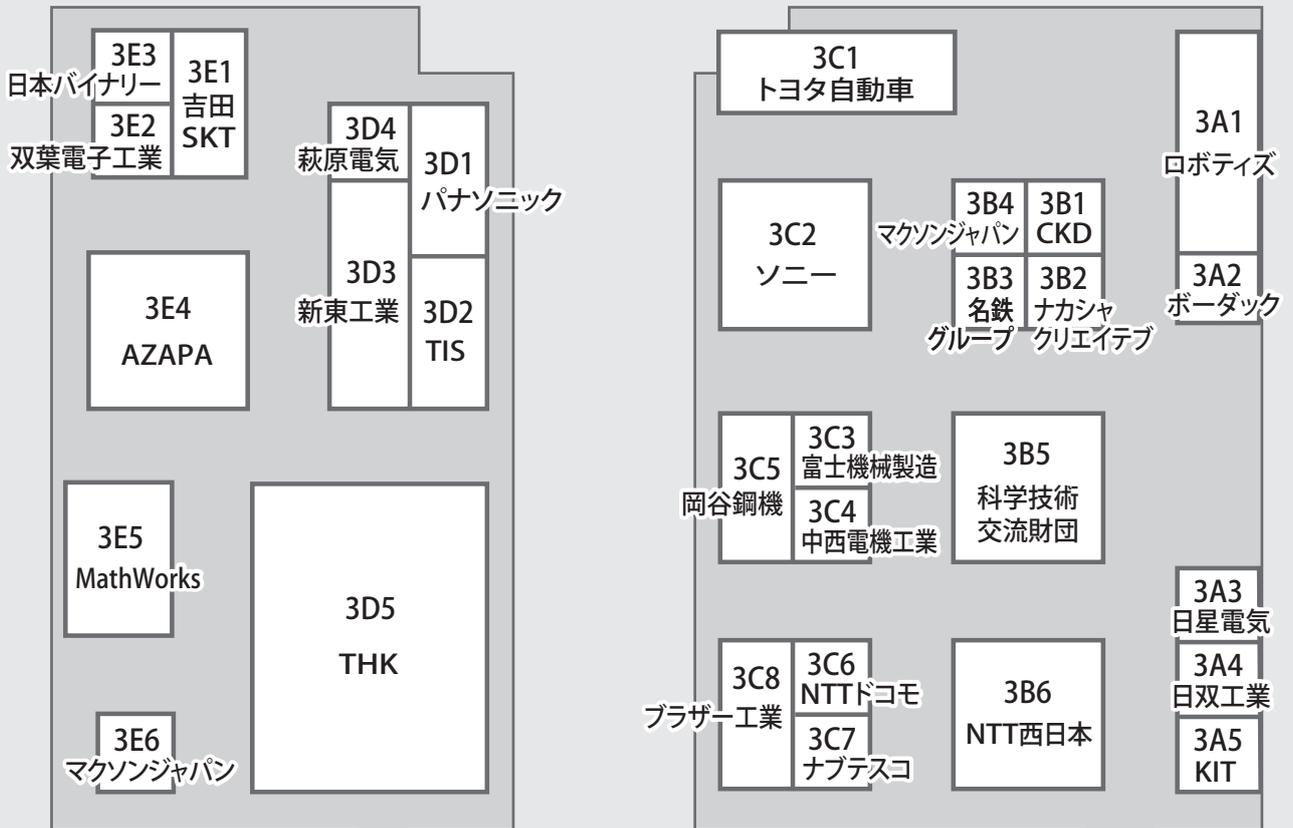


交流センター
エントランスホール

第3展示館 会場レイアウト

- ◎ロボカップサッカー
- ◎ロボカップ@ホーム
- ◎ロボカップインダストリアル
- ◎アマゾン・ロボティクス・チャレンジ
- ◎ロボット技術・産業フェア





第2展示館 会場レイアウト

◎ロボカップジュニア
(サッカー/オンステージ)

◎世界青少年発明工夫展 2017

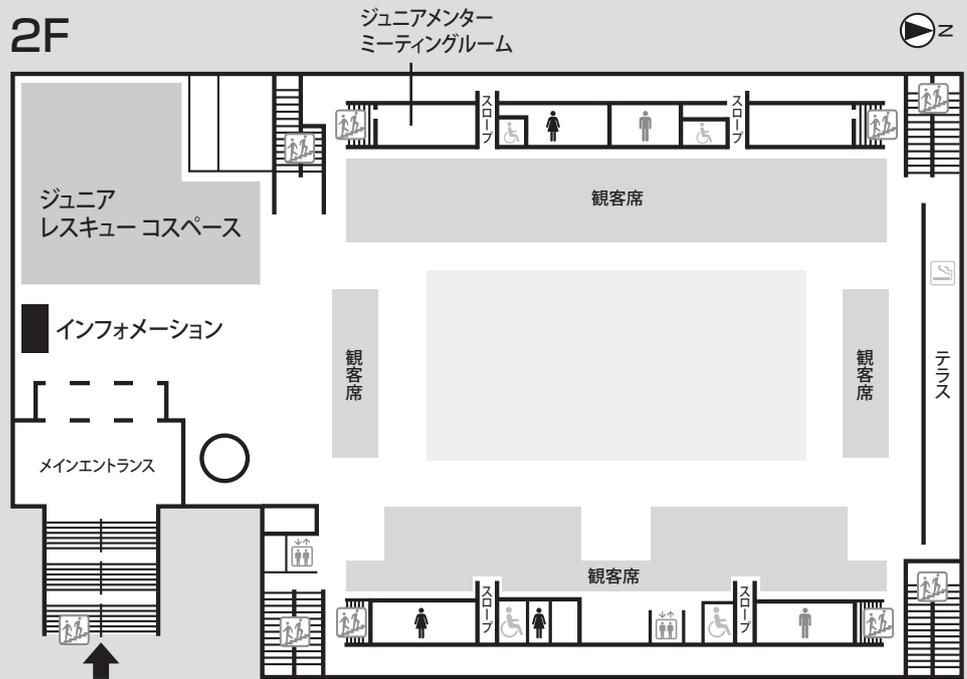
◎ロボット技術・産業フェア



武田テバオーシャンアリーナ 会場レイアウト

- ◎ロボカップレスキューロボット
- ◎ラビッドリーマニファクチャードロボット競技
- ◎ロボカップジュニア(レスキュー/レスキューコススペース)

2F



1F



9-1 運営

9-1-1 警備

参加者及び来場者の安全を確保するため、会場での雑踏警備や車両の誘導、夜間警備などを行った。なお、警備の実施にあたっては、愛知県警港警察署と事前協議を行い、必要な措置のアドバイスを受けるなど、事件・事故発生の防止に努めた。

1. 警備内容

- (1) 搬出入車両等の誘導
会場設営・撤去等搬出入車両、関係車両の交通誘導
- (2) 施設警備、雑踏警備
一般公開期間中のエントランス等整理誘導、館内巡回警備、入場口での来場者手荷物検査補助
- (3) VIP対応
式典等開催時のVIP車両の誘導
- (4) 夜間警備
深夜から早朝にかけての警備

2. 警備日時、ポスト数

月日	時間	ポスト数	実人数
7月22日(土)	22:30～翌7:00	9名	12名
7月23日(日)	7:00～19:00	13名	18名
	19:00～翌8:00	7名	9名
7月24日(月)	8:00～19:00	11名	15名
	19:00～翌8:00	6名	7名
7月25日(火)	8:00～19:00	17名	23名
	19:00～翌8:00	6名	6名
7月26日(水)	8:00～19:00	15名	21名
	19:00～翌8:00	8名	8名
7月27日(木)	8:00～19:00	23名	29名
	19:00～翌8:00	4名	4名
7月28日(金)	8:00～19:00	23名	29名
	19:00～翌8:00	4名	4名
7月29日(土)	8:00～19:00	21名	27名
	19:00～翌8:00	7名	8名
7月30日(日)	8:00～19:00	25名	32名
	19:00～翌8:00	12名	15名
計		211名	267名

9-1-2 救護、保険

1. 救護

来場者及び参加者等の急な病気やけがの発生に対応するため、名古屋市国際展示場イベント館1階に救護室を設置し、看護師(救急救命士資格も有)1～2名が対応した。期間中の対応状況は以下のとおりである。

月日	時間
7月25日(火)	4件(切り傷等3名、頭痛・発熱等1名)
7月26日(水)	6件(切り傷等4名、熱傷1名、咽頭痛・耳鳴り1名)
7月27日(木)	7件(筋肉痛・ねんざ2名、頭痛・発熱等3名、咽頭痛・耳鳴り2名)
7月28日(金)	7件(切り傷等1名、熱傷1名、筋肉痛・ねんざ2名、頭痛・発熱等3名)
7月29日(土)	8件(切り傷等3名、筋肉痛・ねんざ1名、頭痛・発熱等4名)
7月30日(日)	5件(切り傷等4名、筋肉痛・ねんざ1名)
計	37件(切り傷等15名、熱傷2名、筋肉痛・ねんざ6名、頭痛・発熱等11名、咽頭痛・耳鳴り3名)

2. 保険

大会中、万一の事故発生や、台風等風水害により大会が中止になった場合に備え、各種保険に加入した。参加者等の傷害保険、損害賠償保険、大会が中止になった場合に対応する興業中止保険で、内容については右表のとおりである。

区分		補償額
団体保険	参加者等の死亡・後遺障害	500万円
	同入院日額	3,000円/日
	同通院日額	2,000円/日
賠償責任保険	対人・対物補償	1億円/1事故あたり
興業中止保険	大会中止時の補償	約5,000万円

9-2 ボランティア

ボランティアは、大会支援ボランティアと競技運営ボランティアの2つの役割を設け、大会支援ボランティアは受付業務、駅や空港での交通案内、参加者・来場者誘導など多岐に渡る大会運営業務に従事した。また、競技運営ボランティアは、ロボカップのジュニア競技の審判や、ジュニア本部の運営補助などに従事した。

9-2-1 大会支援ボランティア

大会支援ボランティアは大会運営に係る幅広い業務に従事した。また、多くの市民からの参加を募るため、一般募集を行った。

■ 募集

区分	内容
募集期間	(当初)2017年3月13日(月)～4月10日(月) (延長)2017年4月11日(火)～5月10日(水)
募集・周知方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ロボカップHP上での募集 ・募集リーフレット、ポスターの市関係施設への配架、掲示 ・県内各高校、大学への直接依頼 ・広報なごや 平成29年3月号への掲載(くらしのガイド) ・名古屋市政記者クラブへの情報提供 ・国際交流・多文化共生団体へのメールでの情報提供 ・開催委員会構成団体、各協賛企業への情報提供
募集人数	500名程度
応募条件	<ul style="list-style-type: none"> ・2017年4月1日時点で15歳以上の方(中学生不可) ・英検2級またはTOEIC 600点程度以上の英語力。 ※募集期間延長時に日常会話程度の英語力に条件を緩和 ・事前研修に参加できる方

■ 募集結果

最終活動者数(実人数) 416名

◆男女比

区分	人数	割合
男性	172名	41.3%
女性	244名	58.7%
計	416名	

◆年代別

区分	人数	割合
10代	148名	35.6%
20代	60名	14.4%
30代	44名	10.6%
40代	65名	15.6%
50代	50名	12.0%
60代	32名	7.7%
70代	14名	3.4%
80代	3名	0.7%
計	416名	

◆職業別

区分	人数	割合
高校生	142名	34.1%
大学生 (大学院生含)	45名	10.8%
会社員	71名	17.1%
公務員	21名	5.0%
無職・その他	57名	13.7%
不明	80名	19.3%
計	416名	

■ 事前研修

◆ 実施日時・参加人数

日時		参加人数
7月2日(日)	10:00~12:00	87名
	14:00~16:00	75名
7月5日(水)	14:00~16:00	86名
	18:30~20:30	92名
計(4回)		340名

※上記以外に一部高校からの参加者には、事務局担当者が直接研修を実施。

◆ 研修会場

ウインクあいち会議室

◆ 研修内容

- ・主催者あいさつ、ロボカップの概要説明(15分)
- ・ボランティアの心得とマナーについて(10分)
- ・ボランティアの活動内容、従事マニュアルの説明(20分)
- ・異文化コミュニケーションについて(25分)
- ・英語講習(15分)
- ・質疑応答(15分)

■ 活動期間

◎7月24日(月)~7月30日(日)

8:00~20:00(最大)間の指定する時間帯

([例] 終日8:00-16:00、12:00-20:00/半日8:00-12:00、12:00-16:00、16:00-20:00等)

■ 活動場所

- ◎名古屋市国際展示場
- ◎武田テバオーシャンアリーナ
- ◎中部国際空港(国際線・国内線到着ロビー、アクセスプラザ)
- ◎名古屋駅(JR、名鉄、あおなみ線各駅構内)
- ◎金城ふ頭駅(改札付近)

■ 活動内容

区分	活動期間	ポスト数	内容
空港、駅での交通案内	7月24日(月)~ 7月26日(水)	16~28	中部国際空港、名古屋駅、金城ふ頭駅での会場や 宿泊先までの交通案内 など
総合受付	7月25日(火)~ 7月30日(日)	20~36	参加者受付、参加者・関係者・来場者の案内
参加者・来場者対応	7月25日(火)~ 7月30日(日)	6	参加者・来場者からの各種問い合わせ対応、Wi-Fi 使用に対する注意対応補助
あおなみ線乗車券引換	7月25日(火)~ 7月26日(水)	2	参加者に配布した引換券とあおなみ線乗車券セット の引換え
名水(飲料水)の引換	7月25日(火)~ 7月29日(土)	4	参加者に配布した引換券と名水(飲料水)の引換
インフォメーション カウンター	7月25日(火)~ 7月30日(日)	4	参加者・来場者からの各種問い合わせ対応、 来場者アンケートの実施 など
導線整理(会場内外)	7月25日(火)~ 7月30日(日)	6	名古屋国際展示場 交流センターエントランス、 武田テバオーシャンアリーナでの来場者の導線整理
大会運営補助 (各リーグの補助)	7月25日(火)~ 7月30日(日)	26	各リーグ運営サイドからの雑務対応、パドックエリア への立ち入り制限
入場チェック (第2展示館内)	7月27日(木)~ 7月30日(日)	2	有料エリア内への入場について、参加者バッジまた は来場者リストバンドの着用確認

■ 活動内容別参加人数(延べ人数)

区分	7月24日	7月25日	7月26日	7月27日	7月28日	7月29日	7月30日	計
交通案内	42	56	47	0	0	0	0	145
中部国際空港	13	14	9	0	0	0	0	36
名古屋駅	29	39	34	0	0	0	0	102
金城ふ頭駅	0	3	4	0	0	0	0	7
総合受付	0	74	70	24	27	29	32	256
参加者・来場者対応	0	10	8	8	10	15	14	65
あおなみ線乗車券引換	0	6	7	0	0	0	0	13
名水(飲料水)引換	0	6	6	8	7	8	0	35
インフォメーションカウンター	0	16	16	14	13	13	12	84
名古屋市国際展示場	0	7	9	6	6	7	7	42
武田テパオーシャンアリーナ	0	9	7	8	7	6	5	42
導線整理(会場内外)	0	35	36	30	27	33	51	212
大会運営補助(各リーグの補助)	0	6	8	82	73	75	64	308
入場チェック	0	0	0	8	6	7	8	29
計	42	209	198	174	163	180	181	1,147

■ 待遇

- ◎活動日1日あたり1,000円分のクオカード(ロボカップデザイン)の支給
- ◎食事券の支給(1日あたりの活動時間が6時間を超える場合)
※会場内のキッチンカーで利用可
- ◎ユニフォーム(ビブス)の支給
- ◎ボランティア保険の加入
- ◎ボランティア参加証明書の発行(希望者のみ)



▲クオカード



**ロボカップ2017名古屋世界大会
大会支援ボランティア募集**

ロボカップ2017は、ロボコンに工業系の種別を加え、世界初の「ロボコン+工業系」で構成された国際的なロボットコンテストの総称です。1997年に名古屋で開催し、以後、世界各地で開催され、現在は世界中の大学・専門学校・中高生が参加し、世界40ヶ国以上の国から約200人の高校生が参加しています。今年も名古屋で開催され、世界40ヶ国以上の国から約200人の高校生が参加しています。

世界40ヶ国の友人とふれあえるチャンス!

ロボカップ2017 Nagoya Japan

ボランティア活動期間 7月24日(月)～7月30日(日)

募集期間 3月13日(月)～4月10日(月)※22 募集人数 500名

詳しくはこのリーフレットまたはボランティア募集ウェブサイトをご覧ください

<http://www.roboocup2017.org/volunteer.html>

▲ボランティア募集チラシ



**ボランティア活動証明書
Certificate of Appreciation**

あなたはロボカップ2017名古屋世界大会において
大会支援ボランティアとして活動し
大会運営に貢献したことを証明いたします

*This is to certify that the support you provided
at the RoboCup 2017 Nagoya Japan as a supporting volunteer was
a great contribution to the successful operation of the competitions.*

平成29年7月30日
July 30, 2017

ロボカップ2017名古屋世界大会運営委員会
会長 河村たかし
Takashi Kawamura
Chairman, RoboCup 2017

Thank you for your volunteer activities

▲ボランティア活動証明書

※大会支援ボランティアのアンケート結果は資料編119ページを参照

9-2-2 競技運営ボランティア

競技運営ボランティアは主にジュニア競技の審判(主審、副審)、競技運営などに従事した。運営にあたってはジュニアの競技専門部会委員が中心となり、募集、研修などを実施した。

■ 募集

区分	内容
募集期間	2017年 3月25日(土)～7月26日(水)
募集・周知方法	・ロボカップHP上での募集 ・ロボカップジュニア・ジャパンHP上での募集 ・ロボカップジュニア中津川大会などでの参加者等への呼びかけ
募集人数	150名程度
応募条件	・2017年 4月1日時点で15歳以上の方(中学生不可) ・日常会話程度の英会話ができる方

■ 募集結果

最終活動者数(実人数) 151名

◆ 男女比

区分	人数	割合
男性	118名	78.1%
女性	33名	21.9%
計	151名	

◆ 国内・海外別

区分	人数	割合
国内	120名	79.5%
海外	31名	20.5%
計	151名	

■ 事前研修

日程:7月25日(火)

会場:名古屋市国際展示場、
武田テバオーシャンアリーナ
内容:競技ごとの審判研修 など

■ 活動日時

7月26日(水)～30日(日) 8:00～19:00

■ 活動内容

- ・ジュニアサッカー(オープン・ライトウェイト)の主審、副審
- ・ジュニアレスキュー(メイズ・ライン)の主審、副審
- ・ジュニアレスキュー コススペースの主審、副審
- ・ジュニアオンステージの運営、審査員
- ・ジュニア本部の運営補助

■ 活動場所

- ・名古屋市国際展示場
(ジュニアサッカー、オンステージ)
- ・武田テバオーシャンアリーナ
(ジュニアレスキュー、レスキューコススペース)

■ 活動日別参加人数(延べ人数)

月日	人数
7月26日(水)	115名
7月27日(木)	128名
7月28日(金)	132名
7月29日(土)	140名
7月30日(日)	122名
計	637名

■ 待遇

内容	国内ボランティア	海外ボランティア
クオカード ※1,000円/日	○	
食事券の支給	○	○
ユニフォーム(Tシャツ)の支給	○	○
ボランティア保険の加入	○	○
旅費補助 ※上限1万円・遠方の方	○	
宿泊施設の提供		○(19人)
あおなみ線乗車券引換券の支給		○



9-3 参加者関連

9-3-1 News Letterの配信

大会の最新情報や注意事項の周知を行うため、大会参加者や関係者に対するNews Letterを英語で作成し、ロボカップ国際委員会を通じ、各リーグのメーリングリストへの配信を行った。また、配信とあわせて、大会ホームページ上にも掲載を行い、注意事項等の周知に努めた。

■ 内容

No.	1	2	3	4
発行日	2月15日(水)	5月22日(月)	7月4日(火)	7月19日(水)
内容	Welcome & Invitation Save the Dates ・登録期間の案内 ・セットアップ、競技会、シンポジウムの日程 Nagoya ・名古屋市の紹介 Event Highlights ・ARC、世界青少年発明工夫展の併催 Participation ・大会参加方法の案内 Accommodation & Travel ・公式旅行会社、宿泊予約ページの案内 ・フライト、会場案内 Preliminary Visa Application ・査証必要国の案内 ・申請時に必要な書類に関する注意 Cargo ・公式輸送会社、関連ページの案内 Contact & Information ・公式Webサイト、メールアドレスの案内 Closing	Registration /Reminder of Important Dates ・早期登録のすすめ、RegOnlineの案内 ・登録期間の案内 ・セットアップ、競技会、シンポジウムの日程 Invitation Letters for Visa Application ・査証必要国の案内 ・申請時に必要な書類に関する注意 Travel ・名古屋までのフライト案内 ・空港から会場までの交通案内 ・あおなみ線の交通費無料化 Accommodation ・早期の宿泊予約のすすめ ・公式旅行会社、宿泊予約ページの案内 Cargo ・公式輸送会社、関連ページの案内 ・輸送マニュアルの案内 Carry-On Baggage ・手荷物で物品を持ち込む場合の注意 Information & Social Media ・公式Webサイト、Facebook、YouTubeの案内 Contact ・メールアドレスの案内 ・登録関係問い合わせ先の案内 Closing	Registration /Reminder of Important Dates ・登録期間の案内 ・セットアップ、競技会、シンポジウムの日程 ・登録関連ページ、RegOnlineの案内 Accommodation Information ・早期の宿泊予約のすすめ ・公式旅行会社、宿泊予約ページの案内 Cargo ・公式輸送会社、関連ページの案内 ・倉庫、取扱い期限等の案内 ・輸送マニュアルの案内 Carry-On Baggage ・手荷物で物品を持ち込む場合の注意 Travel On-site ・会場までの交通案内 ・あおなみ線の切符の交換方法 ・空港トラベルデスクの案内 On-site Check-in ・会場チェックイン日時、場所等の案内 Open Hours of the Venue ・開場時間(参加者向け、一般向け)の案内 WLAN at the Venue ・近日公開予定の無線LAN使用上の注意事項について Contact & Information ・公式Webサイト、Facebook、YouTubeの案内 ・メールアドレスの案内 Closing	Travel On-site ・名古屋の気候 ・空港及び会場までの交通案内 ・あおなみ線の切符の交換方法 ・空港トラベルデスクの案内 Open Hours of the Venue ・開場時間(参加者向け、一般向け)の案内 On-site Check-in ・会場チェックイン日時、場所等の案内 ・同意書提出に際しての注意事項 Cargo Desk ・公式輸送会社の利用者に対する案内 ・輸送デスクの営業時間 WLAN at the Venue ・無線LAN使用上の注意事項 ・LAN機器の販売店案内 Security at the Venue ・会場警備について Social Events ・式典、パーティの日時及び会場案内 RoboCup Symposium 2017 ・シンポジウムの日時、場所、Webサイトの案内 Move-Out ・撤収に関する案内 Participants Booklet ・参加者用パンフレットのWebサイト掲載の案内 Closing

9-3-2 査証 (VISA) の取得支援

日本入国の際に査証 (VISA) が必要な国の参加者は、居住地の日本大使館等において、事前に査証の発給が必要となる。参加者は、参加登録の際に、招へい理由書をはじめとする査証申請用書類の交付希望の有無を登録しており、開催委員会においては、この交付希望情報に基づき参加者と連絡を取り、査証申請用書類を作成し、各参加者あて発送した。

また、国によっては査証の取得に時間を要する場合も想定されたため、大会ホームページ上に査証に関する案内を掲載したほか、参加者向けに配信したNews Letterにおいても、査証の早期取得に努めるよう注意喚起を行った。

■ 希望者への交付書類

- ◎招へい理由書
- ◎身元保証書及び身元保証人の在職証明書
- ◎滞在予定表
- ◎インビテーションレター

■ 国・地域別対象者数

No.	国・地域	対象者数
1	イラン	267
2	中国	264
3	ブラジル	69
4	インド	59
5	インドネシア	40
6	ロシア	40
7	エジプト	30
8	パナマ	22
9	ペルー	18
10	コロンビア	12
11	トルコ	10
12	バングラデシュ	2
13	エクアドル	2
14	カザフスタン	2
15	パキスタン	2
16	タイ	2
17	コンゴ	1
18	ケニア	1
19	リベリア	1
20	マレーシア	1
21	モロッコ	1
22	ミャンマー	1
23	スリランカ	1
24	台湾	1
25	ウクライナ	1
26	ベトナム	1
	合計	851

9-3-3 ロボット等の輸送

ロボット等の輸送について、ロボットの円滑な搬出入及び参加者の利便性を高めるため、日本通運株式会社をオフィシャルロジスティクスパートナーに選定し、対応した。輸送にあたっては、参加者向けの輸送マニュアルを作成し、公式ホームページ上で公開したほか、海外からの輸出入であることから名古屋税関への事前相談も行った。また、大会期間中は名古屋市国際展示場内に日本通運の受付デスク及び保管場所を設置するなど、スムーズな輸送の実施に努めた。

■ 輸送実績

◆メジャー

リーグ名	件数	国名
サッカー中型ロボット	1	オランダ(1)
レスキューロボット	1	ドイツ(1)
@ホーム	8	カナダ(1)、ドイツ(3) メキシコ(1) オーストラリア(1) アメリカ(2)
インダストリアル	1	フランス(1)
計	11	

◆ジュニア

リーグ名	件数	国名
オンステージ	1	カナダ(1)
計	1	



◆その他

リーグ名	件数	国名
アマゾン ロボティクス チャレンジ	11	アメリカ(5) シンガポール(1) ドイツ(2)、スペイン(1) インド(1)、オランダ(1)
グローバルスポンサー	2	フランス(1)、アメリカ(1)
ロボット技術・産業フェア	2	韓国(2)
計	15	

9-3-4 会場への誘導

大会会場の名古屋市国際展示場及び武田テバオーシャンアリーナまで、参加者が名古屋駅構内をスムーズに移動できるよう、各鉄道会社（JR東海、名鉄、あおなみ線）及びNTTドコモの協力により、名古屋駅構内及び金城ふ頭駅から大会会場までの画像を撮影した道案内コンテンツ（VRにも対応）を作成し、2017年7月3日から公式ホームページ上で公開した。

1. 撮影箇所数

◎名古屋駅構内…13カ所

◎金城ふ頭駅～名古屋市国際展示場…4カ所

2. コンテンツ公開期間

◎2017年7月3日（月）～7月31日（月）

9-3-5 参加登録

ロボカップ世界大会の参加希望者は、国際委員会における資格審査を経て参加資格が与えられ、参加資格を得た参加者は、国際委員会に対して参加登録及び参加料の支払いを完了することで大会への参加が可能となる。参加登録にはチーム及びチームメンバー個人それぞれの手続きが必要であり、具体的には国際委員会の管理する参加登録システム（RegOnline）を通じ、下記の期間において登録受付を行ったが、チームメンバー個人については例外的に現地での登録（On-site登録）も受け付けた。これらの参加登録情報については、国際委員会から開催委員会に対し、通常登録の締切以降順次データが送付された。

■ 登録受付期間及び登録料

メジャー 登録期間		登録区分	登録料
早期登録 (Early Registration)	2017年3月8日(水) ～5月31日(水)	Team	\$790
		Faculty/Staff	\$515
		Student	\$380
		Individual	\$515
通常登録 (Regular Registration)	2017年6月1日(木) ～6月30日(金)	Team	\$920
		Faculty/Staff	\$580
		Student	\$440
		Individual	\$580
最終登録 (Late Registration)	2017年7月1日(土) ～7月22日(土)	Team	登録不可
		Faculty/Staff	\$650
		Student	\$515
		Individual	\$650

ジュニア 登録期間		登録区分	登録料
通常登録 (Regular Registration)	2017年3月8日(水) ～6月30日(金)	Team	\$160
		Mentor	\$160
		Student	\$160
		Junior Parent/Chaperone	\$160
最終登録 (Late Registration)	2017年7月1日(土) ～7月22日(土)	Team	登録不可
		Mentor	\$290
		Student	\$290
		Junior Parent/Chaperone	\$290

■ 区別参加登録者

◆メジャー

区分	人数	うちOn-site登録数
Major Faculty/Staff	273	1
Major Student	1,173	10
合計	1,446	11

◆ジュニア

区分	人数	うちOn-site登録数
Junior Mentor	264	0
Junior Parent/Chaperone	103	0
Junior Student	719	0
合計	1,086	0

◆その他（シンポジウムのみ・関係者等）

区分	人数	うちOn-site登録数
Major Individual	12	0
Junior Regional Representative	2	0
Symposium Faculty	13	6
Symposium Only - Junior League	13	0
Symposium Only - Student	6	1
RoboCup 2017 Organization	70	0
RoboCup 2017 Volunteer	29	0
合計	145	7

* Rapidly Manufactured Robot Competition（ラピッドリーマニファクチャードロボット競技）の参加者54人はジュニアとして登録

9-3-6 宿泊支援

競技参加者等が確実にスムーズに宿泊予約ができるよう、開催委員会において選定した旅行会社((株)日本旅行)により、名古屋市内の利便性の高い施設を中心に大会の約1年前から宿泊施設を確保し、専用の宿泊予約サイトによる宿泊予約受付を行ったほか、宿泊等に関する問い合わせ対応を行った。また、国際委員会理事等の関係者に対しては、別途宿泊施設を確保した。

1. 対象者

競技参加者、競技関係者(国際委員会理事、海外からのボランティア等)

2. 確保した宿泊施設の概要

- 宿泊施設数 37施設(名古屋駅、栄駅、金山駅周辺など、交通の利便性がよい宿泊施設)
- 客室数 1,798室(2,041名分)
- 期間 2017年7月24日(月)～8月1日(火)

3. 宿泊予約の受付

2017年2月15日(水)公式ホームページに、オンラインでの宿泊予約の受付・手配を行うウェブサイト(英語及び日本語)を開設し、希望者からの予約受付を行った。

4. 宿泊利用実績

宿泊利用者数682名(延べ4,113名)

■ 施設別実績

地区 (施設数)	施設名	期間中最大利用日の実績(7/29)		延べ利用実績(7/23～8/2*)	
		客室数	人数	客室数	人数
名古屋駅 (11)	ホテルサンルートプラザ名古屋	34	60	190	338
	第一富士ホテル	30	45	192	297
	名鉄ニューグランドホテル	30	41	213	279
	名古屋駅前モンブランホテル	29	38	204	274
	名鉄イン名古屋駅前	33	33	251	251
	ダイワロイネットホテル名古屋駅前	23	27	188	228
	ロイヤルパークホテル ザ 名古屋	18	27	125	186
	名鉄グランドホテル	12	16	105	144
	チサンイン名古屋	16	16	132	132
	名古屋フラワーホテル	20	20	116	116
	ダイワロイネットホテル名古屋新幹線口	14	18	80	108
小計		259	341	1,796	2,353
栄・伏見・ 丸の内 (10)	第二富士ホテル	36	58	239	411
	名古屋クラウンホテル	28	42	181	277
	ベストウエスタンホテル名古屋	19	32	130	222
	KKRホテル名古屋	15	27	100	178
	ホテルルートイン名古屋栄	7	13	70	130
	名古屋伏見モンブランホテル	9	11	73	91
	西鉄イン名古屋錦	11	11	84	84
	東京第一ホテル錦	3	7	19	45
	ホテルウイングインターナショナル名古屋	4	6	26	40
	名古屋東急ホテル	0	0	5	5
小計		132	207	927	1,483
金山(1)	名古屋金山ホテル	7	7	77	77
小計		7	7	77	77
その他(2)	メルパルク名古屋	14	24	77	128
	熱田の杜 ホテル深翠苑	5	9	40	72
小計		19	33	117	200
合計		417	588	2,917	4,113

※利用者の希望に応じ、7月23日及び8月2日の宿泊も受け付けている

9-3-7 交通支援

参加者の会場までの来場手段として、大半の参加者のあおなみ線の利用が事前に想定された。そのため、毎日の乗車券購入の手間を省くとともに、参加者の経済的負担を軽減するため、名古屋駅から金城ふ頭駅間の往復乗車券セットを参加者に配布した。なお、乗車券セットの配布にあたっては、参加者用バッグに乗車券セットの引換券を同封し、配布カウンターで引換えを行なった。

1. 往復乗車券セット内容

- (1) メジャー参加者向け
5.5日分(7月25日の復路片道券(0.5日) + 7月26日～7月30日の往復乗車券5日分)
- (2) ジュニア参加者向け
4.5日分(7月26日の復路片道券(0.5日) + 7月27日～7月30日の往復乗車券4日分)

2. 配布実績

区分	配布セット数
メジャー参加者	1,667セット
ジュニア参加者	804セット
計	2,471セット

3. 配布場所

名古屋市国際展示場 交流センター 1階エントランスホール内配布カウンター

4. 配布日時

7月25日(火)、26日(水) 9:00～17:00



▲往復乗車券

▲引換券

9-3-8 名古屋市科学館 特別展入場券の配布

名古屋市科学館で開催された特別展「ロボットってなんだろう?」の入場券をロボカップジュニアの参加者に配布し、世界から集まった子どもたちが日本のロボット技術に触れる機会を作った。

9-3-9 参加者配布物

参加者に対し、以下のものを参加者用バッグに入れ、参加受付の際に配布した。

配布物	提供者
<ul style="list-style-type: none"> ●参加者向け(英語)パンフレット ●あおなみ線乗車券セット引換券 ●飲料水「名水」引換券(7枚セット) ●名古屋市科学館特別展「ロボットってなんだろう?」特別入場券 ※ジュニアのみ 	開催委員会
<ul style="list-style-type: none"> ●からくり人形英文紹介チラシ ●観光施設割引券付リーフレット ●観光ライブマップ 	(公財)名古屋観光コンベンションビューロー
<ul style="list-style-type: none"> ●フラワー・ロボティクスセミナー案内 	フラワー・ロボティクス(株)



▲参加者向け(英語)パンフレット

▲参加者用バッグ

■ 名札

名札(バッジ)は、メジャーやジュニアの参加者を始め、VIPや競技関係者、スポンサーなどの区別に、14種類を作成・配布した。名札の裏面には協賛企業・団体のロゴマーク及び大会の公式ロゴマークを掲載した。



▲名札ストラップ

区分	対象
Major	メジャー参加者
Junior	ジュニア参加者
Junior Mentor/Parent/Chaperone	ジュニアの引率者、親
Symposium	シンポジウム参加者
Sponser	協賛企業・団体
VIP(2種類)	国、県、市関係者、地元公職者、各国大使館等
Amazon Robotics Challenge	アマゾン・ロボティクス・チャレンジの参加者等
Press	報道関係者
Trustee Official	ロボカップ国際委員会理事
OC/TC/Exec Official	ロボカップ国際委員会競技関係者
LOC Official	開催委員会委員、事務局関係者
Technical Volunteer	競技運営ボランティア
STAFF	大会運営スタッフ全般



■ 参加証明書 (Certificate)

各競技参加者に参加証明書 (Certificate) を発行した。デザインは、右のとおりである。



9-3-10 名水の配布

大会期間が酷暑期であり、参加者の熱中症が懸念されたため、その対策として飲料水の無料配布を行った。飲料水は、名古屋市上下水道局の協力により災害備蓄用飲料水「名水」900ケース、21,600本を無償で調達した。配布にあたっては参加者にあらかじめ引換券(1人あたり各7枚)を配布し、会場内(2か所)に引換カウンターを設け、引換えを行った。

1. 配布場所

- ◎名古屋市国際展示場 第3展示館内
- ◎武田テバオーシャンアリーナ サブアリーナ前通路

2. 引換期間

7月25日(火)～7月29日(土)



9-4 来場者関連

9-4-1 チケット販売

ロボカップの入場チケットは、2017年4月3日(月)から前売券の販売を開始した。料金については、前年のドイツ大会及び過去の日本で行われた世界大会の料金を参考に設定するとともに、科学技術に関心を持つ多くの子ども達の来場を図るため、高校生以下は無料とした。また、販売ルートについては、コンビニエンスストア、プレイガイドなどで手軽に購入できるように努めた。

■ チケット一覧

チケットの種類		料金	備考
1日券	前売券	1,000円	高校生以下無料
	当日券	1,200円	同上
4日間通し券	前売券	2,000円	同上
	当日券	2,400円	同上
団体券	当日券	1,000円	20人以上

■ 減免・割引

区分	内容
各種手帳等持参の方 ・障害者(身体・精神)手帳、愛護(療育)手帳 ・戦傷病者手帳 ・被爆者健康手帳 ・特定医療費受給者証 ・障害福祉サービス受給者証 ・地域相談支援受給者証 ・移動支援・地域活動支援受給者証	無料 ※介護者の方も2名まで無料
企業・法人販売(1日券・50枚以上)	1日券(前売券)料金から100円引き ※900円/枚
ドニチエコきっぷ(名古屋市交通局)、 1日乗車券(名古屋市交通局、あおなみ線)を提示の方	1日券(当日券)料金から100円引き ※1,100円/枚
名古屋市科学館特別展「ロボットってなんだろう？」 入場券(半券可)を持参の方	同上 ※相互割引を実施

■ チケット販売状況

区分	前売券	当日券	計
1日券	2,989枚	7,554枚	10,543枚
4日間通し券	920枚	224枚	1,144枚
団体券	-枚	168枚	168枚
企業・法人販売(割引適用)	1,735枚	-枚	1,735枚
1日券(割引適用)	-枚	119枚	119枚
小計	5,644枚	8,065枚	13,709枚



■ 販売ルート

区分	販売窓口
コンビニエンスストア	・ローソン ・セブンイレブン ・ファミリーマート ・ミニストップ ・サークルKサンクス
プレイガイド	・チケットぴあ各店舗 ・芸文プレイガイド ・CBCラヴァーズショップ
中日新聞販売店	東海3県(愛知・岐阜・三重)及び、 長野、滋賀、福井の各販売店
旅行代理店(日本旅行)	東海3県の各店舗
ウェブサイト	・ローチケHMV ・チケットぴあ ・イープラス ・日本旅行(海外向け)

9-5 各種サービス

9-5-1 飲食の提供

参加者、来場者等の会場内での飲食対応として、レストラン5か所(常設2か所含む)、キッチンカー29台を設置した。また、大会会場に隣接するメイカースピアと連携し、ロボカップの入場チケットを持参の方に一部の店舗で割引サービスなどを実施した。なお、飲食の提供にあたっては、宗教上の制約がある方への対応として、一部の店舗では使用食材の英語表示やハラルメニューの提供を実施した。

1. レストラン

- (1) 出店期間／7月27日(木)～30日(日)
- (2) 場所／名古屋市国際展示場 交流センター、イベント館
- (3) 出店者数／5店舗

番号	出店者名	場所
1	ふる里(常設)	交流センター 1階
2	東山ガーデン(常設)	交流センター 1階
3	ふる里(臨時)	交流センター 2階 臨時レストラン(南)
4	ふる里(臨時)	イベント館 1階
5	ヒューマンテーブル(臨時)	イベント館 2階



2. キッチンカー

- (1) 出店期間／7月27日(木)～30日(日) ※一部(7店舗)は25日から出店
- (2) 場所／名古屋市国際展示場敷地内
- (3) 出店者数／29店舗

番号	出店者名	主な提供品目
1	magical food	ソフトドリンク、生ビール
2	トリヤマ社中	チキン南蛮ごはん、からあげ
3	たこ本舗	たこ焼き
4	美味旬菜 饗庭	鶏肉の冷やし担担麺、ベジ冷やし麺
5	food box	スーパーホットドッグ、肉巻おにぎり棒
6	メルカート	ワンポンドステーキプレート
7	からあげ178	オリジナルからあげ(全6種)
8	Mister Kebab	ケバブサンド、ロングポテト
9	移動cafe工房 ソラモト	コーヒー、チョコマント
10	AYASHIRO家	フランクフルト、和牛丼
11	くまねこワンタン	ワンタン、焼き餃子
12	オリンピック食堂	ラスポテト、ベジタリアンメニュー
13	京ひみこ	わらび餅、ソフトクリーム
14	もんじゃや	霜降りぶたしゃぶねぎ焼、かき氷
15	未来屋	知多牛ステーキ丼、牛串
16	K'sカンパニー	富士宮やきそば、もともちポテト
17	caffé siesta	カフェのドリンク、ホットドッグ
18	～天使の雪～ snowmy	かき氷
19	肉焼総本家 三輪	極上牛ステーキ丼、牛ハラミステーキ丼
20	すうぷからあげ東京	からあげ、肉巻おにぎり
21	釜玉屋	釜玉ラーメン、手焼き風玉子棒
22	ホルモン焼KING	牛ホルモン焼、牛ホルモン焼カレー丼
23	むすび家 縁	名古屋コーチン 熟成牛ステーキ丼
24	元祖博多から揚げ専門店 田中屋	博多から揚げ 3種、各種丼ぶり
25	牛タン専門店 さくら家	牛タン丼、牛タン串、牛タンスライス
26	飛騨牛専門店 和牛十兵衛	和牛すき焼き丼、和牛ステーキ串
27	台湾食堂	台湾ラーメン、まぜそば
28	インドリ屋	そうからあげ、からあげ丼
29	トルコケバブ	トルコケバブ、カレー



3. メイカーズピアの割引サービス

- (1) 期間／7月27日(木)～30日(日)
- (2) 飲食関係割引等実施店舗 9店舗

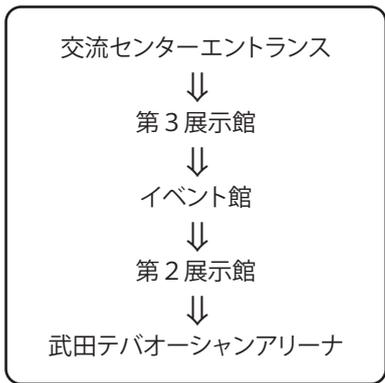
番号	店舗名	サービス内容
1	yebisu gogo café	会計・注文時10%OFF
2	KAMMI-BAR	ドリンク全品 2割引
3	果汁工房果琳	セール品以外50円引き
4	だるまうなぎ 金城ふ頭店	うな井、ひつまぶし一人200円OFF
5	サガミ 金城ふ頭店	会計から 5%OFF
6	THE MATSUKASA	テイクアウト手羽先100円引き 手羽先+アルコール類セットで1,000円
7	VALORE	ドリンク50円引き
8	異国精肉店 ザ・アミーゴス	食事された方にはソフトドリンク 1杯とポテトフライサービス
9	西条園抹茶カフェ	1,000円以上お買い上げでラスク 1 袋プレゼント

※飲食関係の店舗以外でも、雑貨店等5店舗で各種割引及び特典等を実施した。

9-5-2 会場内ガイドツアー

一般来場者の方を対象に、ロボカップの競技や各関連事業などをわかりやすく紹介する会場内ガイドツアーを実施した。なお、ガイドツアーの実施にあたっては、名古屋市国際展示場交流センターエントランスホール内で、各回開始30分前から先着順で参加者募集を行った。

1. ガイドツアーコース (60分)



2. ツアーアテンド

名古屋市職員通訳者3名(1グループあたり)がアテンド

3. ガイドツアー 参加人数実績

日程	時間	参加人数
7月27日(木)	10:00～11:00	22
	13:00～14:00	16
	15:30～16:30	6
7月28日(金)	10:00～11:00	11
	13:00～14:00	9
	15:30～16:30	4
7月29日(土)	10:00～11:00	41
	13:00～14:00	32
	15:30～16:30	23
7月30日(日)	10:00～11:00	39
計		203



9-5-3 第1回世界大会(名古屋)映像の上映、競技解説

■ 第1回世界大会映像の上映

参加者及び来場者に20年ぶりに名古屋で開催するロボカップをふりかえり、技術の進歩を実感してもらえるよう1997年に名古屋国際会議場で開催されたロボカップの第1回世界大会の映像を編集し、当時の競技の様子などを上映した。

上映場所

名古屋市国際展示場

交流センター エントランスホール



■ 競技解説

ロボカップの各競技会場では、開催委員会専門部会の各委員などが解説者として、試合中、随時、競技の見どころや競技ルール、試合中のチームの特徴などについて一般の来場者にわかりやすく解説を行い、ロボカップの魅力の発信に努めた。



9-5-4 トラストィツアー

ロボカップ国際委員会理事(トラスティ)へのおもてなしや、名古屋の都市魅力のPRを図るため、7月25日(火)に名古屋城を巡るトラスティツアーを開催した。ツアーは、名古屋城を営業時間終了後に特別に公開し、案内は「名古屋おもてなし武将隊」の徳川家康が英語で行い、ツアー参加者からは大変好評であった。

■ トラストィツアー行程

時間	内容
16:30	バス到着(名古屋市国際展示場正面配車場)
17:00	バス乗車・出発
17:40	名古屋城正面駐車場到着 武将隊、名古屋城職員合流 正門、写真撮影(5分)
17:50	本丸御殿見学(15分) 移動5分 天守閣見学(20分) 移動10分
19:05	正門到着、バス乗車・発車
19:15	名古屋駅前降車(ツアー終了)

■ 参加者

ロボカップ国際委員会理事等 21名



9-5-5 来場者の輸送

ロボカップの来場者は、主に電車(あおなみ線)及び自家用車で来場することが予想されたことから、関係事業者と事前に調整を図り、必要な輸送対策を行った。

1. 対策

(1) あおなみ線

多数の来場者に対応するため、あおなみ線の臨時列車の増発を行うとともに、臨時駐車場を確保した。

■ 名古屋駅発 時刻表 ※下線が臨時列車

時刻	7月27日(木)、28日(金)	7月29日(土)、30日(日)
5	30	30
6	00 20 <u>25</u> 40	00 20 <u>25</u> 40
7	00 10 20 30 40 50	00 17 29 40 50
8	00 10 20 30 40 50	03 <u>12</u> 16 28 40 50 <u>57</u>
9	00 10 20 30 <u>36</u> 45 <u>56</u>	00 <u>12</u> 15 30 45 <u>56</u>
10	00 15 30 <u>40</u> 45 <u>55</u>	00 <u>12</u> 15 <u>26</u> 30 45
11	00 15 30 <u>40</u> 45 <u>55</u>	00 <u>12</u> 15 30 <u>40</u> 45
12	00 15 30 <u>40</u> 45	00 <u>12</u> 15 30 <u>40</u> 45
13	00 <u>10</u> 15 30 <u>40</u> 45	00 <u>12</u> 15 30 <u>40</u> 45
14	00 15 30 45	00 15 30 45
	臨時列車本数 各日10本	臨時列車本数 各日13本

※27日、28日の9時台以降、29日、30日の8時台以降の臨時列車は全てノンストップ

■ 金城ふ頭駅発 時刻表 ※下線が臨時列車

時刻	7月27日(木)、28日(金)	7月29日(土)、30日(日)
15	14 29 44 59	14 29 44 59
16	14 29 43 <u>51</u>	14 29 <u>40</u> 43
17	01 <u>11</u> 21 31 41 51	00 <u>10</u> 15 31 <u>40</u> 44
18	01 11 21 31 41 51	01 12 <u>21</u> 29 46 <u>50</u>
19	01 15 30 <u>40</u> 45	01 15 30 <u>42</u> 45
20	00 <u>05</u> 15 30 45	00 <u>10</u> 15 30 <u>40</u> 45
21	00 15 30 47	00 15 30 47
22	08 28 46	08 28 46
23	08 30	08 30
	臨時列車本数 各日4本	臨時列車本数 各日8本

※29日、30日の臨時列車は全てノンストップ

(2) 臨時駐車場

自家用車で来場者も多く予想されたことから、空見臨時駐車場(1,500台収容)を確保した。

2. 実績

(1) 来場方法(来場者アンケート結果)

来場方法について、アンケート結果では電車での来場が最も多く、55.8%を占めた。次いで自家用車・レンタカーでの来場が36.5%で、電車及び車での来場が90%以上を占めた。

■ 来場者アンケート結果

区分	割合	自転車・徒歩	1.2%
電車(あおなみ線)	55.8%	シャトルバス	0.9%
自家用車・レンタカー	36.5%	タクシー	0.4%
路線バス	1.6%	その他・無回答	3.6%

(2) 電車(あおなみ線)の乗車状況

名古屋駅、金城ふ頭駅の入場件数の実績は右表のとおりであった。なお、多客のため、28日の午前中、一時、名古屋駅ホームへの入場制限が実施されたが、目立った混乱はなかった。

■ 乗車状況(自動改札機入場件数)

月日	人数(名古屋駅)	人数(金城ふ頭駅)
7月25日(火)	17,510人	4,597人
7月26日(水)	19,364人	6,550人
7月27日(木)	21,880人	9,366人
7月28日(金)	23,348人	10,091人
7月29日(土)	18,778人	10,878人
7月30日(日)	16,156人	9,771人

(3) 駐車場の利用状況

金城ふ頭地区内にある3か所の駐車場(計7,000台収容)及び空見臨時駐車場(1,500台収容)の利用状況は以下のとおりであった。なお、大会期間中、長時間の渋滞などは特に発生しなかった。

■ 金城ふ頭駐車場(5,000台収容)

月日	総入庫台数	最大滞留台数
7月25日(火)	637台	511台
7月26日(水)	792台	627台
7月27日(木)	885台	724台
7月28日(金)	970台	812台
7月29日(土)	1,353台	1,006台
7月30日(日)	1,622台	1,217台

■ 国際展示場駐車場(1,000台収容)

月日	総入庫台数	最大滞留台数
7月25日(火)	閉鎖	同左
7月26日(水)	136台	75台
7月27日(木)	871台	520台
7月28日(金)	1,086台	662台
7月29日(土)	1,459台	885台
7月30日(日)	1,414台	920台

■ 駅前駐車場(1,000台収容)

月日	総入庫台数	最大滞留台数
7月25日(火)	234台	155台
7月26日(水)	263台	162台
7月27日(木)	374台	272台
7月28日(金)	378台	264台
7月29日(土)	528台	378台
7月30日(日)	728台	450台

■ 空見臨時駐車場(1,500台収容)

月日	総入庫台数	最大滞留台数
7月28日(金)~30日(日)	0台	0台

9-5-6 トラベルデスク等の設置

参加者及び関係者等への宿泊案内、名古屋の観光案内などを行うため、参加者の宿泊施設の斡旋を行った日本旅行及び名古屋観光コンベンションビューローの協力により、中部国際空港及び名古屋市国際展示場内にトラベルデスク等を設置した。

1. 中部国際空港

中部国際空港では、参加者等の来日に合わせ、大会開催直前の7月22日(土)から日本旅行のトラベルデスクを設置し、各種案内を行った。

(1) 設置期間

7月22日(土)～7月26日(水)

(2) 場所

2階国際線到着ロビー前

(3) 主な問合せ内容

- ホテルや大会会場、名古屋駅へのアクセス方法(セントレアリムジンバスの利用方法)
- 名古屋周辺の観光案内(名古屋市内の地図)
- あおなみ線往復乗車券の入手方法
- SIMカードの入手方法



2. 名古屋市国際展示場

大会初日の7月25日(火)から、名古屋観光コンベンションビューローのインフォメーションデスク及び日本旅行のトラベルデスクを設置し、名古屋周辺などの観光案内等を行った。

(1) 設置期間

7月25日(火)～7月30日(日)

(2) 場所

交流センター 1階 エントランスホール

(3) 主な問合せ内容

- ホテルの案内、宿泊サイトの申込みの手配確認
- 観光案内、エクスカーション、食事場所の問い合わせ
- あおなみ線往復乗車券に関すること
- 大会チケットのバウチャーとの引換(海外からウェブサイトで購入の方)



9-5-7 グッズショップ

大会期間中、名古屋市国際展示場交流センターエントランスホールの一部に公式グッズショップを設置し、参加者や来場者などに、ロボカップのオリジナルグッズ、名古屋みやげ、ロボット玩具などを販売した。なお、ロボカップのオリジナルグッズは大変人気があり、ロゴ入りTシャツなどの商品が完売した。

■ 販売期間

7月27日(木)～7月30日(日)

■ 販売品目

区分	品目数	主な商品
ロボカップオリジナルグッズ	18	Tシャツ、トートバッグ、缶バッジ など
その他グッズ	147	(名古屋みやげ) ういろう、手羽先、みそ製品 など (玩具類) ロボット、ドローン玩具、工作キット など (その他) ロボット等の書籍 など
合計	165	

▼ ロボカップオリジナルグッズの画像



◎Tシャツ



◎缶バッジ



◎キーホルダー



◎トートバッグ



10-1 チラシ・ポスター

大会PRチラシ及びポスターを、前売券の販売開始時期(4月)と、大会直前期(6月)に作成し、関係団体に配布したほか、一般の方が多く集まる民間施設等において配架を行った。また、6月には県内の小中学校及び高等学校の児童・生徒全員にチラシを配布した。

■ 配布枚数

区分	4月	6月	合計配布枚数
ポスター	2,450枚	4,850枚	7,300枚
チラシ	64,000枚	941,000枚	1,005,000枚



▲前売券販売開始時期ポスター・チラシデザイン



▲大会直前期ポスターデザイン



▲大会直前期チラシデザイン(表面)



▲大会直前期チラシデザイン(裏面)

10-2 広告等

10-2-1 交通広告、新聞・雑誌における広告等

大会開催直前期となる7月には、市内主要駅(名古屋駅、栄駅、金山駅)構内や電車内における交通広告を展開するとともに、新聞や雑誌等へのマス広告、大型ショッピングセンター店舗内広告、街中のインフォメーションボードによる広告等を実施した。

■ 交通広告等



▲JR名古屋駅コンコース シリーズアドビジョン



▲JR名古屋駅桜通口デジタルフラッグ



▲地下鉄名古屋駅ビッグウォール



▲栄駅グランドボード



▲金山ポスタージャック



▲地下鉄車内広告(中吊)



▲シティスケープ(市バス乗り場)

■ その他の広告



▲栄みなみエリアインフォメーション



▲モールスケープ(イオンモール)



▲Yahoo! JAPANプライムディスプレイ



▲Facebook広告

10-2-2 他団体との連携による広告

連携先	連携内容
名古屋グランパス	ホームゲームにてPR動画の上映
名古屋オーシャンズ	ホームゲームにてPR動画の上映、来場者へのチラシ配布
中部国際空港(セントレア)	国際線ムービングウォークにてパネル設置、国際線到着ロビーにて歓迎装飾の実施

上記のほか、市との協定を利用したコンビニエンスストア県内店舗(ローソン、ファミリーマート(サークルK))、県との協定を利用した中日本高速道路SA・PA(中部地域)でのポスター掲示を行ったほか、(株)サガミチェーンの協力による各店舗でのポスター掲示も行った。



▲名古屋オーシャンズホームゲームでの動画上映



▲セントレア国際線到着ロビー歓迎装飾

10-3 市広報媒体

■ 広報なごや

年度	発行時期	内容
2016年度	平成29年(2017年)1月号	ロボカップ2017名古屋世界大会半年前イベント
	平成29年(2017年)2月号	名古屋少年少女発明クラブ(表紙) 7月に名古屋で開催!ロボカップ2017名古屋世界大会
2017年度	平成29年(2017年)4月号	4/3より入場チケット販売開始、プレイベント「Touch the Robot」
	平成29年(2017年)6月号	ロボカップ2017名古屋世界大会関連イベント ・開催記念フォーラム ・親子見学ツアー
	平成29年(2017年)7月号	この夏は最先端のロボットたちに会いに行こう!(表紙) いよいよ開催ロボカップ2017名古屋世界大会(今月の特集)

広報なごや
Nagoya News
平成29年(2017年)7月号
No.835
July

この夏は最先端のロボットたちに会いに行こう!
いよいよ開催! ロボカップ2017名古屋世界大会

「僕が得意なのは車輪つきまあるい方。天井についている4つのカメラがロボットの位置と向きとボールの場所を把握して、その情報でデータと合わせてチームに送信されます。そのやりとりは毎秒60回! 安斎勇介さん、ナゴヤの高校を出て現在愛知県立大学大学院生、RoboDragonsのチームリーダー。身長18cm高さ15cm以下のロボット(チーム名)で競うロボカップサッカー小型リーグ。ボールは直径50mm、ロボットも最大毎秒3mで動くので展開がすごく速い。「あれが市販されているロボットでNAOっていうんですけど、世界中で同じロボットを使っています。力の強さとか、そういうのは全部同じですけど、顔面をみながら考えて、いかに賢く動かすか? ボール、ゴール、相手のロボットを認識させるのか? 何をやるのか、ロボット自身にどう判断させるの? ところが勝手ができません!」上村雅之さん。

同じくナゴヤの高校を出て愛知県立大学へ、Camellia Dragonsに所属、ロボカップサッカー標準プラットフォームリーグ(チーム名)に出場。外形の美しさと、CPUというコンピュータの性能も同じ。同じ性能の中で、どれだけ要領よくやるかが鍵。うーん、なるほど、まず二人から見どころを教えてください。では各選手はどう? 安斎はサッカーの経験も豊富なプロダクトは、チーム総監督からのもの、それこそなまきさんの秘伝のたれ、どう自分のやりたいうことを追加するか、難しかった。上村さん「ロボットの近くはボールでも、顔面にあるカメラで捉えなきゃいけない。目の色が青を帯びるのか、ロボット自身にどう判断させるのかが難しい!」

今後の事は? 安斎さん「昨年は世界4位、今年は優勝したい! 人間の研究者になりたいです」上村さん「人工知能を社会に設立するものになりたい。今年は決勝リーグ進出を!」日本1(世界1かも)のものづくりナゴヤ地域。観客がリッパだよ、ロボカップ、見て来てちょうよ!!

1左から安斎勇介さん、河村博康、上村雅之さん、ロボットNAO(愛知県立大学大学院生)の4名

今月の特集
いよいよ開催! ロボカップ2017名古屋世界大会
7/27(土)~30日

名前にはNAO(ナオ)っていうんだがね。 **河村博康**

「僕が得意なのは車輪つきまあるい方。天井についている4つのカメラがロボットの位置と向きとボールの場所を把握して、その情報でデータと合わせてチームに送信されます。そのやりとりは毎秒60回! 安斎勇介さん、ナゴヤの高校を出て現在愛知県立大学大学院生、RoboDragonsのチームリーダー。身長18cm高さ15cm以下のロボット(チーム名)で競うロボカップサッカー小型リーグ。ボールは直径50mm、ロボットも最大毎秒3mで動くので展開がすごく速い。「あれが市販されているロボットでNAOっていうんですけど、世界中で同じロボットを使っています。力の強さとか、そういうのは全部同じですけど、顔面をみながら考えて、いかに賢く動かすか? ボール、ゴール、相手のロボットを認識させるのか? 何をやるのか、ロボット自身にどう判断させるの? ところが勝手ができません!」上村雅之さん。

今後の事は? 安斎さん「昨年は世界4位、今年は優勝したい! 人間の研究者になりたいです」上村さん「人工知能を社会に設立するものになりたい。今年は決勝リーグ進出を!」日本1(世界1かも)のものづくりナゴヤ地域。観客がリッパだよ、ロボカップ、見て来てちょうよ!!

1左から安斎勇介さん、河村博康、上村雅之さん、ロボットNAO(愛知県立大学大学院生)の4名

こんな競技があります!

- ロボカップサッカー: 人間と同じように、自ら考えて動く(自律移動)ロボットによるサッカー競技
- ロボカップレスキュー: 災害時を想定して救助戦略を考えるシミュレーション
- ロボカップインダストリアル: 工場でのオートメーション化のためのロボット技術を競う
- ロボカップ@ホーム: 家庭での利用を想定して、次世代のロボカップの思い手を育てる競技で、チームはサッカー、レスキュー、ダンスなど

開催 同大会運営事務局 ☎ 581-3241 FAX 581-5585 (市長経済部次世代産業課 ☎ 870-2917 FAX 870-2918)

◀▲ 広報なごや 平成29年(2017年)7月号

■ その他の媒体

年度	媒体	時期	内容
2016年度	大型映像装置	2017年1月1日~1月15日	金山NAIS、西庁舎1階ロビーにて半年前イベント告知
	映像配信システム	2017年1月16日~1月27日	各区役所、支所及び西庁舎1階のロビーにて放送される市政情報番組の下部で半年前イベント告知のテロップ放送
2017年度	大型映像装置	2017年4月1日~4月15日 2017年6月1日 2017年7月1日~7月15日	金山NAIS、西庁舎1階ロビーにて前売券発売、記念フォーラム、大会開催のお知らせ

10-4 記者会見

大会の開催機運を高め大会の周知を図ることを目的に、第7回開催委員会の開催に合わせて、ロボカップ出場ロボットのデモンストレーションや大会の見所紹介を行う記者会見を実施した。

■ 概要

日 時 | 2017年6月13日(火) 11:00~12:00
場 所 | 名鉄ニューグランドホテル 7階 椿の間
出 席 者 |

名古屋市長／開催委員会会長	河村たかし
愛知県副知事／開催委員会副会長	森岡仙太
名古屋市の副市長／開催委員会副会長	堀場和夫
ロボカップ国際委員会会長	野田五十樹
ロボカップ日本委員会会長／開催委員会副会長	大橋 健



■ 内容・スケジュール

時間	内容
11:00~11:03	ロボカップPR動画上映
11:03~11:08	会長(河村市長)あいさつ
11:08~11:13	副会長(森岡副知事)あいさつ
11:13~11:18	野田五十樹国際委員会会長によるコメント
11:18~11:30	大橋健日本委員会会長による開催概要の紹介
11:30~11:40	質疑応答
11:40~12:00	<ul style="list-style-type: none"> ロボカップ出場ロボットによるロボットデモンストレーション 生活支援ロボットHSR(Human Support Robot)【トヨタ自動車(株)】 NAO【愛知県立大学 Camellia Dragons】 災害対応ロボット Scott I【愛知工業大学 AIT Pickers】

■ 配布物

- ・ロボカップ2017名古屋世界大会開催のご案内
- ・DVD(大会公式ロゴマークデータ、ポスター及びチラシデータ、キービジュアルロボットデータ、競技写真、広報動画3種)

■ 参加者数 26社46人

■ メディア掲載

◎テレビ

- NHK(ほっとイブニング)(2017年6月13日)
- CBCテレビ(イッポウ)(2017年6月13日)
- 東海テレビ(みんなのニュースONE)(2017年6月13日)
- 名古屋テレビ(ANNニュース)(2017年6月13日)
- 中京テレビ(キャッチ!)(2017年6月13日)
- テレビ愛知(ゆうがたサテライト)(2017年6月13日)

◎新聞

- 中日新聞(朝刊)(2017年6月14日)
- 朝日新聞(朝刊)(2017年6月14日)
- 読売新聞(朝刊)(2017年6月14日)
- 中部経済新聞(朝刊)(2017年6月14日)
- 日本経済新聞(朝刊)(2017年6月14日)
- 日刊工業新聞(朝刊)(2017年6月14日)

◎その他

- 東海ウォーカー(電子版)(2017年6月13日)
- Network2010(Web)(2017年6月13日)



10-5 Webによる情報発信

10-5-1 公式ホームページ

参加者・来場者向けの最新情報やロボカップ関係者のインタビュー記事等のコンテンツの掲載を行うとともに、開催期間中に競技の映像配信を実施した。コンテンツは日本語のほか英語でも作成した。

■ 掲載内容

- ◎開催概要 ◎ロボカップの各競技紹介 ◎シンポジウム
- ◎参加者へのご案内
重要なお知らせ(会場へのチェックイン、会場での無線LAN使用、参加者ブックレット等)
/スケジュール/参加方法/参加登録/ニュースレター/宿泊案内/貨物運送/名古屋市について/会場
- ◎来場者へのご案内
競技スケジュール/出場チーム一覧/来場者用パンフレット/チケット情報/
会場(アクセス案内)/名古屋市の概要・観光情報
- ◎関連イベント…展示会「ロボット技術・産業フェア」/ロボットパーク/
子ども向けワークショップ/World Robotics x AI Seminar
- ◎併催イベント…世界青少年発明工夫展/アマゾン・ロボティクス・チャレンジ
- ◎協賛企業、協力機関 ◎組織…開催委員会/運営部会/競技専門部会
- ◎プレス…競技情報/取材申込/プレスサービス/ポスター・チラシ ◎大会広報動画 ◎ロボカップ関係者インタビュー
- ◎大会公式レポート、競技結果・表彰結果 ◎競技映像配信 ◎よくある質問

■ インタビュー記事掲載実績

ロボカップ創設者の一人であるソニーコンピュータサイエンス研究所の北野社長をはじめ、ロボカップ関係者の方の協力を得て、ロボカップの理念や魅力に関するインタビュー記事を掲載した。

区分	掲載日	インタビュー対象者
1回	1月25日	株式会社ソニーコンピュータサイエンス研究所 代表取締役社長 北野 宏明 氏
2回	2月22日	ブルームフィールド大学准教授 江口 愛美 (Amy Eguchi) 氏
3回	3月29日	株式会社アールティ 代表取締役社長 中川 友紀子 氏
4回	4月26日	千葉工業大学 (CIT Brains) 関 遥太 氏
5回	5月10日	愛知県立大学 (Camellia Dragons) 日高 憲太 氏
6回	5月24日	愛知工業大学 (AIT Pickers) 渡邊 彩夏 氏
7回	6月14日	玉川大学 (eR@sers) 長瀬 夕佳 氏
8回	6月28日	Team Takahama Robots 宮本 圭佑 君/近藤 諒歩 君
9回	7月19日	アメリカ国立標準技術研究所 (NIST) Adam Jacoff 氏
10回	7月25日	フラワー・ロボティクス株式会社 代表取締役社長 松井 龍哉 氏

※1月～4月は第4水曜日、5月～6月は第2・4水曜日、7月は直前期に2回掲載



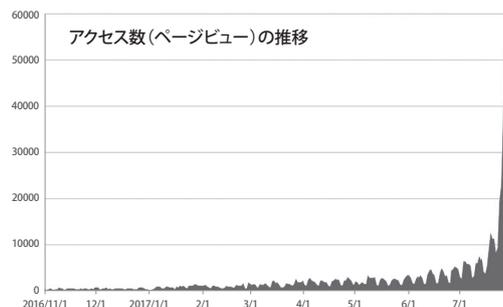
▲トップページ



▲大会関係者インタビュー

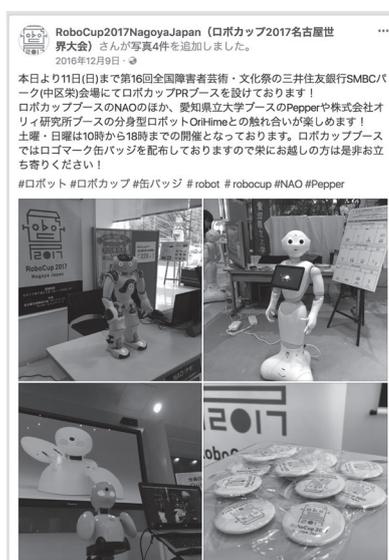
■ 延べアクセス数

区分	件数	備考
延べアクセス数 (ページビュー)	785,190件	<ul style="list-style-type: none"> ・集計期間 2016.11.1～2017.7.31 ・世界144の国・地域からアクセス (アクセス上位の国・地域) ①日本 66% ②ドイツ 3.9% ③アメリカ 3.6% ④イラン 2.6% ⑤メキシコ 1.9%



10-5-2 公式Facebookページ

公式Facebookページを作成し、ホームページの更新情報や、各種イベント案内、広報動画のほか、大会期間中の会場の様子等の最新情報を掲載することで、大会情報の更なる周知を行った。



■ 延べアクセス数

区分	件数	備考
延べアクセス数 (リーチ数)	308,430件	<ul style="list-style-type: none"> ・集計期間 2016.11.1～2017.7.31 ・世界45の国・地域からアクセス (アクセス上位の国・地域) ①日本 60% ②メキシコ 4.4% ③ポルトガル 2.9% ④エジプト 2.6% ⑤アルゼンチン 2.5%
「いいね!」数	1,200件	

10-5-3 動画、映像配信

1. 動画

ロボカップや大会の紹介を行う広報動画を作成し、YouTubeにて公開するとともに、公式ホームページ上においてもリンクを掲載し、大会情報の周知を図った。

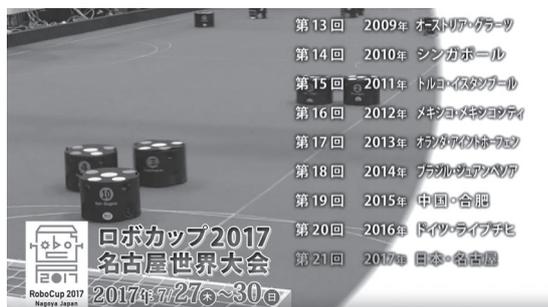
◎競技紹介動画(日本語 3分4秒) 【公開 2016年5月】

ロボカップの各競技の内容を紹介することを目的に、ロボカップジャパンオープンの映像を中心に使用した各競技の紹介動画を制作した。



◎大会広報動画①(日本語 3分18秒) 【公開 2016年8月】

ロボカップの歴史や意義、参加者の熱意を一般の方に伝えることを目的に、ロボカップ2016ドイツ大会の映像を中心に使用し、ロボカップ創設者の一人である、大阪大学の浅田稔教授のインタビューや、愛知県立大学学生のコメントを盛り込んだ大会広報動画を制作した。協賛企業が確定した後は、動画の末尾に協賛企業のロゴの一覧も追加した。



◎大会広報動画②(日本語、英語 2分39秒)【公開 2017年4月】

世界に向けて大会の魅力を発信し、関心を高めて誘客を図ることを目的に、千葉工業大学の撮影協力によるヒューマノイドロボットの映像のほか、名古屋グランパス及び名古屋オーシャンズの選手、おもてなし武将隊の出演協力により作成した広報動画を制作した。映像の背景には名古屋城などの名古屋の名所を盛り込み、名古屋の都市魅力をPRした。

なお、1分バージョン及び30秒バージョンを作成するとともに、協賛企業が確定した後は、動画の末尾に協賛企業のロゴの一覧も追加した。



2. 映像配信

大会期間中には、YouTube及びニコニコ生放送による競技映像の配信を行い、延べ169,081人が映像を視聴した。

区分	延べ視聴者数	概要
YouTube	27,133人 27日:6,870人 28日:8,394人 29日:6,274人 30日:5,595人 (視聴者国別割合) ①日本:34% ②ドイツ:15% ③アルゼンチン:8.8% ④オランダ:6.6% ⑤アメリカ:4.7% 以上5カ国を始め26の国・地域からの視聴	○配信内容 ロボカップサッカー(ヒューマノイドリーグ、スタンダードプラットフォームリーグ、中型ロボットリーグ、小型ロボットリーグ) ロボカップ@ホーム ※ローテーション中継 ○配信時間 27日~29日/9:00~18:00 30日/9:00~16:00 ○競技解説 各競技フィールドにて行われる解説音声映像とともに配信
ニコニコ生放送	141,948人 27日:33,923人 28日:29,331人 29日:42,187人 30日:36,507人 視聴者国別割合の統計データは無し。 ただし、海外からの視聴は1割程度。 (株式会社ドワンゴからの情報提供)	○配信内容:同上(映像はYouTube配信映像と同じ) ○配信時間:同上 ○競技解説:同上 ○その他:会場内に簡易なスタジオを設置し、裏実況を実施 出演:中山功太(よしもとクリエイティブ・エージェンシー) 渡辺伸之(よしもとクリエイティブ・エージェンシー) ゲスト:大橋 健(ロボカップ日本委員会会長) 岡田浩之(ロボカップ日本委員会専務理事)

10-6 広報活動実績

10-6-1 イベント

1. ロゴマーク発表イベント

ロボカップジャパンオープン2016愛知において公式ロゴマークの発表を行った。

日 時 | 2016年3月25日(金) 9:00 メジャー開会式
2016年3月26日(土) 9:00 ジュニア開会式

場 所 | 愛知工業大学八草キャンパス

参 加 者 | 25日(金)200人、26日(土)300人

内 容 | 開会式でのロゴマーク発表



2. 周知イベント

日 時 | 2016年3月27日(日) 13:00~16:00

場 所 | イオンモール大高 1階ブルーコート

来 場 者 | 700人

内 容 | ロボットによるパフォーマンス、ロボカップの紹介パネルの展示



3. 周知イベント(半年前イベントプレスツアー)

日 時 | 2017年1月8日(日) 13:00~15:30

場 所 | 愛知県立大学次世代ロボット研究所

来 場 者 | 50人(近隣の小学生及び報道関係者)

内 容 | サッカー小型リーグ及びサッカー標準プラットフォームリーグのデモンストレーション
近隣の小学生を対象としたロボット製作教室



4. ロボカップ2017名古屋世界大会半年前イベント“Touch the Robot”

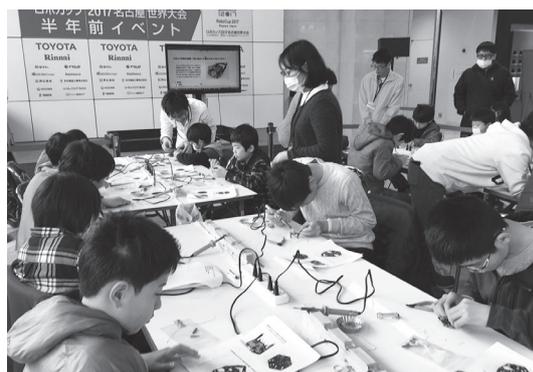
日 時 | 2017年1月28日(土)、29日(日) 10:00~20:00 ※1月25日~27日、30日は展示のみ

場 所 | 松坂屋名古屋店南館 1階オルガン広場

来 場 者 | 4,000人

内 容 | NAO、PepperによるロボカップPR、からくり人形の展示・実演
NAOによるPKデモ(愛知県立大学)、各種ロボットの展示・実演
各種ワークショップ

- ・ロボット工作、ロボットプログラミング体験
- ・千葉工業大学未来ロボット技術研究センター所長古田貴之氏トークショー



5. プレイイベント“Touch the Robot”

日 時 | 2017年4月29日(土)、30日(日) 10:00~17:00

場 所 | イオンモールナゴヤドーム前 1階ウエストコート

来 場 者 | 4,000人

内 容 | NAOによるロボカップPR、ロボットステージ、ロボット操縦体験(サッカー、ロボットバトル)
HSRのデモ及び操縦体験



6. 有松絞りまつり連携イベント

日 時 | 2017年6月3日(土)、4日(日) 9:00~17:00

場 所 | 有松絞会館等

来 場 者 | 4,000人

内 容 | PepperによるステージイベントでのロボカップPR及び来場者とのふれあいコーナー
ロボカップPR動画の上映



7. 名古屋グランパス連携イベント

- 日 時 | 2017年6月25日(日) 15:30～
- 場 所 | パロマ瑞穂スタジアム(V・ファーレン長崎戦)
- 来 場 者 | 800人
- 内 容 | ロボカップPRブース出展、チラシの配布等
スタジアム大型ビジョンでのPR動画の上映
愛知県立大学学生による告知コーナーでのPR



8. ロボカップVR動画公開イベント

- 日 時 | 2017年7月1日(土) 11:00～12:00
- 場 所 | ドコモスマートフォンラウンジ名古屋(サカエチカ クリスタル広場前)
- 来 場 者 | 791人
- 内 容 | サッカー及びレスキューの競技デモの様子を撮影したVR動画を公開
名古屋おもてなし武将隊徳川家康によるVR動画の視聴、紙製VRゴーグルの配布
※VR動画は、7月30日までドコモスマートフォンラウンジで公開するとともに、
大会公式ホームページ内でも公開



10-6-2 ブース出展

下記の各種展示会・イベント等においてブース出展し、大会の周知を行った。

	開催日	イベント名	区分	会場	来場者数
2016 年度	6月2日～4日	ウェルフェア2016	展示会	名古屋市国際展示場	680人
	6月6日～9日	第30回人工知能学会全国大会	学会	北九州国際会議場	362人
	8月6日	なごやサイエンスひろば	イベント	なごやサイエンスパーク	262人
	8月11日～12日	ナイトZOO & GARDEN	イベント	東山動植物園	438人
	9月7日～9日	ロボット学会学術講演会	学会	山形大学	332人
	9月17日	環境デーなごや	イベント	久屋大通公園	445人
	9月17日	尾張名古屋の職人展	イベント	オアシス21	100人
	10月15日～16日	名古屋まつり	イベント	オアシス21	1,145人
	10月19日～21日	ジャパンロボットウィーク2016	展示会	東京ビッグサイト	465人
	10月26日～29日	メッセナゴヤ	展示会	名古屋市国際展示場	500人
	11月4日～6日	サイエンスアゴラ	イベント	日本科学未来館	300人
	11月16日	ロボットシンポジウム	イベント	名古屋市中小企業振興会館	256人
	11月16日～18日	TECH Biz EXPO 2016	展示会	吹上ホール	673人
	12月3日、4日	デジタルコンテンツ博覧会	展示会	デザインホール	237人
	12月9日～11日	全国障害者・文化祭あいち大会	展示会	SMBCパーク栄	158人
	12月10日	ロボカップジュニア東海ブロック大会	イベント	愛知工業大学名電高等学校淳和記念館	200人
	1月22日	第1回キッズワークショップ	イベント	名古屋市国際展示場	125人
	2月8日～10日	ロボットワールドEXPO	展示会	東京ビッグサイト	500人
	2月18日	ロボット交流会	イベント	愛知工業大学名電高等学校淳和記念館	500人
	3月11日、12日	名古屋ウィメンズマラソン	イベント	ナゴヤドーム	418人
3月15日	フットサルワールドカップ2020誘致イベント	イベント	名古屋駅 ナナちゃん人形前	357人	
3月25日、26日	ロボカップジュニア・ジャパンオープン	イベント	中津川市	900人	
計					9,353人

2017 年度	5月3日～7日	ロボカップジャパンオープン	イベント	名城大、愛知工業大、 愛知県立大、金沢工業大	700人
	5月18日～20日	ウェルフェア2017	イベント	名古屋市国際展示場	1,474人
	5月23日～26日	第31回人工知能学会全国大会	学会	ウインクあいち	622人
計					2,796人

10-6-3 その他の広報

区分	内容	時期
名札・名刺台紙	大会ロゴマークと開催期間を表示した名札・名刺台紙をイントラ等で周知し、職員が使用	2016年4月～
ピンバッジの制作	大会ロゴマークをデザインしたピンバッジを制作し、市幹部職員その他、ロボカップ関係者に配布	2017年1月～
市長定例記者会見用バックボード	大会ロゴマークと開催期間を表示したバックボードを制作し、市長定例記者会見で使用	2017年4月、7月
スタンドバナー	大会ロゴマークをデザインしたバナーを作成し、イベント等において使用	2017年3月～
本庁舎地下PRコーナー	本庁舎地下PRコーナーにおいて大会PR	2016年12月～2017年1月 2017年7月



▲名刺デザイン



▲ピンバッジ



▲市長定例会見用バックボードデザイン



▲本庁舎地下PRコーナー

10-7 大会中の報道対応

10-7-1 プレスツアー

大会一般公開直前には、報道機関向けに会場内を案内するプレスツアーを実施した。ツアーは、大橋健日本委員会会長の案内により実施し、各リーグではそれぞれの競技専門部会員等が説明を行った。

日 時 | 2017年7月26日(水) 11:00~12:00

■ 内容

区分	内容
冒頭説明	事務局職員
@ホームリーグ説明	岡田 浩之(日本委員会専務理事・玉川大学)
インダストリアル・ロジスティクスリーグ説明	植村 渉(龍谷大学)
サッカーヒューマノイドリーグ説明	南方 英明(千葉工業大学)
アマゾン・ロボティクス・チャレンジ説明	アマゾンロボティクス担当者
ロボットパーク説明	事務局職員
ジュニアサッカー、オンステージ説明	高橋 友一(ロボカップジュニア・ジャパン代表理事・名城大学)
レスキューロボットリーグ説明	奥川 雅之(愛知工業大学)
プレスルーム紹介	事務局職員
囲み取材(インタビュー)	大橋 健(日本委員会会長/開催委員会副会長・九州工業大学)

■ 配布資料

会場内マップ、競技スケジュール、参加チーム・参加者数、出場チーム一覧の資料をクリアファイルに入れて配布。



10-7-2 プレスルーム

大会期間中には、会場内にプレスルームを設置し、報道機関向けにインターネット接続やコピー等が可能な環境を提供した。

設置場所	武田テバオーシャンアリーナ 関係者控室
仕様	<ul style="list-style-type: none"> ・机、椅子 ・インターネット ・複合機(コピー、印刷)

10-7-3 大会期間中の取材実績

■ 日別件数

	7/25	7/26	7/27	7/28	7/29	7/30	7/31	計
国内	4	29	50	32	33	29	1	178
海外	1	2	8	8	6	4	0	29
合計	5	31	58	40	39	33	1	207

■ 取材のあった主なメディア

テレビ	NHK(総合)、NHK(教育)、東海テレビ、中京テレビ、CBC、名古屋テレビ、テレビ愛知 ほか
新聞	中日新聞、朝日新聞、読売新聞、毎日新聞、日本経済新聞、日刊工業新聞 ほか
雑誌等	ロボコンマガジン、日経Robotics、日経ビジネス ほか
Web	bouncy、Gigazine、ロボスタ ほか
海外	中国中央テレビ、タイ国営テレビ、スイス国営放送、アルジャジーラTV ほか

10-7-4 各メディア報道実績

区分	2015年度	2016年度	2017年度	合計
新聞	22	42	85	149
テレビ	1	14	26	41
ラジオ	0	4	10	14
雑誌等	2	4	22	28
Web	0	14	299	313

※事務局において確認できたものを集計

10-8 公式ロゴマーク・キャラクター

10-8-1 ロゴマーク

日本国内で活躍するプロのデザイナーを対象に、下記の方法で募集を行い公式ロゴマークを決定した。決定したロゴマークは、ロボカップジャパンオープン2016愛知(愛知工業大学)の開会式において発表を行い、以後各種広報物等において使用した。決定にあたっては国際委員会に事前に承認を得た。

1. 募集方法

- ◎ロボカップ日本委員会及び国際デザインセンターのWebサイトでの案内
- ◎デザイン団体への周知依頼及びコンテスト情報サイトでの案内

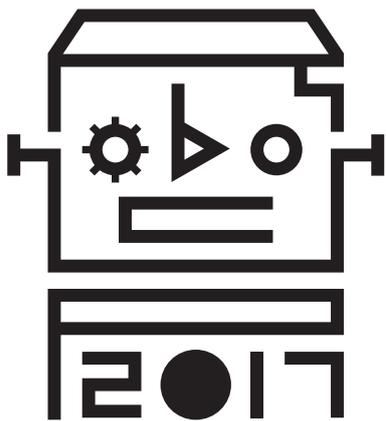
2. 応募総数 106点

3. 審査方法

- ①審査員ごとに3点を選出し、13点に絞り込み
- ②審査員による審議により3点に絞り込み
- ③審査員による投票により、最多得票のデザインを選定

4. 結果

①ロゴマーク



RoboCup 2017
Nagoya Japan

②コンセプト

「RoboCup 2017」の文字を使用しロボットを形作ること、ひと目で本大会を印象づけるロゴとした。金色を基調とした色づかいには、開催地である名古屋を象徴する金鯨のイメージと、燦然と輝く英知の結集である本大会の成功と繁栄の願いを込めている。

③作者

[安藤真理]

名古屋市在住、グラフィックデザイナー。地元デザイン専門学校を卒業後、デザイン事務所勤務。主に広告関係の企画立案、グラフィック制作で活躍している。

[受賞歴]

日本タイポグラフィ年間2016グランプリ、東京コピーライターズクラブ2015TCC審査委員長賞、AICHI AD AWAEDS 2015 GRAPHIC GOLD・特別賞(NEW CREATER)など

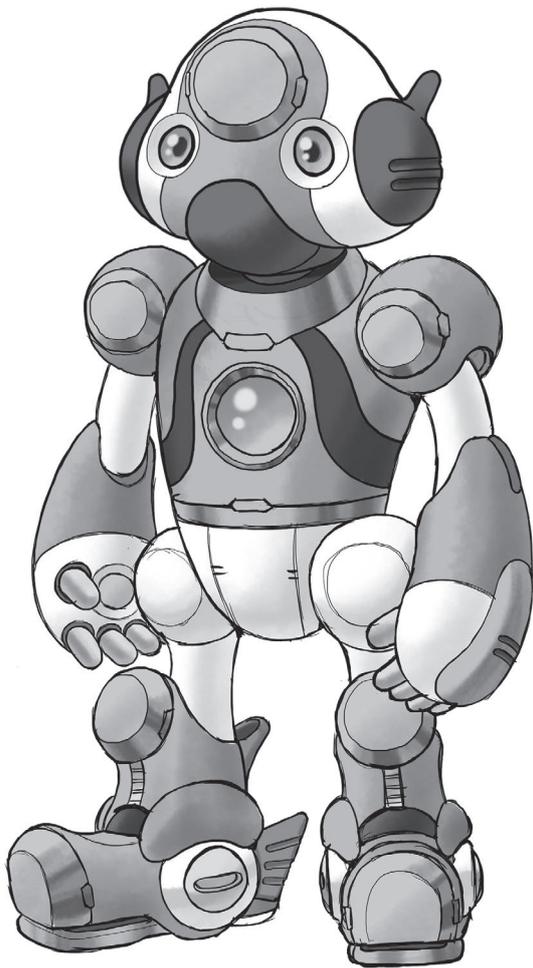
5. 経緯及びスケジュール

2016年1月29日(金)～2月18日(木)	募集期間(応募受付2月8日～2月18日)
2月22日(月)	審査会(採用作品内定)
2月～3月	弁理士による商標類似調査
3月25日(金)～27日(日)	ロボカップジャパンオープン2016愛知(愛知工業大学) ・開会式にてロゴマークの発表

10-8-2 キャラクター(キービジュアルロボット)

広告代理店に委託し、ロボットデザインに習熟したデザイナー(園山隆輔氏)による公式キャラクター(キービジュアルロボット)を作成した。作成したキャラクターはチラシやポスターをはじめとした広報物等で使用した。作成にあたってはロゴマークと同様に国際委員会の承認を得た。

①キャラクターデザイン



②コンセプト

本デザインは三つのテーマ「REALITY」「FRIENDLY」「NAGOYA」をグランドコンセプトとした。

【REALITY】

学術研究・開発の延長線上にあるRoboCupのイメージキャラクターとして、実際に「あり得そう」「ちゃんと動きそう」な構成、形状を考えている。

【FRIENDLY】

ロボカップの活動や理念をより幅広い層に認知・支持してもらうために、親しみやすい柔らかなフォルムと、キュートな表情を採用した。イメージビジュアルだけでなく、パンフレットや会場案内のアイコンに使用するデフォルメ版も考慮したデザインである。

【NAGOYA】

開催地であるナゴヤのイメージを、上記二つのコンセプトと相反しない範囲で、モチーフとして採用している。胸部は名古屋市の市章「」のイメージで、脚は名古屋城の「シャチホコ」のイメージで、さり気なく名古屋開催をアピールしている。

③作者

[園山隆輔]

人間型ロボット研究開発用プラットフォーム「HRP-4」(国立研究開発法人 産業技術総合研究所、川田工業株式会社)や、双腕型作業支援ロボット「NEXTAGE」(川田工業株式会社)等のデザインを行っているほか、日本ロボット学会学会誌の表紙イラストも手掛けている。

11-1 ロボカップ2017名古屋世界大会開催へのあゆみ

時期		内容	
2014年度 (H26年度)	2014年(H26年) 6月18日(水)	ロボカップ日本委員会の臨時理事会において、名古屋を開催候補地としてロボカップ2017世界大会を日本へ誘致することを決定	誘致
	7月7日(月)	河村市長が定例記者会見で名古屋への誘致を表明	
	7月25日(金)	ロボカップ2014世界大会(ブラジル)にて、ロボカップ2017世界大会の名古屋での開催意向を表明	
2015年度 (H27年度)	2015年(H27年) 2月13日(金)	2017世界大会開催都市として正式立候補(暫定版の提案書を提出)	開催決定
	7月10日(金)	ロボカップ名古屋大会招致委員会開催	
	7月19日(日)	ロボカップ2015世界大会(中国) ロボカップ国際委員会理事会において立候補都市プレゼンテーション ロボカップ2017世界大会の開催都市が名古屋に決定	
	12月15日(火)	ロボカップ2017名古屋大会開催委員会設立	開催準備
	2016年(H28年) 3月25日(金)	ロボカップジャパンオープン(愛知工業大学)開会式にて大会ロゴマーク発表	
	3月27日(日)	大会周知イベント開催(イオンモール大高)	
2016年度 (H28年度)	6月28日(火) ～7月4日(月)	ロボカップ2016世界大会(ドイツ) ロボカップ国際委員会理事会において大会準備状況を説明	
	2017年(H29年) 1月28日(土) 29日(日)	半年前イベント「Touch the Robot」開催(松坂屋南館オルガン広場)	
2017年度 (H29年度)	4月29日(土) 30日(日)	プレイイベント「Touch the Robot」開催(イオンモールナゴヤドーム前)	大会開催
	6月13日(火)	記者会見開催(名鉄ニューグランドホテル) 大会概要の説明及びロボットデモンストレーションを実施	
	7月15日(土)	ロボカップ2017名古屋世界大会開催記念フォーラム 「ロボットが変える未来の暮らし～新時代の幕開け～」開催(中区役所ホール)	
	7月25日(火) ～31日(月)	ロボカップ2017名古屋世界大会開催 (名古屋市国際展示場、武田テパオーシャンアリーナ) 25日・26日 セットアップ 27日～30日 競技(一般公開) 31日 シンポジウム(愛知大学名古屋キャンパス・グローバルコンベンションホール) 併催事業開催 「世界青少年発明工夫展2017」 27日～29日 「愛知の発明の日」記念講演会 28日 「アマゾン・ロボティクス・チャレンジ」27日～30日	

11-2 開催委員会等の開催状況

	時期	会議名	議題等
2015年度 (H27年度)	2015年(H27年) 11月11日(水)	開催委員会 準備会	●開催委員会設立 ●平成27年度事業計画及び収支予算案
	12月15日(火)	設立総会	●開催委員会の設立 ●規約案
		開催委員会(第1回)	●平成27年度事業計画及び収支予算案
	2016年(H28年) 2月8日(月)	運営部会(第1回)	●平成28年度事業計画及び収支予算案 ●事業報告及び今後のスケジュール ●ユニバーサル未来社会推進協議会
3月23日(水)	開催委員会(第2回)	●規約の一部改正 ●平成28年度事業計画及び収支予算案 ●事業報告及び今後のスケジュール ●ユニバーサル未来社会推進協議会	
2016年度 (H28年度)	5月26日(木)	運営部会(第2回)	●規約の一部改正 ●平成27年度事業報告及び収支決算案 ●競技専門部会 ●今後のスケジュール
	5月31日(火)	開催委員会(第3回) 書面表決	●規約の一部改正 ●平成27年度事業報告及び収支決算案
	7月19日(火)	開催委員会(第4回)書面表決	●大会日程の変更
	8月24日(水)	運営部会(第3回)	●規約の一部改正 ●ドイツ大会の視察結果 ●会場計画案 ●協賛金 ●広報・PR活動の状況 ●今後のスケジュール
	9月15日(木)	開催委員会(第5回) 書面表決	●規約の一部改正 ●ドイツ大会の視察結果 ●会場計画案 ●協賛金 ●広報・PR活動の状況 ●今後のスケジュール
	10月17日(月)	運営部会(第4回)書面表決	●展示会の出展企業募集について
	11月7日(月)	運営部会(第5回)	●大会概要について ●ロボカップ国際委員会との契約について ●展示会の開催について ●運営計画の検討状況について ●国際フォーラムの検討状況について ●広報・PR活動報告及び計画について ●今後のスケジュールについて
	2017年(H29年) 2月8日(水)	運営部会(第6回)	●平成29年度事業計画及び収支予算案 ●開催計画案について ●広報・PR活動報告 ●現在の協賛状況 ●大会における主催者の役割 ●今後のスケジュール
	3月29日(水)	開催委員会(第6回)	●平成29年度事業計画及び収支予算案 ●開催計画案について ●広報・PR活動報告 ●今後のスケジュール
2017年度 (H29年度)	5月2日(火)	競技専門部会(第1回)	●競技会場のレイアウト及び無線通信 ●各リーグ備品の準備 ●試合情報の収集及び賞状等の作成 ●各リーグ担当者の設定 ●会場見学ツアーにおける対応(競技デモ)
	6月1日(木)	運営部会(第7回)	●平成28年度事業報告及び収支決算案 ●開催計画について ●広報・PR活動報告 ●記者会見について
	6月13日(火)	開催委員会(第7回)	●平成28年度事業報告及び収支決算案 ●開催計画について ●記者会見について
	7月24日(月)	競技専門部会(第2回)	●大会運営について
	9月5日(火)	運営部会(第8回)	●大会報告
	12月20日(水)	運営部会(第9回)	●平成29年度事業報告及び収支決算案 ●開催委員会の解散について
	2018年(H30年) 1月31日(水)	開催委員会(第8回)	●平成29年度事業報告及び収支決算案 ●開催委員会の解散について

11-3 国際委員会・開催委員会名簿

■ ロボカップ国際委員会

President	Itsuki Noda	National Institute of Advanced Industrial Science and Technology, Japan
Founding Trustees	Minoru Asada	Osaka University, Japan
	Hiroaki Kitano	Systems Biology Institute, Tokyo, Japan
	Manuela M. Veloso	Carnegie Mellon University, Pittsburgh, USA
President Elected	Daniel Polani	University of Hertfordshire, Hatfield, UK
Vice Presidents	Amy Eguchi	Bloomfield College, USA
	Peter Stone	University of Texas, Austin, USA
	Oskar von Stryk	Technische Universität Darmstadt, Germany
	Changjiu Zhou	Singapore Polytechnic, Singapore
Board of Trustees	H. Levent Akin	Bogaziçi University, Istanbul, Turkey
	Sven Behnke	Rheinische Friedrich-Wilhelms-Universität Bonn, Germany
	XiaoPing Chen	University of Science and Technology of China, China
	Luca locchi	Sapienza University of Rome, Italy
	Gerhard Kraetzschmar	Bonn-Rhein-Sieg University of Applied Sciences, Sankt Augustin, Germany
	Daniel D. Lee	University of Pennsylvania, USA
	Pedro U. Lima	Instituto Superior Técnico, Universidade de Lisboa, Portugal
	Daniele Nardi	Sapienza University of Rome, Italy
	Oliver Obst	Centre for Research in Mathematics, Western Sydney University, Australia
	A. Fernando Ribeiro	Universidade do Minho, Portugal
	Claude Sammut	University of New South Wales, Sydney, Australia
	Komei Sugiura	National Institute of Information and Communications Technology (NICT), Japan
	Jackrit Suthakorn	Mahidol University, Thailand
	Tijn van der Zant	University of Groningen, The Netherlands
Treasurers	Minoru Asada	Osaka University, Japan
	Tucker Balch	Georgia Institute of Technology, Atlanta, USA

■ ロボカップ2017名古屋大会開催委員会名簿

役名	所属	氏名	任期
会 長	名古屋市長	河村 たかし	2015.12.15～
副会長	特定非営利活動法人ロボカップ日本委員会会長	大橋 健	2015.12.15～
	愛知県副知事(産業労働部所管)	森岡 仙太	2015.12.15～
	名古屋市副市長(市民経済局所管)	新開 輝夫	2015.12.15～2017.5.31
		堀場 和夫	2017.6.1～
	名古屋商工会議所専務理事	細谷 孝利 小川 秀樹	2015.12.15～2016.10.31 2016.11.1～
一般社団法人中部経済連合会専務理事	伊藤 範久 小川 正樹	2015.12.15～2016.6.8 2016.6.9～	
委 員	特定非営利活動法人ロボカップ日本委員会専務理事	岡田 浩之	2015.12.15～
	一般社団法人ロボカップジュニア・ジャパン代表理事	高橋 友一	2015.12.15～
	ロボカップ国際委員会理事	杉浦 孔明	2016.9.15～
	中部経済産業局地域経済部長	高木 博康	2015.12.15～2016.6.30
		岩松 潤	2016.7.1～
	中部運輸局観光部長	北原 政宏	2015.12.15～2016.3.22
	中部運輸局観光政策監	上田 大輔	2016.3.23～2016.6.26
	中部運輸局観光部長	澤田 孝秋	2016.6.27～
	愛知県産業労働部長	小山 和久	2015.12.15～2016.7.5
		吉澤 隆	2016.7.6～
	名古屋市市民経済局長	宮村 喜明	2015.12.15～2016.3.31
		中田 英雄	2016.4.1～
	名古屋市観光文化交流局長	渡邊 正則	2016.4.1～
	名古屋市教育委員会教育長	下田 一幸	2015.12.15～2016.3.31
		杉崎 正美	2016.4.1～
	公益財団法人名古屋観光コンベンションビューロー理事長	長谷川 二三夫	2015.12.15～2016.5.24
		堀崎 亘	2016.5.25～
公益財団法人名古屋産業振興公社理事長	安井 孝治	2015.12.15～2016.6.12	
	壺谷 幸也	2016.6.13～	
公益財団法人中部科学技術センター専務理事	神崎 修三	2015.12.15～	
公益財団法人人工知能研究振興財団理事長	内藤 弘康	2015.12.15～	
名古屋少年少女発明クラブ会長	安井 義博	2015.12.15～	
監 事	中部経済同友会常務理事	岡部 年彦	2015.12.15～
	公益財団法人科学技術交流財団専務理事	岩田 勇二	2015.12.15～

■ ロボカップ2017名古屋大会開催委員会 アドバイザー名簿

所属	氏名	任期
大阪大学大学院工学研究科教授	浅田 稔	2016.9.1～
株式会社ソニーコンピュータサイエンス研究所代表取締役社長	北野 宏明	2016.9.1～
東北大学大学院情報科学研究科教授	田所 諭	2016.9.1～
公立ほこだて未来大学システム情報科学部教授	松原 仁	2016.9.1～

■ ロボカップ2017名古屋大会開催委員会 運営部会名簿

役名	所属	氏名	任期
部会長	名古屋市市民経済局産業部長	菊池 文泰	2015.12.15～2016.3.31
		下山 浩司	2016.4.1～
副部会長	特定非営利活動法人ロボカップ日本委員会専務理事	岡田 浩之	2015.12.15～
	一般社団法人ロボカップジュニア・ジャパン代表理事	高橋 友一	2015.12.15～
部会員	中部経済産業局地域経済部次世代産業課長	林 正実	2015.12.15～2016.3.31
		中島 真一郎	2016.4.1～
	中部運輸局観光部国際観光課長	村上 雅則	2015.12.15～2016.3.31
		中川 昌彦	2016.4.1～
	愛知県産業労働部産業振興課次世代産業室長	岡田 守人	2015.12.15～2016.3.31
		佐々木 靖志	2016.4.1～
	名古屋市市民経済局参事(産業技術支援)	浅尾 文博	2015.12.15～2016.3.31
		青木 猛	2016.4.1～
	名古屋市市民経済局産業部次世代産業振興課長	佐治 独歩	2015.12.15～2016.3.31
		筒井 利和	2016.4.1～
	名古屋市市民経済局産業部主幹(ロボカップ世界大会)	伊藤 俊介	2016.4.1～
	名古屋市観光文化交流局 ナゴヤ魅力向上担当部ナゴヤ魅力向上室長	田頭 泰樹	2016.4.1～
	名古屋市市民経済局文化観光部主幹 (観光施設に係る企画調整等)	大島 吉清	2015.12.15～2016.3.31
		上田 剛	2016.4.1～2017.3.31
	名古屋市観光文化交流局観光交流部観光推進室長	大野 壽久	2017.4.1～
	名古屋市教育委員会事務局企画経理課長	佐野 洋一	2015.12.15～2016.3.31
		大坪 真人	2016.4.1～
	名古屋市科学館学芸課長	長谷川 亮一	2015.12.15～2016.3.31
		山本 和良	2016.4.1～
	名古屋商工会議所 産業振興部モノづくり・新産業グループ長	佐藤 航太	2015.12.15～
一般社団法人中部経済連合会産業振興部長	祖山 薫	2015.12.15～	
公益財団法人名古屋観光コンベンションビューローコンベンション部長	北折 真人	2015.12.15～	
公益財団法人名古屋観光コンベンションビューローMICE部長			
公益財団法人名古屋産業振興公社総務部長	大谷 達哉	2015.12.15～2017.3.31	
	後藤 浩一	2017.4.1～	
公益財団法人人工知能研究振興財団専務理事	浮田 憲一	2015.12.15～	
一般社団法人ロボカップジュニア・ジャパン事務局長	前田 正久	2015.12.15～	

■ ロボカップ2017名古屋大会開催委員会 競技専門部会名簿

役名	所属	氏名	任期
部会長	特定非営利活動法人ロボカップ日本委員会会長	大橋 健	2016.9.1～
副部会長	特定非営利活動法人ロボカップ日本委員会専務理事	岡田 浩之	2016.9.1～
	一般社団法人ロボカップジュニア・ジャパン代表理事	高橋 友一	2016.9.1～
	ロボカップ国際委員会理事	杉浦 孔明	2016.9.1～

Major Leagues

Soccer Humanoid	千葉工業大学先進工学部未来ロボティクス学科教授	南方 英明	2016.9.1～
Soccer Standard Platform	愛知県立大学情報科学部情報科学科教授	小林 邦和	2016.9.1～
	大阪教育大学教員養成課程技術教育講座准教授	光永 法明	2016.9.1～
	福井大学大学院工学研究科知能システム工学専攻准教授	高橋 泰岳	2016.9.1～
Soccer Small-Size	豊田工業高等専門学校電気・電子システム工学科教授	杉浦 藤虎	2016.9.1～
	愛知県立大学情報科学部情報科学科講師	伊藤 正英	2016.9.1～
Soccer Middle-Size	西日本工業大学工学部総合システム工学科准教授	武村 泰範	2016.9.1～
Soccer Simulation 2D	福岡大学工学部電子情報工学科助教	秋山 英久	2016.9.1～
Soccer Simulation 3D	大阪府立大学現代システム科学域知識情報システム学類教授	中島 智晴	2016.9.1～
Rescue Robots	愛知工業大学工学部機械学科教授	奥川 雅之	2016.9.1～
	特定非営利活動法人 国際レスキューシステム研究機構	西原 京子	2017.6.1～
	長岡技術科学大学システム安全専攻 木村研究室産学官連携研究員	五十嵐 広希	2017.6.1～
Rescue Simulation	愛知工業大学情報科学部情報学科教授	伊藤 暢浩	2016.9.1～
@Home	情報通信研究機構主任研究員	杉浦 孔明	2016.9.1～
	東京都市大学工学部機械システム工学科講師	永野 秀明	2016.9.1～
Industrial RoboCupLogistics RoboCup@Work	龍谷大学理工学部電子情報学科講師	植村 渉	2016.9.1～
	フエスト株式会社	林 恒	2016.9.1～

Junior Leagues

Chair	埼玉大学教育学部准教授	野村 泰朗	2016.9.1～
Co-chair Rescue-CoSpace	愛知工業大学情報科学部情報科学科教授	水野 勝教	2016.9.1～
Soccer	富士通株式会社	千葉 真司	2016.9.1～
	株式会社マツダE&T	山野 真一	2016.9.1～
Rescue	株式会社日本政策金融公庫	竹間 直美	2016.9.1～
	マツダ株式会社	森重 智年	2016.9.1～
Onstage	尾北看護専門学校	丹羽 尚子	2016.9.1～
	埼玉大学STEM教育研究センター	小山 航太	2016.9.1～
Rescue-CoSpace	千葉工業大学工学研究科	竹間 美夏	2016.9.1～

開催委員会事務局

名古屋市市民経済局産業部主幹(ロボカップ世界大会)	伊藤 俊介	2016.9.1～
---------------------------	-------	-----------

11-4 事務局体制

- 2015年(平成27年)7月の大会誘致決定後は、名古屋市市民経済局産業部次世代産業振興課において開催準備事務を行っていたが、同年12月15日の開催委員会設立以降は、同課を開催委員会の事務局として定め、開催準備事務を行った。
- 2016年(平成28年)4月には、名古屋市市民経済局産業部に主幹(ロボカップ世界大会)1名、主査(ロボカップ世界大会)2名を設置したほか、(公財)名古屋産業振興公社からの職員出向等により事務局体制の強化を行った。その後は、同課内で当該業務への従事人員を順次増やすことにより、開催準備、大会運営業務に対応した。
- 2017年(平成29年)7月の世界大会開催期間には、事務局機能を名古屋市国際展示場内に移し、現場での必要業務に対応した。

■ 事務局体制の推移

2015年度 (平成27年度)	事務局長 名古屋市市民経済局産業部次世代産業振興課長	総務・調整グループ 2名 (市職員 兼任2名)
2016年度 (平成28年度)	事務局長 名古屋市市民経済局産業部主幹 (ロボカップ世界大会)	総務グループ 2名 (市職員 専任2名)
大会運営グループ 3名 (市職員 専任1名、兼任1名(2016年11月～)) 人材派遣1名		
広報・関連事業グループ 4名 (市職員 兼任2名(2016年11月～、2017年2月～)) 出向職員 2名		
交流事業グループ 2名 (市職員 兼任2名(2017年3月～))		
2017年度 (平成29年度)	事務局長 名古屋市市民経済局産業部主幹 (ロボカップ世界大会)	総務グループ 2名 (市職員 専任2名)
大会運営グループ 3名 (市職員 専任1名、兼任1名(2017年8月まで)) 人材派遣1名(2017年8月まで)		
広報・関連事業グループ 4名 (市職員 兼任2名(2017年8月まで)) 出向職員 2名(2017年8月まで)		
交流事業グループ 2名 (市職員 兼任2名(2017年8月まで))		

11-5 収支決算

■ 2015年度(平成27年度)収支決算(単位:円)

収入	項目	予算額(A)	決算額(B)	(A)-(B)	説明
	負担金収入	5,000,000	4,994,079	5,921	名古屋市
	合計	5,000,000	4,994,079	5,921	
支出	項目	予算額(A)	決算額(B)	(A)-(B)	説明
	運営費	912,000	911,097	903	開催委員会の開催、開催概要計画の策定
	広報費	4,000,000	3,999,945	55	
	広報宣伝費	2,000,000	2,062,389	△62,389	大会ロゴマーク作成、ウェブサイトの作成
	普及事業費	2,000,000	1,937,556	62,444	ロゴマーク発表及び大会周知イベント
	事務費	88,000	83,037	4,963	事務局の運営
合計	5,000,000	4,994,079	5,921		

■ 2016年度(平成28年度)収支決算(単位:円)

収入				
項目	予算額(A)	決算額(B)	(A)-(B)	説明
負担金収入	47,000,000	48,901,905	△1,901,905	名古屋市 46,901,905 名古屋商工会議所 1,000,000 中部経済連合会 1,000,000
協賛金収入	10,000,000	53,300,000	△43,300,000	企業等協賛金
諸収入	1,000,000	540,000	460,000	展示会小間料
合計	58,000,000	102,741,905	△44,741,905	
支出				
項目	予算額(A)	決算額(B)	(A)-(B)	説明
運営費	9,770,000	9,723,151	46,849	開催委員会の開催、会場計画の策定、ボランティアの募集、展示会の準備等
広報費	18,980,000	20,221,565	△1,241,565	
広報宣伝費	12,740,000	15,035,475	△2,295,475	広告、ポスター等の作成、ウェブサイトによる情報発信等
普及事業費	6,240,000	5,186,090	1,053,910	周知イベント、展示会出展等
事務費	18,250,000	16,957,189	1,292,811	事務局の運営
小計	47,000,000	46,901,905	98,095	
予備費	1,000,000	0	1,000,000	
次期繰越額	10,000,000	55,840,000	△45,840,000	経済団体負担金、企業等協賛金、展示会小間料
合計	58,000,000	102,741,905	△44,741,905	

■ 2017年度(平成29年度)収支決算見込(単位:円)

収入				
項目	予算額(A)	決算額(B)	(A)-(B)	説明
開催受託料収入	49,390,000	45,936,000	3,454,000	ロボカップ国際委員会
負担金収入	179,000,000	179,500,000	△500,000	愛知県 77,000,000 名古屋市 102,000,000 中日新聞社 500,000
協賛金収入	86,700,000	89,400,000	△2,700,000	企業等協賛金
入場料収入	34,800,000	14,695,469	20,104,531	前売り及び当日入場チケット
小間料収入	6,600,000	6,825,600	△225,600	展示会小間料収入
その他収入	8,800,000	11,411,429	△2,611,429	併催事業に関する負担金等
前年度繰越額	55,300,000	55,840,000	△540,000	前年度に受領した協賛金、負担金等
合計	420,590,000	403,608,498	16,981,502	
支出				
項目	予算額(A)	決算額(B)	(A)-(B)	説明
施設費	211,511,000	209,218,695	2,292,305	
会場費	61,077,000	37,616,660	23,460,340	会場使用料、光熱水費
設営費	150,434,000	171,602,035	△21,168,035	競技会場、各種案内サイン等
運営費	148,616,000	139,292,414	9,323,586	
企画調整費	16,269,000	12,940,050	3,328,950	開催委員会の開催、査証関係書類作成等
大会開催費	88,699,000	83,466,594	5,232,406	
一般運営費	49,506,000	44,145,714	5,360,286	チケットの販売、入場受付、警備、清掃等
ボランティア関係費	8,254,000	7,257,000	997,000	ボランティアの募集・研修等
式典費	28,224,000	29,134,800	△910,800	開会式、交流事業等
シンポジウム開催費	715,000	715,000	0	会場装飾、運営等
保険料	2,000,000	2,214,080	△214,080	イベント保険
関連事業費	43,648,000	42,885,770	762,230	
子ども向け事業等	17,458,000	16,674,236	783,764	ワークショップ、からくりイベント等
展示会開催費	21,522,000	22,397,850	△875,850	出展者説明会、会場設営等
フォーラム開催費	4,668,000	3,813,684	854,316	会場費、講師謝金等
広報費	45,963,000	45,278,269	684,731	
広報宣伝費	42,463,000	41,620,270	842,730	チラシ・ポスター、広告、Webによる情報発信等
普及事業費	3,500,000	3,657,999	△157,999	周知イベント、展示会出展等
事務費	12,500,000	9,819,120	2,680,880	事務局の運営
予備費	2,000,000	0	2,000,000	
合計	420,590,000	403,608,498	16,981,502	

11-6 設備

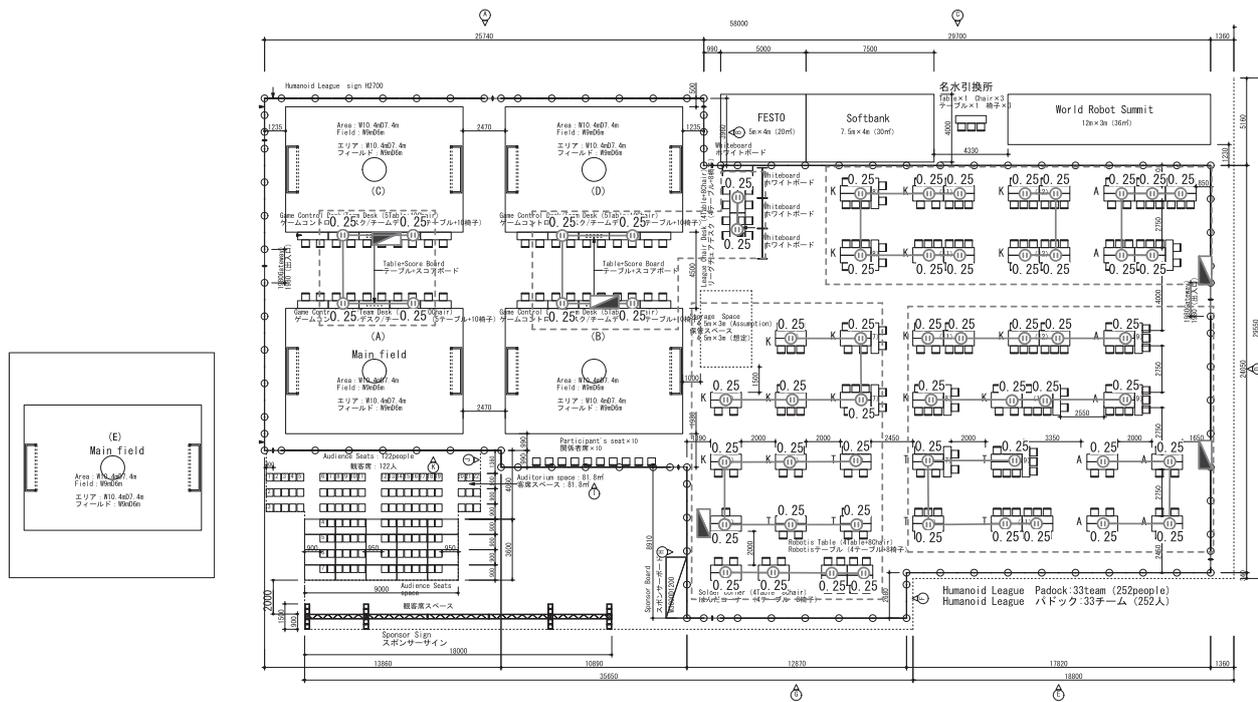
■ 競技会場詳細

各競技会場の詳細図面は以下のとおり。

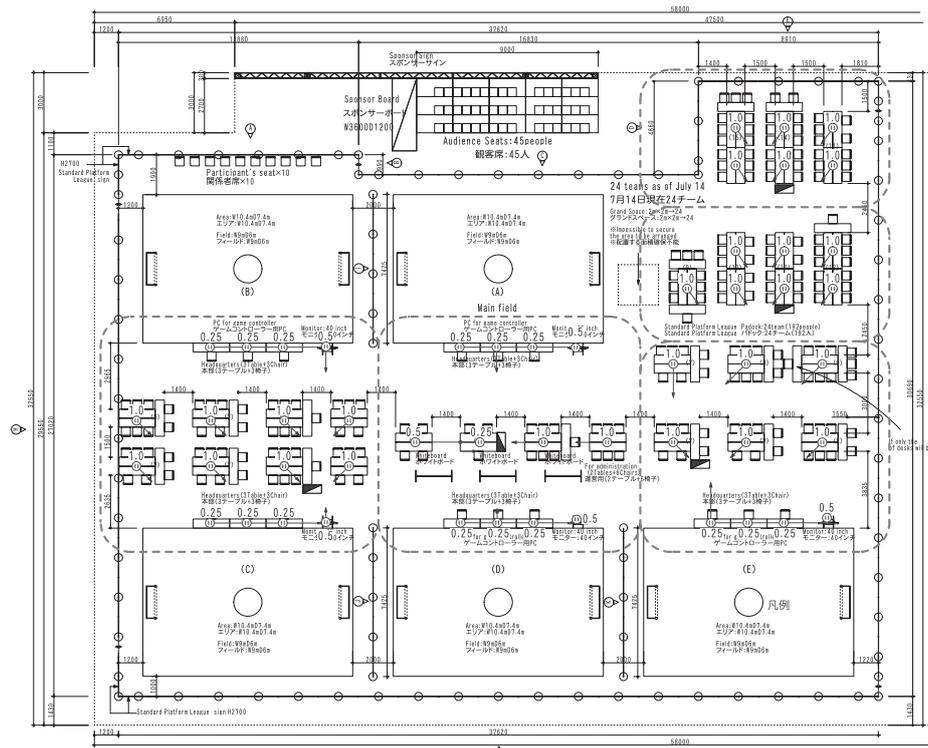
設営は7月23日(土)、24日(日)の2日間。撤去は7月30日(日)から開始し、7月31日(月)に完了した。なお、展示会「ロボット技術・産業フェア」及び世界青少年発明工夫展は7月25日(月)、26日(火)の2日間で設営を行った。

RoboCup Soccer ロボカップサッカー

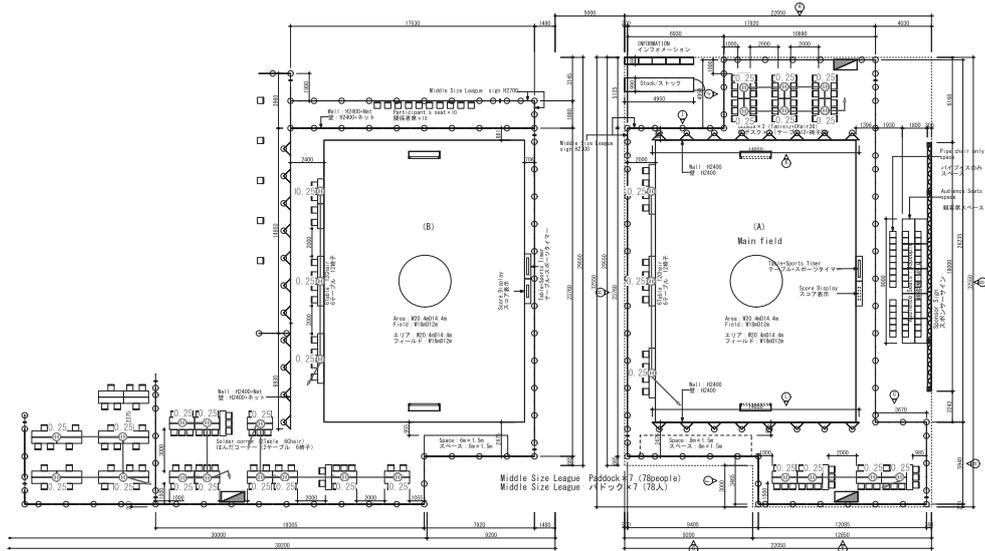
Humanoid League ヒューマノイドリーグ



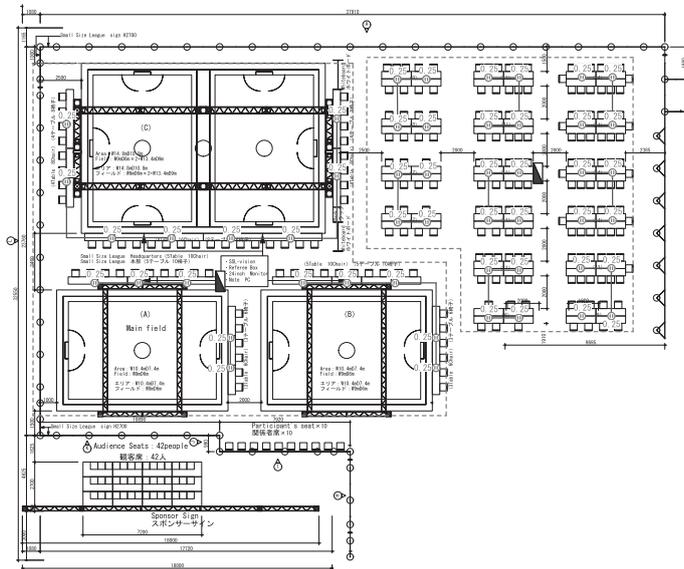
Standard Platform League スタンダードプラットフォームリーグ



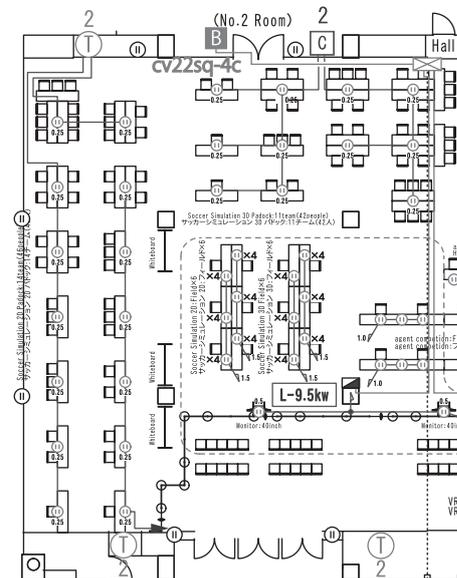
Middle Size League 中型ロボットリーグ



Small Size League 小型ロボットリーグ



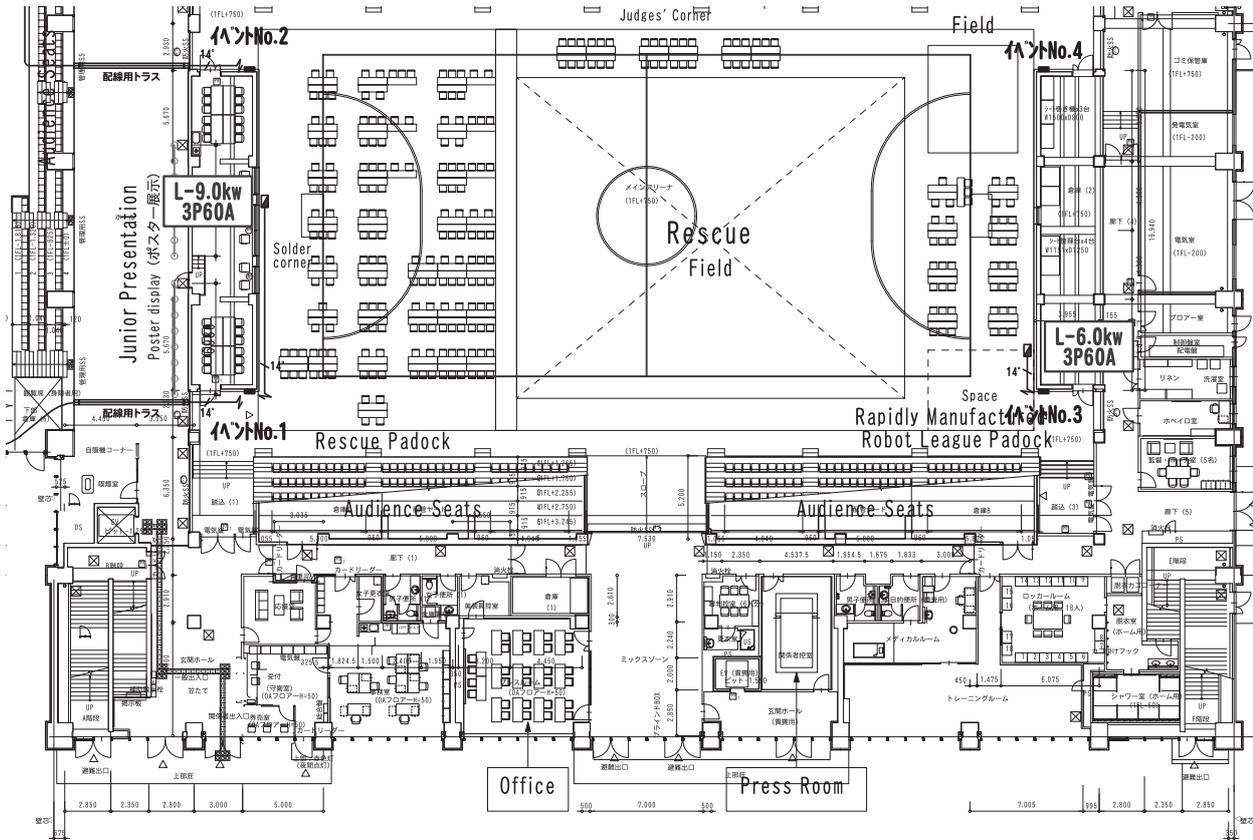
Simulation 2D,3D シミュレーション2D,3D



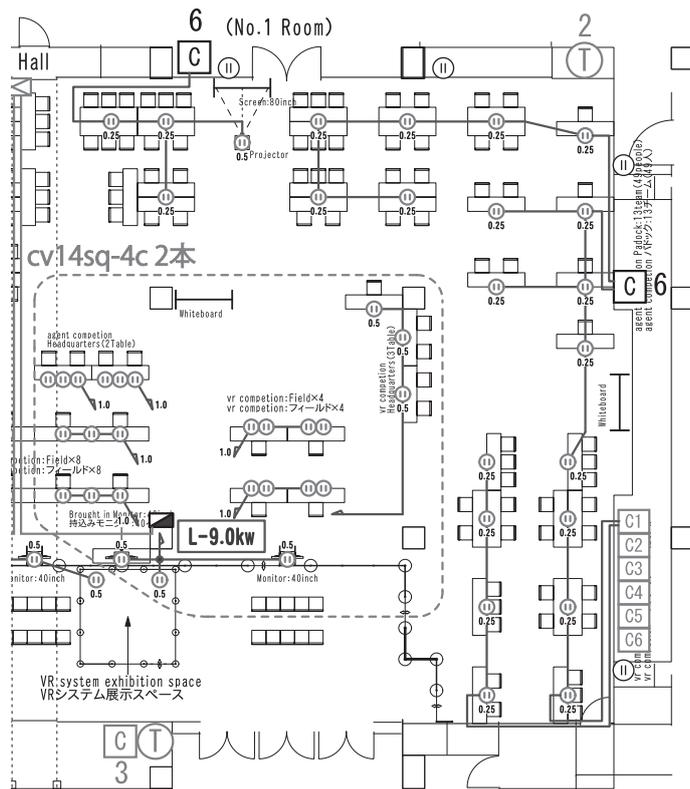
RoboCupRescue ロボカップレスキュー

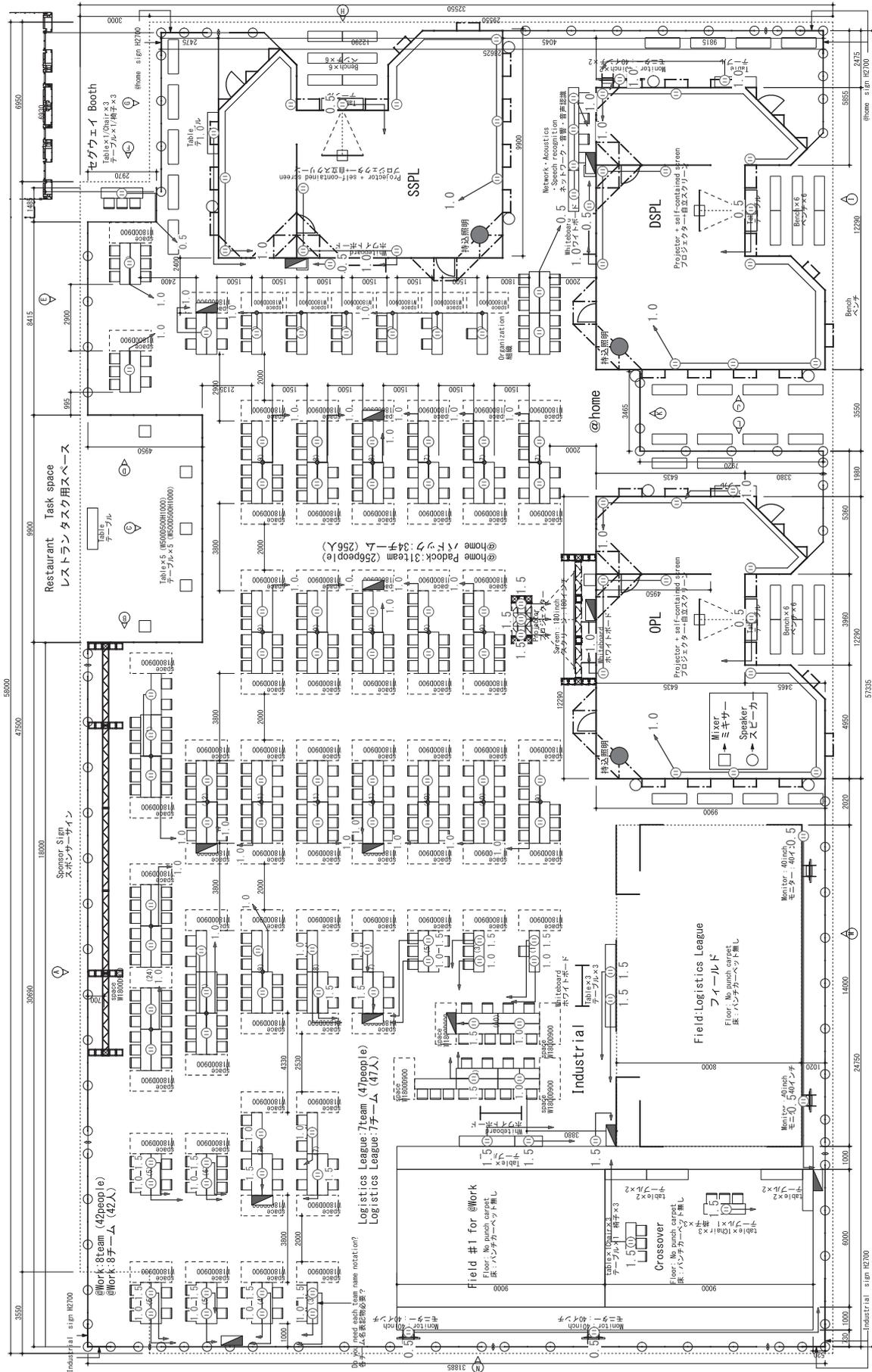
Rescue Robot League レスキューロボットリーグ

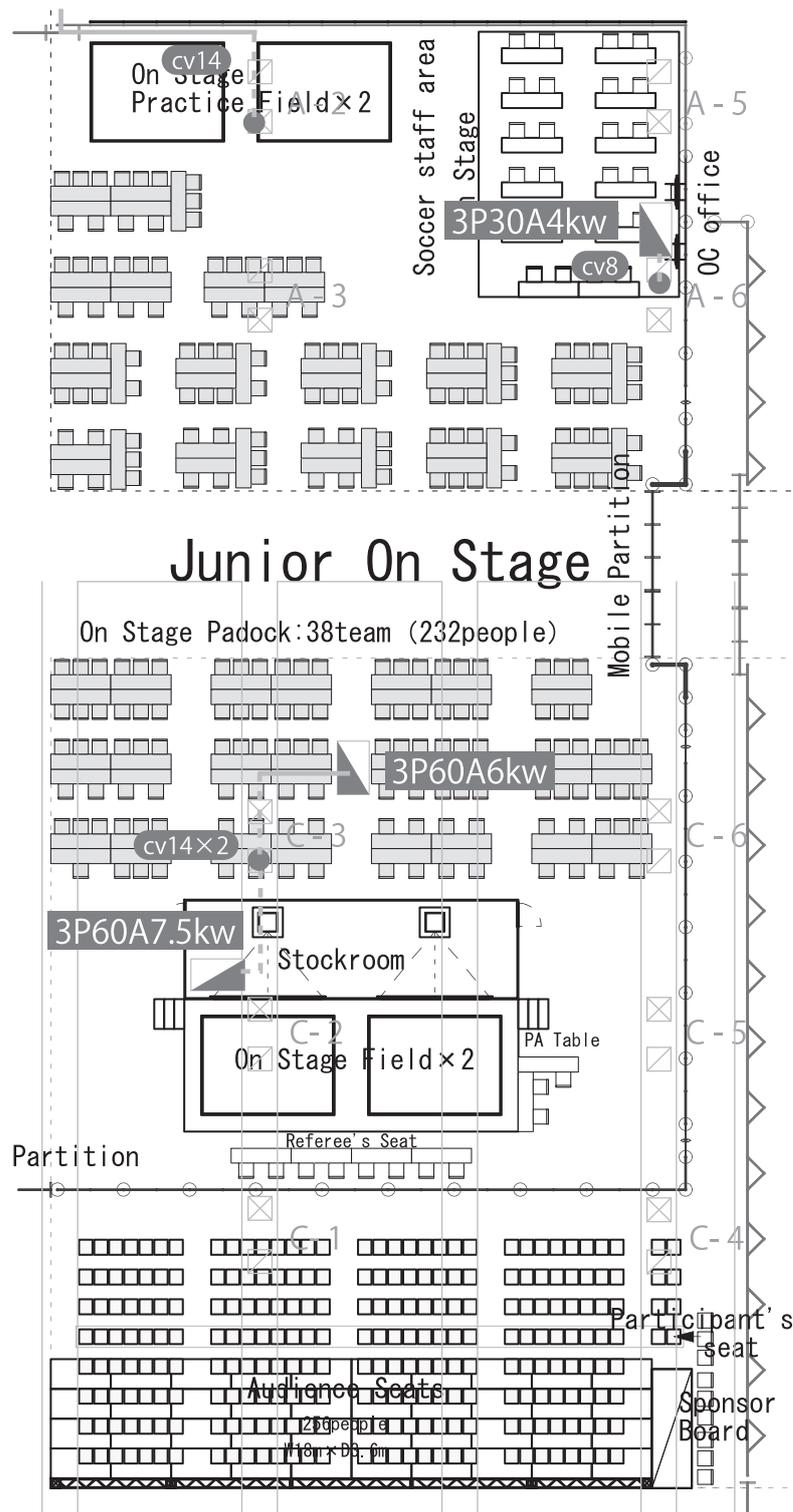
Rapidly Manufactured Robot Competition ラピッドリーマニファクチャードロボット競技



Rescue Simulation League レスキューシミュレーションリーグ







11-7 サイン表示等

■ 外装サイン



■ 内装サイン



■ スポンサーサイン



11-8 ロボカップ2017名古屋世界大会 アンケート結果



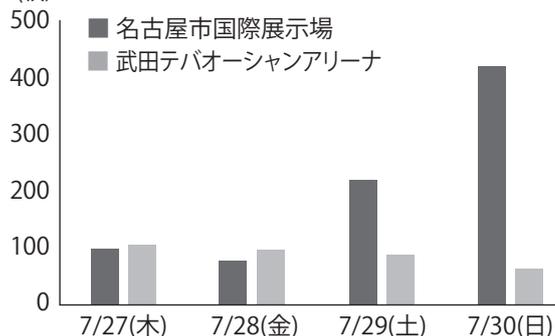
11-8-1 来場者アンケート結果

- 実施期間：2017年7月27日(木)～30日(日)
- 回収場所：名古屋市国際展示場 第3展示館内インフォメーションカウンター
武田テバオーシャンアリーナ内インフォメーションカウンター
- 回収枚数：1,155枚
- 実施方法：●会場内インフォメーションカウンターにて大会支援ボランティアがアンケートを来場者に直接配布しその場で回収する方法により実施
●回答者には粗品としてロボカップクリアファイルや缶バッジを配布

(内訳)

実施日	名古屋市国際展示場	武田テバオーシャンアリーナ	合計	割合(%)
7/27(木)	98	106	204	18
7/28(金)	76	95	171	15
7/29(土)	214	88	302	26
7/30(日)	417	61	478	41
計	805	350	1,155	100

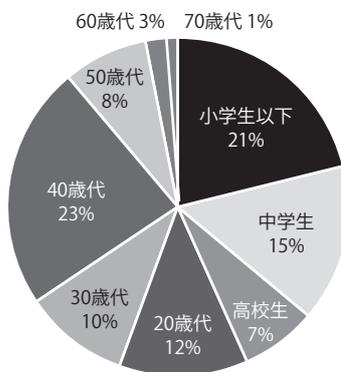
(枚)



■ 回答者の属性

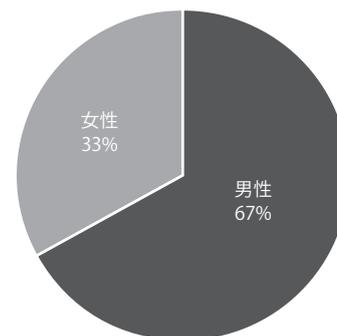
(年齢)

選択肢	回答数	割合(%)
小学生以下	244	21
中学生	172	15
高校生	74	7
20歳代	138	12
30歳代	118	10
40歳代	266	23
50歳代	92	8
60歳代	36	3
70歳代以上	12	1
無回答	3	0
計	1,155	100



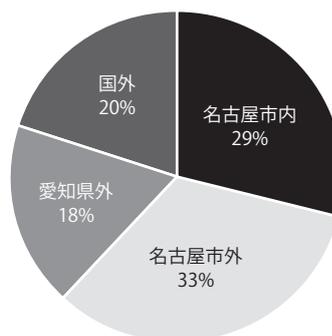
(性別)

選択肢	回答数	割合(%)
男性	775	67
女性	377	33
無回答	3	0
計	1,155	100



(居住地域)

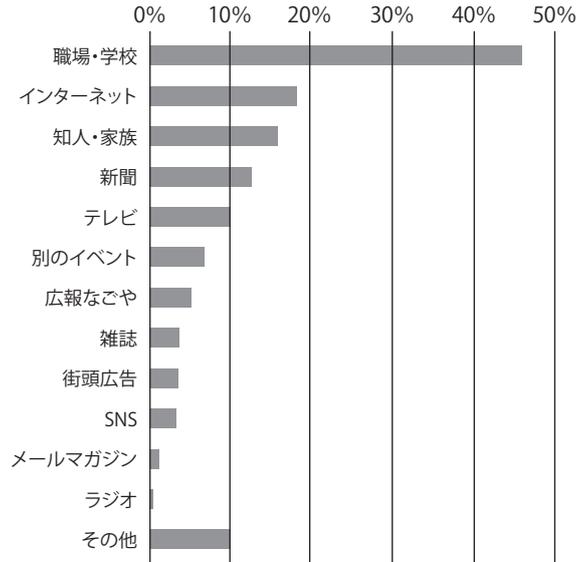
選択肢	回答数	割合(%)
名古屋市内	329	29
名古屋市外(愛知県内)	379	33
愛知県外(国内)	208	18
国外	234	20
無回答	5	0
計	1,155	100



■ 設問への回答

◎ロボカップをどのように知りましたか。(複数回答可)

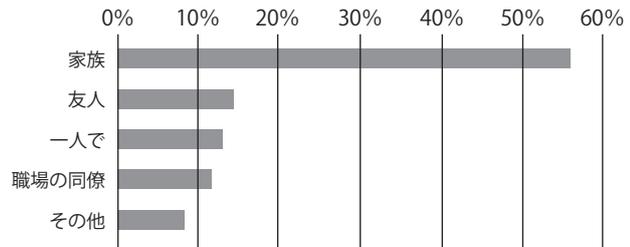
選択肢	回答数	割合(%)
職場・学校など	529	46
インターネット	208	18
知人・家族からの紹介	183	16
新聞	144	12
テレビ	115	10
別のイベント	80	7
広報なごや	61	5
雑誌	44	4
街頭広告	42	4
SNS	39	3
メールマガジン	13	1
ラジオ	8	1
その他	115	10
計	1,581	—



(その他) 発明クラブ、チラシ、DM、科学館、参加者、自身がロボカップに参加したことがある など

◎誰と来場しましたか。(複数回答可)

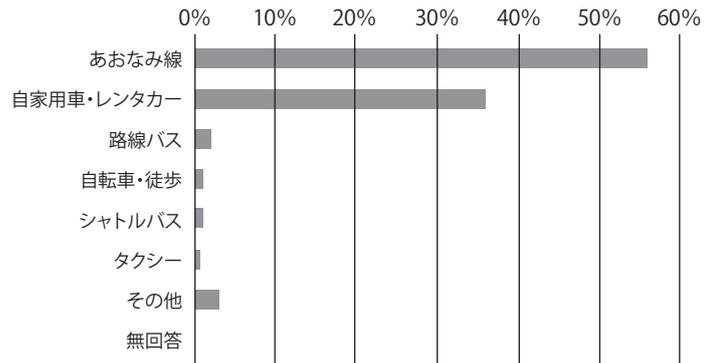
選択肢	回答数	割合(%)
家族	643	56
友人	158	14
一人で	148	13
職場の同僚	143	12
その他	88	8
計	1,180	—



(その他) 生徒、チーム、部活の部員、発明クラブ など

◎会場への交通手段は主に何を利用しましたか。

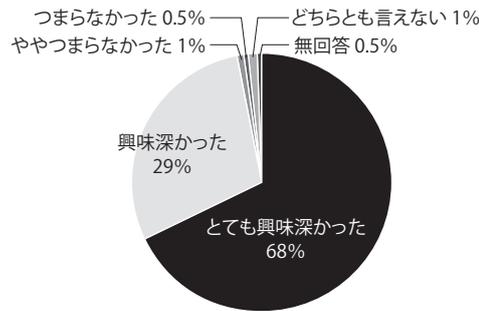
選択肢	回答数	割合(%)
あおなみ線	644	56
自家用車・レンタカー	421	36
路線バス	18	2
自転車・徒歩	14	1
シャトルバス	11	1
タクシー	5	0.5
その他	40	3
無回答	2	0.5
計	1,155	100



(その他) チャーターバス、新幹線、高速バス、飛行機 など

◎ロボカップ(併催イベントなどを含む)をご覧になってどのように感じましたか。

選択肢	回答数	割合(%)
とても興味深かった	786	68
興味深かった	333	29
ややつまらなかった	11	1
つまらなかった	4	0.5
どちらとも言えない	16	1
無回答	5	0.5
計	1,155	100



理由 [とても興味深かった]

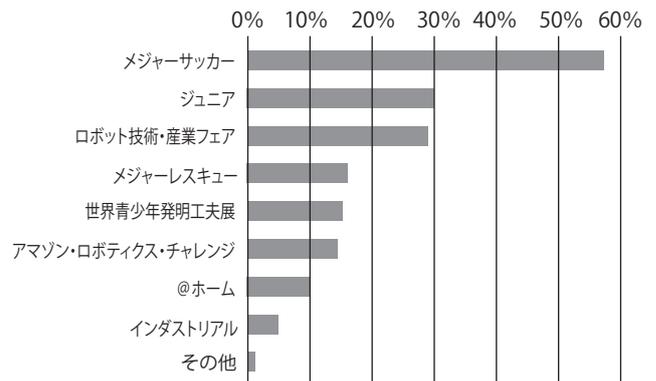
- ・世界レベルの技術の高さを感じました。
- ・親切なボランティアの方が多くて、楽しく時間が過ぎました。
- ・体験がたくさんできて面白かった。/ いろいろ体験できて1日では足りなかった。
- ・ロボットが身の回りのことや人を笑わせることなどできるということが分かったから。
- ・ロボットの動きがここまで機敏だと思わなかった。
- ・ロボットが人みたいに動いて面白かった。
- ・ロボットがぶつかったりパスしたり、ドキドキして楽しかった。
- ・自動で動くロボットがとても興味深かった。/ 自分の意思で動くものを作れるのが素晴らしいと思った。
- ・たくさんの企業の技術やテレビなどで話題のロボットも見られたから。
- ・いろいろなロボットがいて面白かった。/ ロボットが好きだから。
- ・ロボット・AIの進化がわかった。/ 将来こういうのが普通になると思うととても楽しい。
- ・@homeではロボットがすごく身近なものになりつつあることを実感できた。

[興味深かった]

- ・各国の子どもたちと話ができて楽しかった。
- ・スピード感のあるサッカーは見ていて面白かった。
- ・最先端の技術を目の当たりにできたので。
- ・子どもが喜んでいました。
- ・ロボットとの距離が縮まったと思ったから。
- ・仕事や災害現場で今後ロボットが普及していくと感じた。でもまだ動き方が悪いので、技術革新が進めばよいと思う。
- ・面白かったけど見えない場所が多かった。各所にモニターをつけてほしい。特に子どもが見えない。

◎会場で特に興味深かったのはどれですか。(複数回答可)

選択肢	回答数	割合(%)
メジャーサッカー	658	57
ジュニア(サッカー・レスキュー・オンステージ)	347	30
ロボット技術・産業フェア	336	29
メジャーレスキュー	184	16
世界青少年発明工夫展	162	14
アマゾン・ロボティクス・チャレンジ	155	13
@ホーム	110	10
インダストリアル	58	5
その他	19	2
計	2,029	—

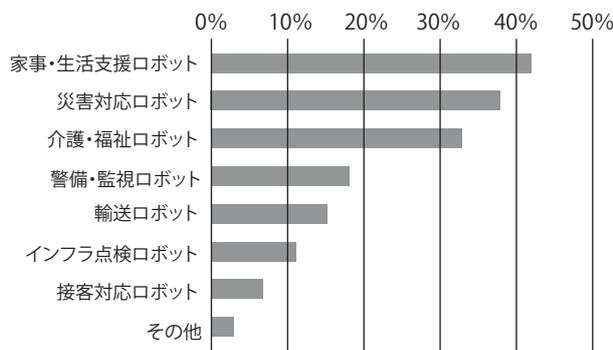


(その他) からくり人形実演、ロボットパーク、トヨタブース など

- 理由
- ・(メジャーサッカー) ロボットの動きが人のようだった。/ ロボット同士の連携がすごかった。/ NAOの動きが面白かった。/ ロボットがボールを蹴るときこんなに威力が高いとは思わなかったから。
 - ・(メジャーレスキュー) いろいろなロボットが厳しい道を抜けて行くのがかっこよかったから。
 - ・(@ホーム) 本物の家のようなセットが面白かった。自分の生活にあてはめて考えられて楽しかった。/ 目の前でやっているのを見ることができたから。
 - ・(ジュニア) 同じくらいの年の人が大会に出ているから。
 - ・(世界青少年発明工夫展) 子どもたちの発明がすごかった。とても丁寧に説明してくれた。/ 他の国の人とコミュニケーションが取れるから。
 - ・(アマゾン・ロボティクス・チャレンジ、ロボット技術・産業フェア) 産業ロボットが発達すれば日本が良くなると思ったから。

◎あなたが今後の進歩に期待するのはどのようなロボットですか。(複数回答可)

選択肢	回答数	割合(%)
家事・生活支援ロボット	490	42
災害対応ロボット	443	38
介護・福祉ロボット	377	33
警備・監視ロボット	205	18
輸送ロボット	170	15
インフラ点検ロボット	130	11
接客対応ロボット	84	7
その他	37	3
計	1,936	—



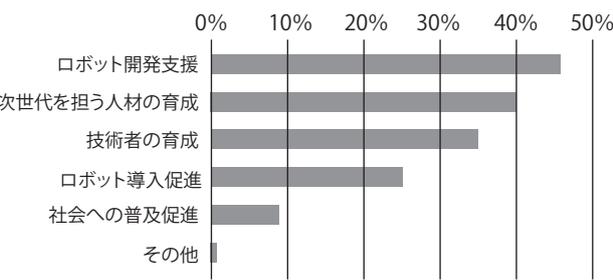
(その他) スポーツロボット、健康(運動)管理ロボット、娯楽(ゲーム)ロボット、教育ロボット、料理ロボット、診療・治療ロボット など

理由 ・(家事・生活支援) 女性の社会進出には必要不可欠。/ 家事が楽になるととても便利だと思うから。

- ・(災害対応) 日本は災害大国だから。/ 現場環境が危険だから。
- ・(介護・福祉、災害対応、警備・監視) 人間でなくても大丈夫な分野、24時間稼働が必要な分野。
- ・(介護・福祉) 介護する側の人間の年齢も上がってくるから。
- ・(輸送) 公共交通が発達し、環境への負荷を減らせるから。
- ・(接客対応) 人型のロボットが増えているから。
- ・どの分野にも期待しています。

◎今後の名古屋市のロボット産業振興施策として、どのようなことに重点的に取り組むべきだと思いますか。(複数回答可)

選択肢	回答数	割合(%)
ロボット開発支援	531	46
次世代を担う人材の育成	461	40
技術者の育成	403	35
ロボット導入促進	291	25
社会への普及促進	216	19
その他	13	1
計	1,915	—



(その他) 自動運転車、早期プログラミング教育 など

理由 ・(開発支援、技術者育成、人材育成)

- 世界に負けないため。
- 子どもにロボットに触れる機会をたくさん作ってほしい。
- 技術者が増えると良いロボットができると思ったから。
- これからもロボットを作る人が必要だから。

- ・(社会普及、人材育成)
 - より多くの人々がロボットに関心を持つようになるため。
 - ロボットの扱い方を学ぶ必要がある。
 - 普通に過ごしている小学生などは、このような機会がないとロボットに触れることがない。
- ・(社会普及)
 - ロボットについてもっと知ってもらうことが重要だと思うから。
 - ロボットが身近に感じられれば人材育成も進むし、導入もされると思うので。
- ・(人材育成)
 - プログラミングしたいから。
- ・(技術者育成、人材育成)
 - ロボットを広めるには、関わる人を増やすことが重要だと思うから。

◎その他、感想やご意見がございましたら、ご自由にお書きください。

- ・とても面白かったです。/ 楽しかったです。/ 想像以上に面白かった。/ 次回もまた見にきたい。
- ・2~3年に一度、このような機会があるとよいと思う。/ ぜひまた名古屋でやってほしい。/ 来年も開催してください。
- ・さまざまなロボットがあり、技術の進歩を感じることができて、とても新鮮で良かった。
- ・ロボットに関してあまり詳しくなくても楽しめてよいイベントだと思う。
- ・サッカーがすごく面白かったです。/ ロボットと人間がサッカーできるように頑張って!
- ・僕も大人になってからロボットのサッカーに出たいと思いました。
- ・子どもでも楽しめました。ロボットがサッカーをしている様子に引きつけられていました。
- ・子どもが興味を持つイベントが多かった。
- ・工作機械をもっとたくさん見たかった。/ まだまだいろいろロボットを見たい。
- ・うまくオーガナイズされたイベントだった。
- ・20年前のロボカップを見ました。進歩にびっくりです。世界42か国の人たちが集うことって、やはり意義があると思いました。
- ・ボランティアの人に親切に対応していただき助かりました。
- ・いろいろな会社のロボットを知り、「こんなものがあるんだ」と思った。僕も将来こんな仕事につきたいと思った。
- ・世界大会が名古屋で開かれ、間近で見ることができて、とてもよかったです。
競技の基礎知識を持って見たらもっと楽しめたと思います。ありがとうございました。
- ・外国の方々と接することができてとても楽しかった。
- ・一般来場者向けにももっと交流の場があるとより嬉しいです。
- ・NAOがサッカーをするSPLはすごく面白いので、会場内でもっと目立つ位置に配置してほしい。
- ・事前に試合タイムテーブルがあれば見学しやすくなる。/ 競技のスタートとかがわかりづらかった。
サッカーの試合時間がどこでも確認できると良かった。/ 現在行っている競技をわかりやすくしてほしい。
- ・メーグル(なごや観光ルートバス)の案内があるといい。
- ・周りの人は「何それ?」という感じでした。開催は知っていても何をするのかよくわからない方が多いようでした。
- ・子どもが見て触れるブースがたくさんあると良いです。
- ・子ども向けワークショップの定員を増やしてほしい。
- ・ゴミ箱がもっとたくさんあるとよかった。
- ・お土産が売切れてしまったのが残念でした。/ もっとグッズを売って欲しい。Tシャツが欲しかったが買えなかった。
オリジナルグッズのネット販売はありますか?
- ・ロボット開発などに興味のある学生が参加できる催しや教室が開催されるといいと思います。
- ・もっと観覧しやすく椅子等の配置を考えた方がいいと思います。せっかくのイベントも、人がたくさん集まるとよく見えない。
「からくり」ももっときちんと見たかったです。みなさん立ってしまって全く見えなかった。
- ・水飲み場がほしい。
- ・何が起きているのか、練習中? 試合中? 得点? など状況がわかりづらいので、改善してほしい。
レスキューは何を競っているのかも分からなかった。
- ・大学など教育機関やロボット関係企業はもっと積極的に市民向けイベントを開催して欲しい。特に子ども向けのもの。
- ・スポンサーが増えるような露出が課題。
- ・ロボット系のイベントの誘致に力を入れてほしい。
- ・今後の成長性が望まれるロボット産業をもっと広める活動をしてほしい。

■ 回答数：13社／39社（回答率：33.3%）

①本展への出展目的について（複数回答あり）

選択肢	数(社)	割合(%)
製品PR	9	69.2
ユーザーニーズの把握	7	53.8
新製品の発表	0	0
企業イメージの向上	8	61.6
製品の販売	0	0
その他・学生の研究活動の紹介	1	7.7
計	25	—

②出展目的の達成度について

選択肢	数(社)	割合(%)
期待以上	3	23.0
期待どおり	8	61.6
期待はずれ	2	15.4
計	13	100

③本展への出展結果について

選択肢	数(社)	割合(%)
非常に満足	5	38.5
やや満足	5	38.5
普通	3	23.0
やや不満	0	0
非常に不満	0	0
計	13	100

④本展に出展して満足できる点、評価できる点について（主な意見）

- ・入場者、来場者が多かった。多くのお客さんに展示物を見ていただくことができた。
- ・世界中のユーザーの利用状況を把握でき、またブースでは多くの方に当社の技術をご理解頂けた。
- ・様々なユーザーに出会えた。特に学生など若い世代の人達に、製品の説明ができた事は良かった。
- ・日頃接点のない、世界大会に出場するようなグローバルなエンジニアに、弊社の製品の体験及びノベルティを通して、接点を持てた。メディアに掲載されPRできた。
- ・ロボカップ出場者（国内外問わず）が多くブースに来訪してくれた。ロボカップも含め、会場に熱気が溢れていた。

⑤本展に出展して不満点、改善点について（主な意見）

- ・ロボカップの競技に影響が出るため、Wi-Fi等無線利用が禁止となっていた。
- ・出展者控室がない。ホテルが近くにない。
- ・展示会場にも通訳のボランティアがいると助かる。外国人の方の対応に苦労した。
- ・来場者の中でユーザーになりそうな方が分かったと良かった。（業種ごとに来場者カードの色が違う等）
- ・ロボカップ併設の展示会の為、仕方ないが入場料が発生するため、広くお付き合いする企業様にご案内が出来なかった。
- ・想定内ではあるが、国内企業の来場者が少なかった。弊社側の問題ではあるが、ブース来訪者の数が予想を超えていたため、配布物が最終日の途中で底をついてしまったのが残念。

■ 回答者数：118人

■ 設問に対する回答

①英語を活用する機会がありましたか

選択肢	回答数	割合 (%)
たくさんあった	47	39.8
少しだけあった	67	56.8
全くなかった	4	3.4
計	118	100

②このボランティア活動は、あなたにとって役に立ちましたか

選択肢	回答数	割合 (%)
とても役に立った	55	46.6
少し役に立った	52	44.1
全く役に立たなかった	1	0.8
どちらともいえない	10	8.5
計	118	100

【主な回答 ※役に立ったと回答した方】

- ・英語を使ったボランティアという自分自身の新しい可能性が広がった。
- ・自分の英語の能力がどれ程なのかを再確認できた。
- ・簡単な(英語での)会話ができて自信になった。
- ・様々な国籍の方と話をする貴重な機会だった。
- ・英語を話す機会があったことや、最先端のロボットを見ることができた。
- ・世界各国の方と交流することができて、自分の視野が広まったとともに、ボランティアの方達内でも仲良くなれて新しい交友関係が作れた。
- ・海外の人と多くコミュニケーションできて、充実感を得た。
- ・研修時に配布された英会話集が大変参考になった。今後も活用できるので、大変ありがたいと感じた。
- ・国内、海外の方々と親睦を深めることができたし、お礼や、笑顔を返された時は、自分のエネルギーがアップした。
- ・ロボカップというイベントを知ることができた。
- ・ロボカップに参加する世界中の皆さんを間近に見て、各国のロボット熱を感じられた。

③ロボカップ全体を通して、感想やご意見、印象に残ったこと

【主な回答】

- ・本番前の研修がしっかりしていて良かったと思います。また分からない事を誰に聞けば良いか責任者もはっきりしていたので不安なく対応出来ました。
- ・世界からたくさんの方が集まってすごい大会だと思った。そこに参加できたことがうれしかった。
- ・最先端技術のロボットの試合を間近で見る機会もあり、選手たちの熱心さ、応援しにきていた人たちの暖かさに直接触れることができたのは、非常に良かった。
- ・望んでいた国際交流を実際に感じる事ができました。
- ・休憩時間に展示物や競技を見て回るのがとても楽しかった。
- ・ロボット好きな人がたくさん集まり、みんな礼儀正しく、ボランティアもとても楽しめた。
今後、このような機会があったらまた参加したい。
- ・ボランティア開始前の説明と実際の対応に違いがあり、現場で戸惑いがあった。
- ・ポストによって仕事の差が激しかった。
- ・催し物の場所を聞かれることが多かったので、配置前に周知があるともっと案内しやすかった。

11-9 大会結果

11-9-1 出場チーム一覧

RoboCupSoccer ロボカップサッカー

Humanoid League (ヒューマノイドリーグ)

KidSize (キッドサイズ)

	チーム名	所属
1	Barelang FC	Politeknik Negeri Batam
2	Bold Hearts	University of Hertfordshire
3	CIT Brains	Chiba Institute of Technology (千葉工業大学)
4	EROS Team	Electronic Engineering Polytechnic Institute of Surabaya
5	Falconbots ITSSMT	Instituto Tecnológico Superior de San Martín Texmelucan
6	Hamburg Bit-Bots	University of Hamburg
7	ICHIRO	Institut Teknologi Sepuluh Nopember
8	I-KID	Beijing Information Science & Technology University
9	ITAndroids	Technological Institute of Aeronautics
10	KUDOS	Kookmin University
11	MRL-HSL	Qazvin Islamic Azad University
12	NUbots	The University of Newcastle
13	Rhoban Football Club	University of Bordeaux
14	RoboFEI-HT	University Center of FEI
15	SEU-UniRobot	Southeast University
16	TH-MOS	Tsinghua University
17	ZJUDancer	Zhejiang University

TeenSize (ティーンサイズ)

	チーム名	所属
1	AcYut	Birla Institute of Technology and Science Pilani
2	aiRobots	National Cheng Kung University
3	AUTMan	Amirkabir University of Technology University of Manitoba
4	HuroEvolutionTN	National Taiwan University of Science and Technology
5	NimbRo TeenSize	University of Bonn
6	ROBIT	Kwangwoon University
7	T-FLOW	Electronic Engineering Polytechnic Institute of Surabaya
8	Unbounded Designers	Islamic Azad University of Isfahan (Khorasgan)
9	WF Wolves & Taura Bots	Ostfalia University of Applied Sciences

AdultSize (アダルトサイズ)

	チーム名	所属
1	CIT Brains Adult	Chiba Institute of Technology (千葉工業大学)
2	IRC	Islamic Azad University of Ilkhichi
3	NimbRo AdultSize	University of Bonn
4	NKFUST	National Kaohsiung First University of Science and Technology
5	Sweaty	Offenburg University of Applied Science
6	Team KIS	Chiba Institute of Technology (千葉工業大学)
7	Tsinghua Hephaestus	Tsinghua University
8	ZSTT	National Taiwan Normal University

Standard Platform League (スタンダードプラットフォームリーグ)

	チーム名	所属
1	Aztlan	Universidad Tecnológica de la Mixteca
2	Bembelbots	Goethe University of Frankfurt
3	Berlin United - NaoTH	Humboldt University Berlin
4	B-Human	University of Bremen German Research Center for Artificial Intelligence
5	Camellia Dragons	Aichi Prefectural University (愛知県立大学)
6	Dutch Nao Team	University of Amsterdam
7	HULKS	Hamburg University of Technology
8	JoiTech-SPL	Osaka University (大阪大学)
9	Linkoping Humanoids	Linköping University
10	Luxembourg United	Luxembourg University
11	MiPal	Griffith University
12	MRL-SPL	Qazvin Islamic Azad University
13	Nao Devils Dortmund	Technical University of Dortmund
14	Nao-Team HTWK	Leipzig University of Applied Sciences
15	NomadZ	ETH Zurich
16	NTU RoboPAL	National Taiwan University
17	RoboCanes	University of Miami
18	RoboEireann	National University of Ireland Maynooth
19	TJArk	Tongji University
20	UChile Robotics Team	University of Chile
21	UNSW Australia	University of New South Wales Sydney
22	UPennalizers	University of Pennsylvania
23	UT Austin Villa	University of Texas at Austin
24	WrightOcean	Ludong University

Middle Size League (中型ロボットリーグ)

	チーム名	所属
1	CAMBADA	University of Aveiro
2	Falcons	ASML Kyushu Institute of Technology (九州工業大学)
3	Hibikino-Musashi	Nippon Bunri University (日本文理大学) Nishinippon Institute of Technology (西日本工業大学)
4	Nubot	National University of Defense Technology
5	RV-Infinity	Tokyo Polytechnic University (東京工芸大学)
6	Tech United	Eindhoven University of Technology
7	Water	Beijing Information Science & Technology University

Small Size League (小型ロボットリーグ)

	チーム名	所属
1	ER-Force	Friedrich-Alexander University Erlangen-Nürnberg (FAU)
2	KgpKubs	Indian Institute of Technology Kharagpur
3	KIKS	Toyota National College of Technology (豊田工業高等専門学校)
4	MCT Susano Logics	Matsue College of Technology (松江工業高等専門学校)
5	MRL	Qazvin Islamic Azad University
6	NEUIslanders	Near East University
7	OP-AmP	Asagami Works (浅神製作所)
8	Parsian	Amirkabir University of Technology
9	RoboDragons	Aichi Prefectural University (愛知県立大学)
10	RoboFEI	University Center of FEI
11	RoboIME	Instituto Militar de Engenharia
12	RoboJackets	Georgia Institute of Technology
13	RoboTeam Twente	University of Twente
14	SRC	Seer Robotics Club
15	STOx's	Santo Tomas University
16	TIGERs Mannheim	Cooperative State University Mannheim
17	UBC Thunderbots	University of British Columbia
18	ULtron	University Laval
19	UMass MinuteBots	University of Massachusetts Amherst
20	ZJUNlict	Zhejiang University

Simulation 2D (2Dシミュレーション)

	チーム名	所属
1	Alice	Hefei Normal University
2	CSU_Yunlu China	Central South University
3	CYRUS	Atomic Energy High School
4	Fifty-Storms2017	Shibaura Institute of Technology (芝浦工業大学)
5	FRA-UNited	Frankfurt University of Applied Sciences
6	HELIOS2017	Fukuoka University (福岡大学) Osaka Prefecture University (大阪府立大学)
7	HfutEngine2017	Hefei University of Technology
8	HillStone	Tamagawa University (玉川大学) Advanced Institute of Industrial Technology (産業技術大学院大学)
9	ITAndroids	Technological Institute of Aeronautics
10	MT2017	Hefei University of Technology
11	Nexus2D	Ferdowsi University of Mashhad
12	Oxy	Compa-IT
13	Persian Gulf	Islamic Azad University of Bushehr
14	Ri-one	Ritsumeikan University (立命館大学)
15	WIT	Tokyo Metropolitan University (首都大学東京)
16	Ziziphus	Islamic Azad University Science and Research Branch

Simulation 3D (3Dシミュレーション)

	チーム名	所属
1	AIUT3D	Isfahan University of Technology
2	BahiaRT	Bahia State University
3	FCPortugal	University of Aveiro University of Porto University of Minho
4	FUT-K	Fukui University of Technology (福井工業大学)
5	HFUTEngine2017	Hefei University of Technology
6	ITAndroids	Technological Institute of Aeronautics
7	KgpKubs	Indian Institute of Technology Kharagpur
8	magmaOffenburg	Offenburg University of Applied Science
9	Miracle3D	Hefei Normal University
10	Nexus3D	Ferdowsi University of Mashhad
11	RIC-AASTMT	Arab Academy for Science, Technology & Maritime Transport
12	UT Austin Villa 3D	University of Texas at Austin

RoboCupRescue ロボカップレスキュー

Robot League (ロボトリリーグ)

	チーム名	所属
1	AIT Pickers	Aichi Institute of Technology (愛知工業大学)
2	BART LAB Rescue Robotics	Mahidol University
3	CUAS_RRR	Carinthia University of Applied Science (CUAS)
4	Cuerbot	Nuevo Leon Insitute of Technology
5	DML	Damavand azad university
6	FinDER-UNAM	UNAM, National Autonomous University of Mexico
7	HECTOR DARMSTADT	Technical University of Darmstadt
8	iRap Robot	King Mongkut' s University of Technology North Bangkok
9	KN2C	K.N. Toosi University of Technology
10	MIT Robo Team	Massachusetts Institute of Technology
11	MRL	Qazvin Islamic Azad University
12	Nexis-R	Nagaoka University of Technology (長岡技術科学大学)
13	NITRo	Nagoya Institute of Technology (名古屋工業大学)
14	NuBot	National University of Defense Technology
15	Quad Force	Tohoku University (東北大学)
16	Red Knights Rescue Squad	Benilde-St. Margaret' s School
17	Shinobi	Kyoto University (京都大学)
18	Uprobotics	University Panamericana Campus Bonaterra
19	YILDIZ	Yildiz Technical University
20	YRA	Islamic Azad University of Yazd

Simulation League (シミュレーションリーグ)

Agent(エージェント)

	チーム名	所属
1	A.T.F	Allame Helli High School of Tehran
2	Allameh Tabatabaei	Allame Helli High School of Tehran
3	Apollo-Rescue	Nanjing University of Posts and Telecommunications
4	Aura	University of Tabriz
5	CSU_Yunlu	Central South University
6	Hinomiyagura	Chukyo University (中京大学) Meijo University (名城大学)
7	LarvicSaurus	Universidad Católica San Pablo
8	MRL_RSL	Qazvin Islamic Azad University
9	NAITO-Rescue	Aichi Institute of Technology (愛知工業大学) Aichi University (愛知大学)
10	Ri-one	Ritsumeikan University (立命館大学)
11	RoboAKUT	Bogazici University
12	S.O.S	Amirkabir University of Technology
13	SEU-UniRobotUni	Southeast University

Virtual Robot(バーチャルロボット)

	チーム名	所属
1	Chukyo Rescue A	Chukyo University (中京大学)
2	Chukyo Rescue B	Chukyo University (中京大学)
3	Echoic	Salam Resalat High School and Youth Organization of Iranian Red Crescent-Golestan
4	MRL	Qazvin Islamic Azad University
5	SOSVR	Amirkabir University of Technology
6	YILDIZ	Yildiz Technical University

Rapidly Manufactured Robot Competition (ラピッドリーマニュファクチャードロボット競技)

	チーム名	所属
1	Blue Storm	Mercersburg Academy
2	Equipe Nhão	Instituto Federal do Paraná
3	GÊNESIS	IFTO - Campus Palmas
4	King's Legacy	Christ Church Grammar School Perth
5	LabCombo	Dalian No.8 Senior High School
6	Magistry	Centro de Investigación y Desarrollo de Educación Bilingüe
7	S.A.R.T	St Francis Xavier College
8	Siegel	Instituto Federal de Santa Catarina – Campus Criciúma
9	Team AIT	Aichi Institute of Technology (愛知工業大学)
10	TUPAC	Tokyo Metropolitan College of Industrial Technology (東京都立産業技術高等専門学校)

RoboCup@Home ロボカップ@ホーム

Open Platform League (オープンプラットフォームリーグ)

	チーム名	所属
1	Alle@Home	Technical University Muenchen
2	Golem	National Autonomous University of Mexico
3	Happy Mini	Kanazawa Institute of Technology (金沢工業大学)
4	Hibikino-Musashi@Home	Kyushu Institute of Technology (九州工業大学)
5	homer@UniKoblenz	University of Koblenz-Landau Shibaura Institute of Technology (芝浦工業大学)
6	KameRider OPL	Nankai University Universiti Teknologi Malaysia
7	O.I.T. Trial	Osaka Institute of Technology (大阪工業大学)
8	Pumas	National Autonomous University of Mexico
9	RT Lions	Reutlingen University
10	Tech United Eindhoven	Eindhoven University of Technology
11	Tinker	Tsinghua University
12	ToBl (Team of Bielefeld)	Bielefeld University
13	UChile Homebreakers	University of Chile
14	Walking Machine	École de Technologie Supérieure
15	WrightEagle@Home	University of Science and Technology of China

Domestic Standard Platform League (ドメスティックスタンダードプラットフォームリーグ)

チーム名	所属
1 AISL-TUT	Toyohashi University of Technology (豊橋技術科学大学)
2 Duckers	Ritsumeikan University (立命館大学)
	Tamagawa University (玉川大学)
3 eR@sers	National Institute of Informatics (国立情報学研究所)
	National Institute of Information and communications Technology (情報通信研究機構)
4 Hibikino-Musashi@Home SPL	Kyushu Institute of Technology (九州工業大学)
5 JSK@Home	University of Tokyo (東京大学)
6 Team Northeastern	Northeastern University
7 Tech United Eindhoven DSPL	Eindhoven University of Technology
8 Tritons-SPL	UC San Diego
9 UNSW@Home	University of New South Wales Sydney
10 UT Austin Villa	University of Texas at Austin

Social Standard Platform League (ソーシャルスタンダードプラットフォームリーグ)

チーム名	所属
1 AUPAIR	Seoul National University
2 KameRider SSPL	Nankai University
	University of Rome La Sapienza
3 SPQReL	University of Lincoln
4 ToBl@Pepper (Team of Bielefeld)	Bielefeld University
5 UChile Peppers	University of Chile
6 UTS Unleashed!	University of Technology Sydney
7 UvA@Home	University of Amsterdam

RoboCupIndustrial ロボカップインダストリアル

RoboCupLogistics League (ロボカップロジスティクスリーグ)

チーム名	所属
1 Baby Tigers-R	Ryukoku University (龍谷大学)
2 Carologistics	RWTH Aachen University
3 ER-Force	Friedrich-Alexander University Erlangen-Nürnberg (FAU)
4 Festo Service Team	FESTO
5 GRIPS	Graz University of Technology
6 PYRO	University Lille 1
7 Solidus	HFTM Switzerland

RoboCup@Work League (ロボカップ@ワークリーグ)

チーム名	所属
1 ARC@work	Amirkabir University of Technology
2 AutonOHM	Nuremberg Institute of Technology Georg Simon Ohm
3 b-it-bots	Bonn-Rhein-Sieg University
4 LUHBots	Leibniz University Hannover
5 RoboErectus	Singapore Polytechnic
6 robOTTO	Otto von Guericke University Magdeburg
7 StarLine	Presidential lyceum of physics and mathematics #239
8 team RED	ITMO University

RoboCupJunior ロボカップジュニア

Soccer (サッカー)

Light Weight Primary (ライトウェイトプライマリ)

チーム名	所属
1 AGSG 3	Agrupamento de Escolas de S. Gonçalo
2 Apex	Taipei Highschool League
3 Ball Busters	Independent (Ball Busters)
4 CroAdriatic	Croatian robotic association
5 ESLAM	Iran Technical & Vocational Training Organization
6 INFINITY	FUKUOKA RASHIMBAN (九州ブロック)
7 K.O.R.	Anyang United Robot Club
8 Kepler	Presidential physical-mathematical Lyceum 239
9 NANYANG 1	Nanyang Primary School
10 Roboteens Cracks	Escuela Secundaria Técnica No. 64 "Jaime Sabines Gutiérrez"

11	RoboZero	Lovbot Education
12	Shenzhen Experimental School	Shenzhen Experimental School
13	SoccerXY	Lessing-Gymnasium Neu-Ulm
14	Team Takahama Robots	Takahama Yume Mirai-jyuku (東海ブロック)
15	TNT-reloaded	BG/BRG St. Pölten
16	XLC-Younglings	Basic school Topolcany at Primary school Tribečská 1653/22 Topolčany

Light Weight Secondary (ライトウェイトセカンダリ)

	チーム名	所属
1	ATOM	Netica Jalisco
2	Bodenseekrokodile	Gymnasium im Bildungszentrum Markdorf
3	CHS KEPLER	COMPHAUS
4	Cosine	Nanyang Girls' High School
5	Format	BRG Kepler
6	Helli5	Iran Technical & Vocational Training Organization
7	Helveticrobot	Bündner Kantonsschule Chur
8	LARES	Anyang United Robot Club
9	LJ Stand	Brisbane Boys' College
10	MT-SOFT	Szent Laszlo Secondary School
11	Munako Tsukuyomi	Munakata High School (九州ブロック)
12	Poker Face	Taipei Highschool League
13	SAINTS1	St. Andrew's College
14	Saver & Lock on	Miyakojima Technical Senior High School & Ritsumeikan Uji Senior High School (関西ブロック)
15	SGA Robotics Team	San Gabriel Academy
16	Skolska knjiga Croatia	Croatian robotic association
17	SLO BOT	ŠC Ptuj Elektro in računalniška šola
18	SPQR	ITIS Galileo Galilei Roma
19	Strela	Krasnoyarsk regional Palace of pioneers
20	Team Roboticus	Lyceum Kralingen Rotterdam
21	UGAMM_Soccer	União Geral das Associações dos Moradores de Macau
22	XLC-Padawans	Basic school Topolcany at Primary school Tribečská 1653/22 Topolčany

Open (オープン)

	チーム名	所属
1	AEIOU	BRG Kepler
2	Bend it Like Beckohm	Independent (Bend It Like Beckohm)
3	Catenaccio	Arab Academy for Science and Technology
4	CHS DIY	COMPHAUS
5	Compotes	United School of Saint Francis of Assisi
6	EMM_Soccer	Escola dos Moradores de Macau
7	First V	The Scots College
8	HNS Croatia	Croatian robotic association
9	INPUT	National Institute of Technology Nagaoka College (北信越ブロック)
10	Mega Hertz	IIS Cobianchi - Elettra Robotics Lab
11	Munako Amaterasu	Munakata High School (九州ブロック)
12	Rebellion	Taipei Highschool League
13	Robocrafters	Lessing-Gymnasium Neu-Ulm
14	RoboRevengers	Lovbot Education
15	Sadra Robot 6	Iran Technical & Vocational Training Organization
16	Shlomzion Hamalka	Ohel Sham HS
17	Skynet	Netica Jalisco
18	STORMTROOPERS	Universidad Católica "San Pablo"
19	Uran 239	Presidential physical-mathematical Lyceum 239
20	WRSS Team SG	Woodlands Ring Secondary School

Rescue (レスキュー)

Line (ライン)

	チーム名	所属
1	A contrario	Tomsk physics and technology lyceum
2	Allameh Tabatabaei	Allameh Tabatabaei high School
3	Beta Ray Team	I.T.E. Tambosi_Battisti
4	Croatian robotic association	Croatian robotic association
5	Crunch Robot	Korea HwaJung Robot Club
6	Dalian No.8 Senior High & Hefei iHammer Robot	Dalian No.8 Senior High School
7	Der Gerät	HTL Trieben
8	Erasmus + SweCro	Hofors Kommun
9	FAILEROS 72	IES JOSÉ HIERRO

10	Forever EV3	Bal Bharati Public School
11	I.E.S.J. LOCKDOWN	INSTITUTO EPISCOPAL SAN JOSE
12	Jeniffer	Ort Givat Ram
13	KANADE	DAISEN Electronic Industrial Co.Ltd (関西ブロック)
14	KAVOSH - Danesh	Danesh high school
15	kavosh ghalam	Ghalam High School
16	KKCH	Srednja šola za strojništvo mehatroniko in medije
17	Miaoli	National Miaoli Senior High School
18	Mustabot	Fundación Mustakis
19	NiceBit	HUNGARIAN BAPTIST AID
20	Norbot	Robótica del Norte
21	OBEC	Banna Nayokpitthayakorn School /TOA School
22	PanaRobots	Gymnazium Tvrdosin
23	Prenton High School	Prenton High School
24	ProBot	Gymnasium Weingarten
25	PT Scout	St George Christian School
26	Robo X	Shiv Nadar School
27	ROBOCHEFS	Science Training Center
28	RoboRush	SD Muhammadiyah 4 Surabaya
29	ROBOTEC GB	Unidade de tecnologia na Educação Gregório Bezerra
30	Root 3	Storming Robot
31	SAINTS2	St. Andrew's College
32	ShenZhen Experimental School	Shenzhen Experimental School
33	SKY Crew	Koishikawa Secondary Education School (関東ブロック)
34	SQUARE	Fukui Robo SQUARE (岐阜ブロック)
35	STAR OV LARVIC	Universidad Católica "San Pablo"
36	STORM	Agrupamento de Escolas de S. Gonçalo
37	Team Pcmasterrace	Bukit Panjang Government High School
38	ULP Rescate Linea	ULP

Maze (メイズ)

	チーム名	所属
1	Back	Etapa Educacional Ltda
2	Clex-Code	Liuzhou TieYi Middle school
3	HuangPu	Shanghai HuangPu Robot Club
4	KAVOSH - Danesh	Danesh high school
5	Labyrinthos	C.S. Robotics Creative Center
6	Phlegmatic 3	HTL Zeltweg
7	Proto TXJ	CEMFIM
8	Rescue Maze Galilei	Liceo scientifico "Galileo Galilei" Trento
9	RoboDarwin	Lovbot Education
10	RoBorregos	Instituto Tecnológico y de Estudios Superiores de Monterrey - Campus Monterrey
11	Robot Masters	Hönö Hackers
12	RoM	Werner-von-Siemens-Gymnasium Magdeburg
13	Samovar	Presidential physical-mathematical Lyceum 239
14	SERŠ TEAM	SERŠ Maribor
15	SGALMARONI	ISTITUTO TECNICO "SILVIO DE PRETTO" - SCHIO (VI)
16	Tamagawa Science	Tamagawa Academy (関東ブロック)
17	Technology Oriented	Wazashikou (埼玉ブロック)
18	TeenTechnic	Kid Technic
19	The Beings	Storming Robot
20	TPA	Rongkham School
21	ULP Rescate Laberinto	ULP
22	Yazaki Croatia	Croatian robotic association

CoSpacePrimary (コススペースプライマリ)

	チーム名	所属
1	CRO Twins	Croatian robotic association
2	EJGO	Shenzhen Dadalele
3	ESLAM B	Iran Technical & Vocational Training Organization
4	Hayabusa	Junior Association of future Scientists (中丹南丹ブロック)
5	Legend	Korea Fun Club
6	Leones CCC	Colegio Cristóbal Colón
7	OEG-Pikachu	Ökumenisches Gymnasium zu Bremen
8	Spartonics	Young Leaders Egypt
9	Team Pei Hwa	Pei Hwa Secondary School
10	Winners	winners club

CoSpaceSecondary(コススペースセカンダリ)

チーム名	所属
1 Barcelinhos Robotics Club	Escola Secundária de Barcelinhos
2 County Upper	County Upper School
3 Ducati komponenti CRO team	Croatian robotic association
4 Electron	Numazu Technical High School (静岡ブロック)
5 Formosa	winner's club
6 KCUP-2	TUSUR University
7 NEP Team	Anshan Youth Robot Association
8 OpenSky Prime	Colegio Santa Bartolomea Capitanio
9 Playwell	Korea Fun Club
10 RS-Tronic	Netica Jalisco
11 SERŠ TEAM	SERŠ Maribor
12 Sina	Aboualisina Educational Complex
13 Sonny	Istituto Tecnico 'Archimede' - Catania
14 Talentum	Talentum Foundation
15 YTAAlpha	Yishun Town Secondary School

OnStage (オンステージ)

Primary(プライマリ)

チーム名	所属
1 Agents 004	Cedar Hill Prep School
2 Baldwin Boys	Baldwin Boys High School
3 Eburg Style	MAU DO DDT Oktyabrsky district Ekaterinburg
4 Explosivi	ASD DreamPuzzle
5 Gebruder Weiss CRO team	Croatian robotic association
6 GT Star	Hönö Hackers
7 Hornbots Bremen	Ökumenisches Gymnasium zu Bremen
8 Jaguar Baby	Escola Municipal Rubens Machado
9 Milk Way Team	AYRA & MARS
10 PET 1	Pierre Elliot Trudeau Primary
11 Queen B	Ron Vardi Center
12 ROBOTTEENS POKEMON	Escuela Secundaria Técnica No. 64 "Jaime Sabines Gutiérrez"
13 SMART ROBOT	Agrupamento de Escolas de S. Gonçalo
14 Snake Charmer	Gymnazium Nove Zamky
15 Snow Freaks	NMS Nenzing
16 Super No Name Bot	COLEGIO SAN VICENTE DE PAUL
17 THE GRATEFUL CRANE	KODO KIDS STATION (関東ブロック)
18 Think Tree	Playsteam
19 Volcanic	Cuddle Science

Secondary(セカンダリ)

チーム名	所属
1 C-137	Central Coast Grammar School
2 Equipe Jaguar	IFRJ - Campus Volta Redonda
3 Erasmus Heroes	Hofors Kommun
4 HumanDroid	IIS Cobiانchi - Elettra Robotics Lab
5 iBots	Lessing-Gymnasium Neu-Ulm
6 JANAF Croatian team	Croatian robotic association
7 LHEN-Dance	Nuestra Señora de la Asunción
8 Master Minds	Akshara Foundation
9 Minioms Dance Colindres	IES Valentín Turienzo
10 NORMAL	KOGANE junior high school (関東ブロック)
11 Ohyzdi	Gymnazium VPT Martin
12 RD-FIVE	Szent Laszlo Secondary School
13 RGB	Playsteam
14 RoboART	Dvojezična srednja šola Lendava
15 Salsa Girlz	Ron Vardi Center
16 SELDON	ITMO University
17 Taipei American School	Taipei American School
18 Team Kanto	Centro de Investigación y Desarrollo de Educación Bilingüe
19 The Eevee Queen	COLEGIO SAN VICENTE DE PAUL
20 The Eighth Unlimit Team	Chongqing No.8 Secondary School
21 The Powerpuff Girls	Mindz Center

11-9-2 表彰チーム一覧

RoboCupSoccer

ロボカップサッカー

Humanoid League (ヒューマノイドリーグ)

KidSize (キッドサイズ)

賞	チーム名	所属
1st Place	Rhoban Football Club	University of Bordeaux
2nd Place	ZJUDancer	Zhejiang University
3rd Place	CIT Brains	Chiba Institute of Technology (千葉工業大学)
Technical Challenge 1st Place	CIT Brains	Chiba Institute of Technology (千葉工業大学)
Technical Challenge 2nd Place	MRL-HSL	Qazvin Islamic Azad University
Technical Challenge 3rd Place	Rhoban Football Club	University of Bordeaux
Drop-In Challenge 1st Place	Rhoban Football Club	University of Bordeaux
Drop-In Challenge 2nd Place	ZJUDancer	Zhejiang University
Drop-In Challenge 3rd Place	CIT Brains	Chiba Institute of Technology (千葉工業大学)

TeenSize (ティーンサイズ)

賞	チーム名	所属
1st Place	NimbRo TeenSize	University of Bonn
2nd Place	HuroEvolutionTN	National Taiwan University of Science and Technology
3rd Place	AUTMan	Amirkabir University of Technology University of Manitoba
Technical Challenge 1st Place	NimbRo TeenSize	University of Bonn
Technical Challenge 2nd Place	ROBIT	Kwangwoon University
Technical Challenge 3rd Place	AUTMan	Amirkabir University of Technology University of Manitoba
Drop-In Challenge 1st Place	NimbRo TeenSize	University of Bonn
Drop-In Challenge 2nd Place	WF Wolves & Taura Bots	Ostfalia University of Applied Sciences

AdultSize (アダルトサイズ)

賞	チーム名	所属
Soccer Competition 1st Place	NimbRo AdultSize	University of Bonn
Soccer Competition 2nd Place	Sweaty	Offenburg University of Applied Science
Soccer Competition 3rd Place	IRC	Islamic Azad University of Ilkhichi
Technical Challenge 1st Place	NimbRo AdultSize	University of Bonn
Technical Challenge 2nd Place	Tsinghua Hephaestus	Tsinghua University
Technical Challenge 2nd Place	Team KIS	Chiba Institute of Technology (千葉工業大学)

Humanoid共通

賞	チーム名	所属
Best Humanoid Robot 1st Place	Rhoban Football Club	University of Bordeaux
Best Humanoid Robot 2nd Place	NimbRo AdultSize	University of Bonn
Best Humanoid Robot 3rd Place	NimbRo TeenSize	University of Bonn

Standard Platform League (スタンダードプラットフォームリーグ)

賞	チーム名	所属
Champions Cup 1st Place	B-Human	University of Bremen German Research Center for Artificial Intelligence
Champions Cup 2nd Place	Nao-Team HTWK	Leipzig University of Applied Sciences
Champions Cup 3rd Place	Nao Devils Dortmund	Technical University of Dortmund
Challenge Shield 1st Place	Camellia Dragons	Aichi Prefectural University (愛知県立大学)
Challenge Shield 2nd Place	Berlin United -NaoTH	Humboldt University Berlin
Challenge Shield 3rd Place	UPennalizers	University of Pennsylvania
Mixed Team Tournament 1st Place	B-HULKS	B-Human HULKS
Mixed Team Tournament 2nd Place	DoBerMan	Berlin United - NaoTH Nao Devils Dortmund

Middle Size League (中型ロボットリーグ)

賞	チーム名	所属
1st Place	Water	Beijing Information Science & Technology University
2nd Place	Tech United	Eindhoven University of Technology
3rd Place	CAMBADA	University of Aveiro
Technical Challenge 1st Place	Falcons	ASML
Technical Challenge 2nd Place	Water	Beijing Information Science & Technology University
Technical Challenge 3rd Place	Nubot	National University of Defense Technology
Science/Eng Challenge 1st Place	Tech United	Eindhoven University of Technology
Science/Eng Challenge 2nd Place	CAMBADA	University of Aveiro
Science/Eng Challenge 3rd Place	Nubot	National University of Defense Technology

Small Size League (小型ロボットリーグ)

賞	チーム名	所属
1st Place	SRC	Seer Robotics Club
2nd Place	ER-Force	Friedrich-Alexander University Erlangen-Nürnberg (FAU)
3rd Place	ZJUNlict	Zhejiang University
Technical Challenge 1st Place	TIGERs Mannheim	Cooperative State University Mannheim
Technical Challenge 2nd Place	ER-Force	Friedrich-Alexander University Erlangen-Nürnberg (FAU)
Technical Challenge 3rd Place	STOX's	Santo Tomas University
Open Source/Hardware Award	TIGERs Mannheim	Cooperative State University Mannheim
Best ETDP	TIGERs Mannheim	Cooperative State University Mannheim

Simulation 2D (2Dシミュレーション)

賞	チーム名	所属
1st Place	HELIOS2017	Fukuoka University (福岡大学) Osaka Prefecture University (大阪府立大学)
2nd Place	FRA-UNltd	Frankfurt University of Applied Sciences
3rd Place	Oxxy	Compa-IT
Evaluation Challenge 1st Place	Alice	Hefei Normal University

Simulation 3D (3Dシミュレーション)

賞	チーム名	所属
1st Place	UT Austin Villa 3D	University of Texas at Austin
2nd Place	magmaOffenburg	Offenburg University of Applied Science
3rd Place	FUT-K	Fukui University of Technology (福井工業大学)
Technical Challenge 1st Place	UT Austin Villa 3D	University of Texas at Austin
Technical Challenge 2nd Place	magmaOffenburg	Offenburg University of Applied Science
Technical Challenge 3rd Place	AIUT3D	Isfahan University of Technology
Scientific/Free Challenge 1st Place	UT Austin Villa 3D	University of Texas at Austin
Scientific/Free Challenge 2nd Place	BahiaRT	Bahia State University
Scientific/Free Challenge 3rd Place	magmaOffenburg	Offenburg University of Applied Science
Passing and Scoring Challenge 1st Place	UT Austin Villa 3D	University of Texas at Austin
Passing and Scoring Challenge 2nd Place	FCPortugal	University of Aveiro University of Porto University of Minho
Passing and Scoring Challenge 3rd Place	AIUT3D	Isfahan University of Technology
Gazebo Challenge 1st Place	UT Austin Villa 3D	University of Texas at Austin
Gazebo Challenge 2nd Place	magmaOffenburg	Offenburg University of Applied Science
Gazebo Challenge 3rd Place	AIUT3D	Isfahan University of Technology
		University of Aveiro
	FCPortugal	University of Porto University of Minho

RoboCupRescue ロボカップレスキュー

Robot League (ロボットリーグ)

賞	チーム名	所属
1st Place	YRA	Islamic Azad University of Yazd
2nd Place	iRap Robot	King Mongkut's University of Technology North Bangkok
3rd Place	MRL	Qazvin Islamic Azad University
Best in Class Exploration	YILDIZ	Yildiz Technical University
Best in Class Dexterity	Shinobi	Kyoto University (京都大学)
Best in Class Mobility	iRap Robot	King Mongkut's University of Technology North Bangkok
Best MicroAerial Robot	HECTOR DARMSTADT	Technical University of Darmstadt
Best Outdoor CarryBot	YILDIZ	Yildiz Technical University

Simulation League (シミュレーションリーグ)

賞	チーム名	所属
Agent Competition 1st Place	MRL_RSL	Qazvin Islamic Azad University
Agent Competition 2nd Place	Aura	University of Tabriz
Agent Competition 3rd Place	RoboAKUT	Bogazici University
Technical Challenge 1st Place	Aura	University of Tabriz
Technical Challenge 2nd Place	MRL_RSL	Qazvin Islamic Azad University
Technical Challenge 3rd Place	RoboAKUT	Bogazici University
Virtual Robot Contest 1st Place	YILDIZ	Yildiz Technical University
Virtual Robot Contest 2nd Place	SOSVR	Amirkabir University of Technology
Infrastructure Oeuvre Award	Hinomiyagura	Chukyo University (中京大学) Meijo University (名城大学)

Rapidly Manufactured Robot Competition (ラピッドリーマニュファクチャードロボット競技)

賞	チーム名	所属
1st Place	S.A.R.T	St Francis Xavier College
2nd Place	Blue Storm	Mercersburg Academy
3rd Place	TUPAC	Tokyo Metropolitan College of Industrial Technology (東京都立産業技術高等専門学校)
Open Source Software Award	S.A.R.T	St Francis Xavier College

RoboCup@Home ロボカップ@ホーム

Open Platform League (オープンプラットフォームリーグ)

賞	チーム名	所属
1st Place	homer@UniKoblenz	University of Koblenz-Landau
2nd Place	Tech United Eindhoven	Eindhoven University of Technology
3rd Place	ToBI(Team of Bielefeld)	Bielefeld University

Domestic Standard Platform League (ドメスティックスタンダードプラットフォームリーグ)

賞	チーム名	所属
1st Place	Hibikino-Musashi@Home SPL	Kyushu Institute of Technology (九州工業大学)
		Tamagawa University (玉川大学)
2nd Place	eR@sers	National Institute of Informatics (国立情報学研究所)
		National Institute of Information and communications Technology (情報通信研究機構)
3rd Place	UT Austin Villa	University of Texas at Austin

Social Standard Platform League (ソーシャルスタンダードプラットフォームリーグ)

賞	チーム名	所属
1st Place	AUPAIR	Seoul National University
2nd Place	UTS Unleashed!	University of Technology Sydney
		University of Rome La Sapienza
3rd Place	SPQReL	University of Lincoln

RoboCup@Home共通 (ロボカップ@ホーム共通)

賞	チーム名	所属
Best Human-Robot Interface Award	UTS Unleashed!	University of Technology Sydney
Best in Navigation	O.I.T. Trial	Osaka Institute of Technology (大阪工業大学)
Best in Manipulation	WrightEagle@Home	University of Science and Technology of China
Best in Speech understanding	Pumas	National Autonomous University of Mexico
Best Scientific Poster	Alle@Home	Technical University Muenchen
		Tamagawa University (玉川大学)
Open Source Software Award	eR@sers	National Institute of Informatics (国立情報学研究所)
		National Institute of Information and communications Technology (情報通信研究機構)

RoboCupIndustrial ロボカップインダストリアル

RoboCupLogistics League (ロボカップロジスティクスリーグ)

賞	チーム名	所属
1st Place	Carologistics	RWTH Aachen University
2nd Place	GRIPS	Graz University of Technology
3rd Place	Solidus	HFTM Switzerland
Technical Challenge 1st Place	Carologistics	RWTH Aachen University

RoboCup@Work League (ロボカップ@ワークリーグ)

賞	チーム名	所属
1st Place	AutonOHM	Nuremberg Institute of Technology Georg Simon Ohm
2nd Place	robOTTO	Otto von Guericke University Magdeburg
3rd Place	LUHBots	Leibniz University Hannover

RoboCupJunior ロボカップジュニア

Soccer (サッカー)

Light Weight Primary (ライトウェイトプライマリ)

賞	チーム名	所属
World Champion	Team Takahama Robots	Takahama Yume Mirai-jyuku (東海ブロック)
2nd Place	Apex	Taipei Highschool League
3rd Place	RoboZero	Lovbot Education
Best Presentation	Ball Busters	Independent (Ball Busters)
Best Individual Games Team	ESLAM	Iran Technical & Vocational Training Organization
Best Team Spirit	NANYANG 1	Nanyang Primary School
SuperTeam World Champion	CroAdriatic	Croatian robotic association
	AGSG 3	Agrupamento de Escolas de S. Gonçalo
	TNT-reloaded	BG/BRG St. Pölten
	ESLAM	Iran Technical & Vocational Training Organization

Light Weight Secondary (ライトウェイトセカンダリ)

賞	チーム名	所属
World Champion	Bodenseekrokodile	Gymnasium im Bildungszentrum Markdorf
2nd Place	Format	BRG Kepler
3rd Place	LJ Stand	Brisbane Boys' College
Best Presentation	Helli5	Iran Technical & Vocational Training Organization
Best Individual Game Performance	UGAMM_Soccer	União Geral das Associações dos Moradores de Macau
Best Innovation	XLC-Padawans	Basic school Topolčany at Primary school Tribečská 1653/22 Topolčany
Best Robot Design	SPQR	ITIS Galileo Galilei Roma
Best Team Spirit	SLO BOT	ŠC Ptuj Elektro in računalniška šola
SuperTeam World Champion	Skolska knjiga Croatia	Croatian robotic association
	Helli5	Iran Technical & Vocational Training Organization
	LJ Stand	Brisbane Boys' College
	LARES	Anyang United Robot Club
Best SuperTeam Integration	Bodenseekrokodile	Gymnasium im Bildungszentrum Markdorf
	Poker Face	Taipei Highschool League
	Munako Tsukuyomi	Munakata High School (九州ブロック)
	CHS KEPLER	COMPFAUS

Open (オープン)

賞	チーム名	所属
World Champion	INPUT	National Institute of Technology Nagaoka College (北信越ブロック)
2nd Place	Bend it Like Beckohm	Independent (Bend It Like Beckohm)
3rd Place	AEIOU	BRG Kepler
Best Presentation	Compotes	United School of Saint Francis of Assisi
Best Individual Game Performance	EMM_Soccer	Escola dos Moradores de Macau
Best Innovation	Shlomzion Hamalka	Ohel Sham HS
Best Robot Design	Mega Hertz	IIS Cobiانchi – Elettra Robotics Lab
Best Team Spirit	Skyнет	Netica Jalisco
SuperTeam World Champion	STORMTROOPERS	Universidad Católica "San Pablo"
	RoboRevenge	Lovbot Education
	INPUT	National Institute of Technology Nagaoka College (北信越ブロック)
	First V	The Scots College

RoboCupJunior ロボカップジュニア

Rescue (レスキュー)

Line(ライン)

賞	チーム名	所属
World Champion	KAVOSH - Danesh	Danesh high school
2nd Place	Dalian No.8 Senior High & Hefei iHammer Robot	Dalian No.8 Senior High School
3rd Place	SKY Crew	Koishikawa Secondary Education School (関東ブロック)
Best Hardware Solution	SQUARE	Fukui Robo SQUARE (岐阜ブロック)
Best Software Programming	Croatian robotic association	Croatian robotic association
Best Victim Rescue Solution	SKY Crew	Koishikawa Secondary Education School (関東ブロック)
Best Presentation	FAILEROS 72	IES JOSÉ HIERRO
Best Team Spirit	Root 3	Storming Robot
SuperTeam World Champion	KAVOSH - Danesh STORM	Danesh high school Agrupamento de Escolas de S. Gonçalo

Maze(メイズ)

賞	チーム名	所属
World Champion	Yazaki Croatia	Croatian robotic association
2nd Place	Technology Oriented	Wazashikou (埼玉ブロック)
3rd Place	RoBorregos	Instituto Tecnológico y de Estudios Superiores de Monterrey – Campus Monterrey
Best Software Programming	Rescue Maze Galilei	Liceo científico "Galileo Galilei" Trento
Best Rescue Engineering Strategy	The Beings	Storming Robot
Best Innovation	TeenTechnic	Kid Technic
Best Presentation	KAVOSH - Danesh	Danesh high school
Best Team Spirit	SERŠ TEAM	SERŠ Maribor
SuperTeam World Champion	RoM TPA	Werner-von-Siemens-Gymnasium Magdeburg Rongkham School

CoSpace Primary(コススペースプライマリ)

賞	チーム名	所属
World Champion	Legend	Korea Fun Club
2nd Place	Team Pei Hwa	Pei Hwa Secondary School
3rd Place	Winners	winners club
Best Presentation	Leones CCC	Colegio Cristóbal Colón
Best Technical Challenge	Team Pei Hwa	Pei Hwa Secondary School

CoSpace Secondary(コススペースセカンダリ)

賞	チーム名	所属
World Champion	YTAIpha	Yishun Town Secondary School
2nd Place	Talentum	Talentum Foundation
3rd Place	Formosa	winners club
Best Technical Presentation	County Upper	County Upper School
Best Technical Challenge	YTAIpha	Yishun Town Secondary School

CoSpace共通(コススペース共通)

賞	チーム名	所属
Novice Team	ESLAM B	Iran Technical & Vocational Training Organization
	Legend	Korea Fun Club
SuperTeam World Champion	Sina	Aboualisina Educational Complex
	YTAIpha	Yishun Town Secondary School

RoboCupJunior ロボカップジュニア

OnStage (オンステージ)

Primary (プライマリ)

賞	チーム名	所属
World Champion	SMART ROBOT	Agrupamento de Escolas de S. Gonçalo
2nd Place	Snow Freaks	NMS Nenzing
3rd Place	Eburg Style	MAU DO DDT Oktyabrsky district Ekaterinburg
Best Construction and Programming	Queen B	Ron Vardi Center
Best Technical Demonstration	Think Tree	Playsteam
Best Stage Performance	Hornbots Bremen	Ökumenisches Gymnasium zu Bremen
SuperTeam World Champion	Snow Freaks Super No Name Bot	NMS Nenzing COLEGIO SAN VICENTE DE PAUL

Secondary (セカンダリ)

賞	チーム名	所属
World Champion	Team Kanto	Centro de Investigación y Desarrollo de Educación Bilingüe
2nd Place	iBots	Lessing-Gymnasium Neu-Ulm
3rd Place	The Eighth Unlimit Team	Chongqing No.8 Secondary School
Best Hardware Solution	Salsa Girlz	Ron Vardi Center
Best Technical Demonstration	C-137	Central Coast Grammar School
Best Programming	Taipei American School	Taipei American School
Best Stage Performance	NORMAL	KOGANE junior high school (関東ブロック)
SuperTeam World Champion	RGB HumanDroid RD-FIVE	Playsteam IIS Cobianchi – Elettra Robotics Lab Szent Laszlo Secondary School

Onstage共通 (オンステージ共通)

賞	チーム名	所属
Best Presentation	Volcanic	Cuddle Science
Best Team Collegiality	Equipe Jaguar	IFRJ - Campus Volta Redonda
Novice Team	SELDON	ITMO University

特別賞

賞	チーム名	所属
RoboCup Design Award	NimbRo	University of Bonn
Silvia Coradeschi Award	Padmaja Kulkarni(b-it-bots)	* RoboCup@Work League * Bonn-Rhein-Sieg University

11-10 大会関連記事一覧

■ 新聞

No.	日	掲載紙名	区分	タイトル	サブタイトル
1	2015.07.11	中日新聞		名古屋招致へ入念準備	17年ロボカップ19日、開催地決定
2	2015.07.16	読売新聞		ロボカップ招致副市長が中国へ	名古屋市
3	2015.07.20	中部経済新聞		17年ロボカップ名古屋開催決定	第1回以来20年ぶり
4	2015.07.20	中日新聞		ロボカップ世界大会名古屋に	17年サッカーや救命競う
5	2015.07.20	読売新聞		17年ロボカップ名古屋で	
6	2015.07.20	朝日新聞		ロボカップ2017名古屋で開催	
7	2015.07.20	毎日新聞		名古屋ロボカップ決定	2017世界大会
8	2015.07.20	日本経済新聞		17年のロボット世界競技会	名古屋市で開催決定
9	2015.07.20	毎日新聞	電子版	ロボカップ:名古屋に決定 2017年世界大会	
10	2015.07.22	日刊工業新聞		自律移動ロボ国際サッカー大会	名古屋で17年7月
11	2015.07.24	福井新聞	電子版	ロボカップで世界2位、福井工大 日本チーム初、サッカー3D部門	
12	2015.08.08	毎日新聞		「ロボカップジュニア」で世界3位	高浜市立南中の2人 市長祝福に「来年は優勝目指す」
13	2015.08.29	朝日新聞	電子版	京都)ロボカップ世界大会、京都の高校生コンビが優勝	
14	2015.10.02	日本経済新聞		ロボコンに熱視線	小学生も合宿に、技術学ぶ 「問題解決力や論理的思考育む」
15	2015.12.16	朝日新聞		ロボカップ開催委発足	
16	2015.12.16	中日新聞		ロボカップPRに力	開催委総会 17年世界大会向け
17	2015.12.16	読売新聞		ロボカップ開催委を設立	17年、世界大会 名古屋で総会
18	2015.12.16	毎日新聞		「ロボカップ」の開催委設立総会	名古屋
19	2015.12.16	中部経済新聞		ロボカップ成功へ連携	名古屋市など開催委が設立総会
20	2015.12.25	中京スポーツ		ロボカップ`選手、登場	
21	2016.02.09	中部経済新聞		名古屋市に誘致決まる	来年度の人工知能学会大会
22	2016.03.24	日本経済新聞		ロボカップ事業計画協議	名古屋市役所で開催委
23	2016.04.01	中日新聞		「世界ロボカップ」ロゴ発表	愛工大で開催委 来年に名古屋大会
24	2016.04.21	中日新聞		見所満載名古屋の観光と産業	
25	2016.06.12	朝日新聞		ロボ開発赤ちゃんがヒント	
26	2016.07.03	日本経済新聞	電子版	トヨタ、家庭用ロボ量産 高齢者の生活補助・介護向け	19年度にも
27	2016.07.14	日本経済新聞	電子版	ロボカップ20年、トヨタが狙う家庭の標準機	
28	2016.07.15	日本経済新聞	電子版	アマゾンロボ競技会 日本、「問題設定力」に敗因	
29	2016.07.17	日本経済新聞	電子版	インダストリー4.0を進化させる「生物模倣」	独機械フェストの挑戦
30	2016.08.07	中日新聞		ロボカップ世界大会で3位	
31	2016.08.25	中日新聞		ロボカップ快挙を報告	世界大会3位中学生2人、市長に
32	2016.09.14	日刊工業新聞		ロボ五輪2020年への道 1	業界挙げて社会に発信 3分野+ジュニア種目で熱戦
33	2016.09.30	中日新聞		名古屋で来年7月世界青少年発明展	
34	2016.10.14	日刊工業新聞		ロボット発産業革命 52	学から広がる競技会コミュニティー 社会実装視野、技術の集積・連動を
35	2016.10.18	中日新聞		国内初ワールドロボットサミット	20年県内誘致表明
36	2016.10.18	中部経済新聞		最先端ロボ技術を解説	来月16日吹上ホールでシンポ
37	2016.11.25	中部経済新聞		「ロボット館」市長視察	産業けん引を期待 ダイドー
38	2016.12.11	中日新聞		自作ロボ小中高生競う	名古屋で東海ブロック大会
39	2016.12.21	中日新聞		第13回中央日本交流・連携サミット	子ども応援する教育を
40	2017.01.01	日刊工業新聞		ロボカップ2017世界大会の開催	
41	2017.01.01	毎日新聞		「ロボカップ2017名古屋世界大会」開催	
42	2017.01.04	中日新聞		賀正 中部のトピック	「ロボカップ2017名古屋世界大会」開催
43	2017.01.04	中日新聞		2017年本社事業イベントカレンダー	
44	2017.01.17	朝日新聞		中小企業支援産業振興にも	新年度予算案
45	2017.01.21	中日新聞		ロボカップ盛り上げよう	栄で28、29日大会半年前イベント
46	2017.01.25	読売新聞		ロボサッカー世界に挑む	県立大学生チーム
47	2017.01.25	中日新聞		ロボカップ「絶対世界へ」	大治中全国突破へ入念準備
48	2017.01.29	朝日新聞		「ロボカップ」PRイベント	名古屋、展示や工作
49	2017.01.29	中日新聞		ロボット技術見に来て	ロボカップ半年前栄でイベント開幕
50	2017.02.13	中日新聞		愛知県税収減り基金枯渇	新年度予算案 総額4年ぶり減
51	2017.02.14	中部経済新聞		次世代産業に133億円	愛知県の17年度予算案
52	2017.02.14	毎日新聞		県一般会計 2兆5209億円	新年度予算案
53	2017.02.14	朝日新聞		円高の影 県予算案0.2%減	主な事業

No.	日	掲載紙名	区分	タイトル	サブタイトル
54	2017.02.16	中日新聞		子育て、都市整備に重点	市、17年度予算案 観光関連など市長色濃く
55	2017.02.16	朝日新聞		教育・保育 子ども施策手厚く	名古屋市予算案 7.9%増 1兆1711億円
56	2017.02.16	日刊工業新聞		中小支援助成を拡充	名古屋市、新事業向け融資
57	2017.02.16	中部経済新聞		産業振興に784億円	名古屋市の新年度予算 都市の魅力を発信
58	2017.02.16	日本経済新聞		さらなる躍進に向け地盤固める	ますます期待高まる中部圏の未来
59	2017.02.21	中日新聞		「ロボット産業拠点」目標	県議会開会、知事が宣言
60	2017.02.21	中部経済新聞		新たな産業システム模索	ロボカップ名古屋世界大会の一環
61	2017.03.21	中日新聞		7月のロボカップ世界大会	ボランティアを募集
62	2017.03.29	日刊工業新聞		働く現場を変えるロボット産業	ロボカップ2017名古屋世界大会開催7月27日から
63	2017.03.31	中日新聞		ロボカップ2017名古屋世界大会	*広告
64	2017.03.31	中日新聞		夏のロボカップ入場券 3日発売	名古屋世界大会
65	2017.04.04	中部経済新聞		入場チケット販売開始	ロボカップ名古屋世界大会
66	2017.04.05	中日新聞		ロボサッカー 高浜から世界へ	全国Vの中学生コンピ
67	2017.04.14	中日新聞		条件緩めて募集延長	ロボカップボランティア
68	2017.04.18	中日新聞		豊田章一郎さんらものづくり講演会	
69	2017.04.18	日本経済新聞		豊田佐吉生誕150年	記念イベント開催 愛知県
70	2017.04.18	日刊工業新聞		豊田佐吉生誕150周年	孫の章一郎氏(トヨタ名誉会長)が登壇
71	2017.04.21	中日新聞		未来に向けて名古屋の観光と産業	
72	2017.05.01	中日新聞		ロボカップ2017名古屋世界大会	前売り券発売中
73	2017.05.05	中日新聞		ロボット集結能力競う	名城大など会場 国内外47チーム
74	2017.05.12	日経産業新聞		名古屋でロボコン	アマゾン 7月、国内外から16チーム
75	2017.05.23	産経ニュース	電子版	レスキューロボ「FUHGA」公開災害時の安否確認などに活用	7月世界大会出場へ
76	2017.06.13	日本経済新聞	電子版	ロボカップ2017、共通ロボットに「HSR」	
77	2017.06.14	読売新聞		ロボカップ 名古屋で再び	来月、世界大会 競技や技術披露
78	2017.06.14	日刊工業新聞		来月名古屋で「ロボカップ」	家庭用標準機、会話力競う
79	2017.06.14	中部経済新聞		名古屋大会成功で先端技術の集積を	ロボカップ開催委が会見
80	2017.06.14	中日新聞		AI 決戦へ 練習お披露目	来月 名古屋でロボカップ
81	2017.06.14	日本経済新聞		共通ロボットに「HSR」	ロボカップ2017
82	2017.06.14	朝日新聞		ロボカップの詳細決定	ロボカップ
83	2017.06.15	中日新聞		ロボカップ2017名古屋世界大会 記念フォーラム	
84	2017.06.19	読売新聞		サッカーロボ最終調整	来月、世界大会 3チームが練習試合
85	2017.05.29	中日新聞(夕)		災害救助ロボ遺志継ぎ進め	阪神大震災で犠牲 名古屋の競さん
86	2017.05.31	日刊工業新聞		“地元開催”優勝狙う 三菱電・中部大・中京大チーム	名古屋でピッキング作業競技世界大会
87	2017.07.02	中日新聞		ロボカップ競技大会	栄に動画視聴コーナー
88	2017.07.03	中日新聞		ロボカップ2017名古屋世界大会	*広告
89	2017.07.06	東京新聞(夕)		ロボカップ2017名古屋世界大会	
90	2017.07.09	中日新聞		この人	ロボカップに携わって20年名古屋大会に臨む 名城大教授 高橋友一さん
91	2017.07.10	産経新聞		AI 競技で進化、賢く優しく	開発進む生活支援ロボット
92	2017.07.14	中日新聞		ロボカップ2017名古屋世界大会	*広告
93	2017.07.16	中日新聞		ロボカップ前に記念フォーラム	名古屋
94	2017.07.18	中部経済新聞		創造性持つ技術者育成へ	ダイドーロボット館 市立工高の生徒が見学
95	2017.07.19	日刊工業新聞		ロボカップ名古屋	40カ国・地域388チーム参戦
96	2017.07.19	読売新聞		ロボカップ2017名古屋世界大会	*広告
97	2017.07.20	中日新聞		ロボットのいる世界	気配り 進化途上
98	2017.07.20	中日新聞		ロボットのいる世界	弱点補い機能を充実 ペッパーを育てる
99	2017.07.21	日刊工業新聞		ロボカップ 名古屋 開催 27-30日	
100	2017.07.21	中日新聞		ロボットのいる世界	トヨタの思想
101	2017.07.22	中日新聞		ロボットのいる世界	アマゾンの倉庫
102	2017.07.23	朝日新聞		科学の扉	ロボサッカー進化20年
103	2017.07.24	毎日新聞		ロボカップ2017名古屋世界大会	*広告
104	2017.07.25	朝日新聞		ロボカップ2017名古屋世界大会	*広告
105	2017.07.25	中日新聞		ロボット最新技術 体験	市立工高生、中村の施設で
106	2017.07.25	中部経済新聞		ロボカップ来場10万人目指す	河村市長会見
107	2017.07.26	日刊工業新聞		ロボカップ2017名古屋世界大会あす開幕	(1P特集)
108	2017.07.26	日刊工業新聞		サッカーもお手の物	
109	2017.07.26	中日新聞		ロマン新起動	

No.	日	掲載紙名	区分	タイトル	サブタイトル
110	2017.07.26	中日新聞		ロボカップ名古屋明日開幕	ロボットやAIの未来を見据える(2P特集)
111	2017.07.26	読売新聞(夕)		ロボサッカー劇的進化	AI戦術ミラン並み 試合状況 瞬時に認識
112	2017.07.27	中日新聞		ロボカップ名古屋世界大会	県勢最高の舞台へ意気込み
113	2017.07.27	中日新聞		AIサッカー 実力は?	ロボカップ名古屋開幕
114	2017.07.27	日経産業新聞		AIなど活用 技術競う	ロボカップきょう開幕
115	2017.07.27	日刊工業新聞		ロボカップ開会式名古屋	5分野・26サブリーグで技術競う
116	2017.07.27	日刊工業新聞		ロボカップ世界大会	ロボット技術の進化に注目を
117	2017.07.27	中部経済新聞		ロボカップ世界大会開幕	名古屋に400チーム集結
118	2017.07.27	読売新聞		戦術プロ並み ロボサッカー	AI進化で実力急上昇
119	2017.07.27	日本経済新聞		「ロボカップ」名古屋で開幕	サッカー・救助40カ国で競う
120	2017.07.27	東京新聞(夕)		名古屋でロボカップの世界大会開幕	
121	2017.07.27	日本経済新聞(夕)		サッカーだって滑らかに	ロボカップ名古屋で開幕
122	2017.07.27	中日新聞(夕)		レスキュー世界のロボ躍動	名古屋・競技始まる
123	2017.07.27	朝日新聞(夕)		ロボカップ名古屋世界大会	
124	2017.07.27	朝日新聞(夕)		目指せロボ世界一	
125	2017.07.27	毎日新聞(夕)		ロボカップ20年ぶり名古屋で開幕	AI判断自らシュート
126	2017.07.28	読売新聞		AIロボ荷さばき競う	アマゾンが大会
127	2017.07.28	中日新聞		ロボ技術名古屋で競う	世界大会開幕発明工夫展も
128	2017.07.28	中日新聞		燃料電池バスの体験乗車会開催	ロボカップ会場、きょうから
129	2017.07.28	中日新聞		産業ロボ右肩上がり	中部社研試算25年に1.8倍、「中国攻略を」
130	2017.07.28	中日新聞		商品出し入れ正確に	アマゾン子会社主催きょうから競技
131	2017.07.28	中部経済新聞		窓	
132	2017.07.28	日経産業新聞		ソニーコンピュータサイエンス研究所社長	ロボカップ、新技術導く
133	2017.07.28	中部経済新聞		388チーム3千人5種目で熱戦	「ロボカップ」競技開始
134	2017.07.28	毎日新聞		昨日の夕刊から	「ロボカップ」名古屋で開幕
135	2017.07.28	朝日新聞		介護お助けロボ続々	名古屋で展示会
136	2017.07.28	日刊工業新聞		トヨタ名誉会長	豊田章一郎氏ロボカップ視察
137	2017.07.28	日刊工業新聞		子ども向け展示目立つ	ロボカップ併催展三菱電機など出展
138	2017.07.29	中日新聞		ものづくり現場感覚で	名古屋豊田章一郎氏が講演
139	2017.07.29	中日スポーツ		ロボカップ2017名古屋世界大会	*広告
140	2017.07.29	中部経済新聞		現場現物で感性磨け	「愛知発明の日」記念
141	2017.07.29	毎日新聞		「産業構造大きく変化」	豊田名誉会長が講演
142	2017.07.31	毎日新聞		ロボカップ日本勢も活躍	名古屋世界大会閉幕
143	2017.07.31	日本経済新聞		ロボ技術見せた競った	名古屋のロボカップ閉幕 家事支援、九州工大がV
144	2017.07.31	中日新聞		技術の進歩暫いロボカップ閉会	
145	2017.07.31	中部経済新聞		ロボカップが閉幕	
146	2017.07.31	中部経済新聞		「愛知発明の日」記念講演	トヨタ自動車豊田章一郎名誉会長
147	2017.08.03	日刊工業新聞		蘭ロボ視察団来日 連携を模索	
148	2017.08.19	日刊自動車新聞		ロボット工学とAIを融和	ロボカップ2017
149	2017.08.27	日本経済新聞		サッカーロボ連携巧み	AIが戦略判断、進化着々

■ テレビ

No.	日	放送局名	番組名	タイトル等	備考
1	2016.03.27	メ〜テレ	UP!	ロボカップジャパンオープン開催	
2	2016.08.03	メ〜テレ	おもてなし隊なごや	なごやサイエンスパーク	市政情報番組
3	2016.08.24	NHK	ほっとイブニング	ロボカップ2016世界大会入賞チームによる市長表敬訪問について	
4	2016.08.24	CBC	イッポウ	ロボカップ2016世界大会入賞チームによる市長表敬訪問について	
5	2016.08.24	東海テレビ	みんなのニュースONE	ロボカップ2016世界大会入賞チームによる市長表敬訪問について	
6	2016.11.24	テレビ愛知	ゆうがたサテライト	河村市長 最新ロボット技術に触れる	
7	2016.11.24	メ〜テレ	メ〜テレニュース	名古屋の産業用ロボット展示施設 河村市長が視察	
8	2017.01.08	テレビ愛知	TXNニュース	ロボカップ世界大会を前に 子どもたちがロボットについて学ぶ	
9	2017.01.10	CBC	ゴゴスマ	ロボカップ2017名古屋世界大会半年前イベント	
10	2017.01.20	テレビ愛知	はちまるご	ロボカップ2017名古屋世界大会半年前イベントのお知らせ	
11	2017.01.22	中京テレビ	ナゴヤでしょ!	次世代ロボット産業の振興	市政情報番組
12	2017.01.29	中京テレビ	news every	ロボカップ2017名古屋世界大会をPR 人型ロボットでサッカー	
13	2017.01.29	NHK	NHKニュース	7月に名古屋で開催 ロボカップ世界大会PRイベント	
14	2017.01.29	テレビ愛知	TXNニュース	開催まで半年 ロボカップ名古屋世界大会をPR	
15	2017.02.21	テレビ愛知	ナゴフサVS名古屋 ものづくり4番勝負	ロボカップAIロボット VS ラジコンチャンピオン	市特別番組
16	2017.04.03	NHK	NHKニュース	ロボカップを前に	
17	2017.05.05	メ〜テレ	UP!	GWに青春かける若者たち	
18	2017.05.06	スターキャット	街の話題	ロボカップ2017世界大会 今年は名古屋で開催!	
19	2017.05.24	CBC	イッポウ	ロボカップ2017名古屋世界大会 これが日本代表ロボット	
20	2017.06.01	NHK	ほっとイブニング	“ロボサッカー”で世界に挑戦	
21	2017.06.13	メ〜テレ	ANNニュース	来月名古屋で開催 ロボットの世界大会をPR	
22	2017.06.13	CBC	イッポウ	いよいよ来月名古屋で「ロボカップ」開催内容明らかに	
23	2017.06.13	中京テレビ	キャッチ!	来月名古屋で開催 ロボカップ2017 見どころは	
24	2017.06.13	NHK	ほっとイブニング	来月開催 ロボカップ名古屋大会	
25	2017.06.13	東海テレビ	みんなのニュースONE	来月 名古屋で開催 “ロボカップ”のデモンストレーション	
26	2017.06.13	テレビ愛知	ゆうがたサテライト	20年ぶりに名古屋へ ロボカップ世界大会 来月開催	
27	2017.07.07	メ〜テレ	メ〜テレニュース	名古屋市の中学校 ロボカップを前に出前授業	
28	2017.07.21	テレビ愛知	こちら!名古屋ポイメン課	「ロボカップ2017名古屋世界大会」のお知らせ	市政情報番組
29	2017.07.26	東海テレビ	みんなのニュースONE:夕方	最先端技術を競う	
30	2017.07.26	NHK	ほっとイブニング:夕方	「ロボカップ」始まる	
31	2017.07.27	メ〜テレ	ANNニュース:昼	ロボカップ世界大会が開幕	
32	2017.07.27	NHK	ほっとイブニング:夕方	「ロボカップ」始まる	
33	2017.07.30	テレビ愛知	TXN NEWS:夕方	ロボカップ世界大会 決勝	
34	2017.07.31	メ〜テレ	ドデスカ:朝	最先端のロボット	
35	2017.07.31	CBC	イッポウ:夕方	愛知から世界の舞台へ ロボット女子が挑んだロボカップ	愛知工業 大学密着
36	2017.07.31	中京テレビ	キャッチ!:夕方	ついにここまで…最新ロボット	
37	2017.08.02	読売テレビ	朝生ワイドすまたん!ZIP!:朝	目指せ世界一 京大レスキューの挑戦	関西地方
38	2017.08.03	NHK	くらし◇解説:朝	ロボカップ20年 ロボットは社会をどう変える?	全国放送
39	2017.08.04	東海テレビ	みんなのニュースONE:夕方	AIで判断 ロボットがシュート!名古屋で世界大会	
40	2017.09.18	テレビ愛知	(特別番組)	THKプレゼンツ ぼくのロボット、出番です〜ロボカップ名古屋に挑む〜	
41	2017.10.13	NHK(Eテレ)	人間ってナンダ 超AI入門		全国放送

■ ラジオ(市広報番組)

No.	日	放送局名	番組名	タイトル等
1	2017.01.23	ZIPFM	NAGOYA CITY HAPPY LIFE NAGOYA	ロボカップ2017名古屋世界大会半年前イベントのお知らせ
2	2017.01.23	東海ラジオ	名古屋市インフォメーション	ロボカップ2017名古屋世界大会半年前イベントのお知らせ
3	2017.01.24	東海ラジオ	名古屋市インフォメーション	ロボカップ2017名古屋世界大会半年前イベントのお知らせ
4	2017.01.27	ZIPFM	NAGOYA CITY HAPPY LIFE NAGOYA	ロボカップ2017名古屋世界大会半年前イベントのお知らせ
5	2017.04.17	ZIPFM	NAGOYA CITY HAPPY LIFE NAGOYA	ロボカップ前売券発売開始、プレイベントの開催
6	2017.04.18	CBCラジオ	名古屋市だより	ロボカップ前売券発売開始、プレイベントの開催
7	2017.04.19	CBCラジオ	名古屋市だより	ロボカップ前売券発売開始、プレイベントの開催
8	2017.04.21	ZIPFM	NAGOYA CITY HAPPY LIFE NAGOYA	ロボカップ前売券発売開始、プレイベントの開催
9	2017.06.12	ZIPFM	NAGOYA CITY HAPPY LIFE NAGOYA	「ロボカップ2017名古屋世界大会開催記念フォーラム」のお知らせ
10	2017.06.15	CBCラジオ	名古屋市だより	「ロボカップ2017名古屋世界大会開催記念フォーラム」のお知らせ
11	2017.06.16	CBCラジオ	名古屋市だより	「ロボカップ2017名古屋世界大会開催記念フォーラム」のお知らせ
12	2017.06.16	ZIPFM	NAGOYA CITY HAPPY LIFE NAGOYA	「ロボカップ2017名古屋世界大会開催記念フォーラム」のお知らせ
13	2017.07.11	CBCラジオ	名古屋市だより	「ロボカップ2017名古屋世界大会」のお知らせ
14	2017.07.12	CBCラジオ	名古屋市だより	「ロボカップ2017名古屋世界大会」のお知らせ

■ 雑誌等

No.	日	出版社	誌名	タイトル
1	2015.04	月間電通報		人工知能が小説を書く時代に
2	2015.06発行	Clife	くらしと中日	用語辞典:ロボカップ
3	2016.11発行	日刊工業新聞社	機械設計11月別冊 The ROBOT	ロボカップ2017名古屋世界大会開催決定 加速する名古屋市のロボット産業振興
4	2017.01.24	松坂屋名古屋店	折込広告	Touch the Robot ロボカップ2017名古屋世界大会半年前イベント
5	2017.02発行	MICEジャパン	MICE Japan (3月号)	地域特性を活かした国際会議誘致への取組み ロボカップ2017名古屋世界大会
6	2017.03発行	中京テレビ	CHU通信2017 VOL.9	ロボカップ2017名古屋世界大会
7	2017.04.28	イオンモール ナゴヤドーム前店	新聞折込チラシ	ロボカップ2017名古屋世界大会プレイベント
8	2017.04.28	東邦ガス	TOHO賃貸通信	自分で考えて動く自律型ロボットが競い合う、「ロボカップ2017名古屋世界大会」
9	2017.05発行	オール出版	クラブナゴヤ(6月号)	ロボカップ2017名古屋世界大会 広告掲載
10	2017.05.24	チケットぴあ	夏ぴあ東海版	ロボカップ2017名古屋世界大会 広告掲載
11	2017.06.15	オーム社	ロボコンマガジン(7月号)	ロボカップ2017名古屋世界大会 広告掲載
12	2017.06発行	ソラシドエア	ソラタネ(6月号)	ロボカップ2017名古屋世界大会
13	2017.06~07	名阪近鉄旅行	産業観光バスツアー	名古屋で開催!ロボカップ世界大会と愛知工業大学ロボットミュージアム見学
14	2017.06発行	名古屋観光コンベン ションビューロー	きらっ都ナゴヤ(6月号)	表紙、観光案内
15	2017.06号	名古屋国際センター	NAGOYA CALENDAR	ロボカップ2017名古屋世界大会(英語・ポルトガル語)
16	2017.06.25	アドキッド インフォメーション	咲楽(7月号)	ロボカップ2017名古屋世界大会
17	2017.06発行	愛知県	なびいあいち(57号)	特集 ロボカップ2017名古屋世界大会
18	2017.07.01	名古屋鉄道事業推進部	名鉄沿線おでかけマガジンWIND(7月号)	裏表紙ポスター掲載
19	2017.07.02	愛知県	広報あいち	ロボカップ2017名古屋世界大会
20	2017.07.12	中日新聞社	月間グラン(8月号)	ロボカップ2017名古屋世界大会
21	2017.07発行	名古屋観光コンベン ションビューロー	きらっ都ナゴヤ(7月号)	表紙裏、祭イベント
22	2017.07.22	KADOKAWA	東海ウォーカー(8月号)	ロボカップ発祥の地名古屋で20年ぶりの開催!ロボットの魅力にハマろう
23	2017.07.22	流行発信	Cheek(9月号)	「ロボカップ2017名古屋世界大会」が7/27(木)より港区・金城ふ頭で開催!
24	2017.07.23	GAIN	KELLY(9月号)	ロボカップ発祥の地・名古屋で20年ぶりの世界大会開催決定!!
25	2017.07.28	中日新聞社	コンパクトシー	ロボカップ2017名古屋世界大会開催中
26	2017.08.04	日経BP社	日経ビジネス(8月7日/14日号)	ロボカップ、AI人材争奪で日本に不安
27	2017.10.15発行	科学技術振興機構	産学官連携ジャーナル	20年目のロボカップ
28	2017.10.19発行	中京大学	広報誌 真剣味	ロボカップ2017名古屋世界大会に出場

■ Web

No.	日	Web運営	Web名	タイトル
1	2016.11.01	文部科学省	文部科学省ホームページ	ロボカップ2017名古屋世界大会(名古屋市)との連携
2	2016.11.01	第16回障害者芸術文化祭実行委員会	第16回障害者芸術文化祭実行委員会ホームページ	
3	2016.12.27	ロボットスタート(株)	ロボット情報WEBマガジン& SNS	「ロボカップ2017名古屋世界大会」のプレイベント「Touch the Robot」が1月末に開催各種ワークショップも実施
4	2017.01.23	名古屋観光コンベンションビューロー	名古屋コンシェルジュ & SNS	「Touch the Robotロボカップ2017名古屋世界大会半年前イベント」
5	2017.01.25	ソニー	Sony CSL	ロボカップ2017名古屋世界大会インタビュー #01
6	2017.02.02	ロボットスタート(株)	ロボット情報WEBマガジン& SNS	ソニーが次に開発するロボットとは? PINOやAIBOの開発に関わったソニーCSLの北野宏明氏に聞く(前編)*RoboCup2017運動企画
7	2017.02.24	ロボットスタート(株)	ロボット情報WEBマガジン& SNS	ソニーが次に開発するロボットとは? PINOやAIBOの開発に関わったソニーCSLの北野宏明氏に聞く(後編)*RoboCup2017運動企画
8	2017.02.24	日本通運	日本通運ホームページ	日通、ロボカップ2017名古屋世界大会のオフィシャルロジスティックパートナーに認定
9	2017.02.24	(株)ロジステックパートナー	LNEWS	日通/ロボカップ2017名古屋世界大会のオフィシャルパートナーに認定
10	2017.03.01	ダイドー(株)	ダイドーホームページ	ロボカップ2017名古屋世界大会
11	2017.03.09	ロボットスタート(株)	ロボット情報WEBマガジン& SNS	ロボカップ2017名古屋世界大会は7月開催公式ウェブで独占インタビュー記事掲載中
12	2017.03.13	名古屋観光コンベンションビューロー	名古屋観光コンベンションビューローホームページ	ロボカップ2017ナゴヤ世界大会大会支援ボランティア募集の案内
13	2017.03.16	名古屋観光コンベンションビューロー	名古屋観光コンベンションビューローホームページ	2017年度人工知能学会全国大会(第31回)にて公開イベントが開催されます
14	2017.03.27	ロボットスタート(株)	ロボット情報WEBマガジン& SNS	ロボカップってどんな競技大会? ロボカップ公式ホームページで各リーグを紹介! 中川紀子氏インタビューも掲載
15	2017.04.03	ロボットスタート(株)	ロボット情報WEBマガジン& SNS	ロボカップ2017名古屋世界大会のチケット販売開始、ボランティアも募集中
16	2017.04.10	ロボット革命イニシアティブ協議会	Japan ROBOT DatabaseSystem	ロボカップ2017名古屋世界大会
17	2017.04.18	ロボットスタート(株)	ロボット情報WEBマガジン& SNS	ロボカップ最新PR動画を公開、リーグ名古屋の玉田・杉森選手らも応援
18	2017.04.18	名古屋グランパスエイト	グランパスホームページ	ロボカップ2017名古屋世界大会PR動画に玉田圭司選手、杉森考起選手出演のお知らせ
19	2017.04.20	名古屋観光コンベンションビューロー	名古屋観光コンベンションビューローホームページ	ロボカップ2017名古屋世界大会プレイベント「Touch the Robot」が開催されます
20	2017.05.04	NagoyaStartupNews	NagoyaStartupNews	7月末に開催される「ロボカップ2017名古屋世界大会」の公式PR動画が公開
21	2017.05.10	ロボットスタート(株)	ロボット情報WEBマガジン& SNS	アマゾン・ロボティクス・チャレンジが今夏日本で初開催! ロボカップ2017名古屋世界大会と併催。
22	2017.05.10	ロボットスタート(株)	ロボット情報WEBマガジン& SNS	個性豊かなロボットたちが名古屋に大集合! 名古屋市科学館にて7月より特別展「ロボットってなんだろう?」開催
23	2017.05.16	ロボットスタート(株)	ロボット情報WEBマガジン& SNS	ロボカップ公式ページの最新インタビューは千葉工大と愛知県立大学院の学生「ポイントは機械学習」
24	2017.06.01	(株)ローム	Device Plus	ロボカップ2017 20年ぶりに発祥の地、名古屋で開催!
25	2017.06.01	ロボカップ日本委員会	ロボカップ日本委員会ホームページ	ロボカップ2017名古屋世界大会の開催
26	2017.06.05	ロボットスタート(株)	ロボット情報WEBマガジン& SNS	ロボカップ2017名古屋世界大会開催記念フォーラム「ロボットが変える未来の暮らし〜新時代の幕開け〜」7月開催
27	2017.06.05	中部経済連合会	中部経済連合会ホームページ	ロボカップ2017名古屋世界大会開催記念フォーラム「ロボットが変える未来の暮らし〜新時代の幕開け〜」
28	2017.06.13	KADOKAWA	東海ウォーカーWEB & SNS	大人も子どもも楽しめる! 国際的な自律移動ロボットの競技大会「ロボカップ2017」が20年ぶりに名古屋で開催!
29	2017.06.14	Network2010事務局	Network2010	ロボカップ2017名古屋世界大会記者会見
30	2017.06.15	ロボットスタート(株)	ロボット情報WEBマガジン& SNS	女性たちのロボカップ世界大会〜愛工大と玉川大の参加経験者がロボカップ公式ページのインタビューに登場
31	2017.06.16	公益財団法人 JKA	公益財団法人 JKAホームページ	補助事業に係るイベント等の情報
32	2017.06.22	ロボコンマガジン	ロボコンマガジンホームページ	RoboCup2017名古屋世界大会開催委員会 & 記者会見 開催
33	2017.06.23	ナプテスコ(株)	ナプテスコ(株)ホームページ	「ロボカップ2017名古屋世界大会」出場・出展のお知らせ

No.	日	Web運営	Web名	タイトル
34	2017.06.25	名古屋グランパスエイト	グランパスホームページ	ロボカップ世界大会が名古屋にやってくる! PR動画に選手出演
35	2017.06.28	ニュービジネス協議会	ニュービジネス協議会ホームページ	ロボカップ2017名古屋世界大会特別視察会・夏の懇親会
36	2017.06.28	docomo	docomoホームページ	ロボカップ2017名古屋世界大会 360度VR動画コンテンツの公開について
37	2017.06.30	ロボットスタート(株)	ロボット情報WEBマガジン&SNS	「ロボカップ2017名古屋世界大会」のチケットを抽選でペア5組にプレゼント【ロボスタプレゼント】
38	2017.06.30	ロボットスタート(株)	ロボット情報WEBマガジン&SNS	最新のロボカップ公式インタビューに中学生チームが登場! ロボカップジュニア世界大会に挑む たかはま夢・未来塾
39	2017.07	AZAPA	AZAPAホームページ	ロボカップ2017名古屋世界大会にてキッズ向けロボット教室を実施します
40	2017.07	しゃぼん玉ニュース	しゃぼん玉ニュースホームページ	ロボカップ2017名古屋世界大会 開催競技や会場&入場料は?
41	2017.07	萩原電気	萩原電気ホームページ	『ロボット技術・産業フェア』出展のご案内
42	2017.07	KADOKAWA	Walker+	ロボカップ2017名古屋世界大会
43	2017.07	愛知県立大学	愛知県立大学ホームページ	ロボカップ2017名古屋世界大会で、本学ロボカップサッカーの2チームが世界の強豪と対戦しました。
44	2017.07	西日本工業大学	西日本工業大学ホームページ	ロボカップ2017名古屋世界大会
45	2017.07	三菱電機	三菱電機ホームページ	ロボカップ2017名古屋世界大会併催展示会 「ロボット技術・産業フェア」
46	2017.07	一般社団法人愛知県観光協会	AichiNow	ロボカップ2017名古屋世界大会
47	2017.07	東京都立産業技術高等専門学校	東京都立産業技術高等専門学校ホームページ	「ロボカップ2017名古屋世界大会」で、本学学生が世界第3位の快挙!
48	2017.07	ロボットってなんだろう?実行委員会	ロボットってなんだろう?	ロボカップ2017名古屋世界大会との相互割引
49	2017.07	ROBOSQUARE	ROBOSQUAREホームページ	「ロボカップ2017名古屋世界大会 壮行会」を開催しました
50	2017.07	中部ニュービジネス協議会	CNB	ロボカップ2017名古屋世界大会特別視察会・夏の懇親会
51	2017.07	公益社団法人 発明協会	IEY2017	ロボカップ2017名古屋世界大会
52	2017.07	msn	msnニュース	ロボットのW杯「ロボカップ」、名古屋で開催、見て考えてプレー名古屋
53	2017.07	名古屋商工会議所	名古屋商工会議所ホームページ	名商イベントカレンダー
54	2017.07.02	大栄機工	大栄機工ホームページ	ロボカップ2017名古屋世界大会 出展のお知らせ
55	2017.07.04	ロボットスタート(株)	ロボット情報WEBマガジン&SNS	世界最高峰の研究者達がロボットと人工知能の融合について語る!「WorldRobotics×AI Seminar」
56	2017.07.06	岡谷鋼機(株)	岡谷鋼機(株)ホームページ	ロボカップ2017への協賛およびロボット技術・産業フェアへの出展のお知らせ
57	2017.07.10	大村印刷(株)	大村印刷(株)ホームページ	「ロボカップ2017名古屋世界大会」のPRイベントでAuggleSを採用頂きました
58	2017.07.10	World Robot Summit	WRS	ロボカップ2017名古屋世界大会でWRSブースを出展します
59	2017.07.10	HatenaBlog	HatenaBlog	KOOV Challenge in RoboCup 2017参戦!名古屋
60	2017.07.12	玉川大学	玉川大学ホームページ	RoboCup(ロボカップ)2017名古屋世界大会に玉川大学から2チーム、K-12から1チームが出場!
61	2017.07.18	公益社団法人日本観光振興協会中部支部	昇竜道 山車からくり	「ロボカップ2017名古屋世界大会」でからくり人形実演が行われます!
62	2017.07.19	独立行政法人情報処理推進機構	Local Lab	【開催案内】ロボカップ2017名古屋世界大会が開催されます!
63	2017.07.20	トヨタ自動車株式会社	トヨタ公式SNS	ロボカップは7/27から名古屋で開催!
64	2017.07.24	ロボットスタート(株)	ロボット情報WEBマガジン&SNS	ロボカップ2017いよいよ今週開催!競技スケジュールや家族向けイベント情報を公開。インタビューはNISTに聞く「レスキューリーグの重要性」
65	2017.07.24	トヨタ自動車株式会社	トヨタ公式SNS	「自分のつくったロボットで世の中を便利に!」ロボカップは7/27から名古屋で開催!
66	2017.07.24	大阪工業大学	大阪工業大学ホームページ	「ロボカップ2017名古屋世界大会」に出場します

No.	日	Web運営	Web名	タイトル
67	2017.07.24	株式会社エムページ	Area Press	ブラザー工業「ロボカップ2017名古屋世界大会」のゴールドスポンサーに
68	2017.07.26	ソニー	ソニーホームページ	ロボカップ2017名古屋世界大会に出展 AI×ロボティクスの広がりに向けて
69	2017.07.26	RAKUTEN	RAKUTEN News	ソニー、ロボカップ2017名古屋世界大会に出展
70	2017.07.27	ロボットスタート(株)	ロボット情報WEBマガジン& SNS	ロボカップ2017名古屋世界大会が開幕!世界約40ヶ国、約3千人の学生や研究者が参加
71	2017.07.27	ロボットスタート(株)	ロボット情報WEBマガジン& SNS	強豪同士の対戦に会場が湧いたロボットサッカー中型リーグ、ロボットのカメラが天井に向けて設置されている理由
72	2017.07.27	株式会社OSA	Gigazineホームページ& SNS	「ロボカップ2017名古屋世界大会」現地取材記事まとめ
73	2017.07.27	株式会社OSA	Gigazineホームページ& SNS	見事な連係でシュート&ディフェンスを見せる白熱かつスピーディーな「ロボカップサッカー・小型リーグ」
74	2017.07.27	株式会社OSA	Gigazineホームページ& SNS	市販のロボット「NAO」を使ってロボットプログラミングの腕を競い合うロボカップサッカーが思わず笑ってしまうゲームを展開
75	2017.07.27	株式会社OSA	Gigazineホームページ& SNS	究極の外骨格「Skeletonics(スケルトニクス)」がロボカップ2017の会場を縦横無尽に歩行デモ
76	2017.07.27	株式会社OSA	Gigazineホームページ& SNS	操縦できるカブトムシ型巨大ロボット「KABUTOM RX-03」がロボカップ2017の会場に登場
77	2017.07.27	北海道新聞	電子版	名古屋でロボカップの世界大会 400チームが技術披露
78	2017.07.27	NAGOYA AI Blog	NAGOYA AI Blog	ロボカップ本日27日より7月30日まで開催!
79	2017.07.27	オリコン(株)	ORICON NEWS	名古屋でロボカップの世界大会
80	2017.07.27	時事通信社	JUJI.COM	最先端技術、実用化探る＝「ロボカップ17」開幕-名古屋
81	2017.07.27	神戸新聞	神戸新聞NEXT	名古屋でロボカップの世界大会 400チームが技術披露
82	2017.07.27	山陰中央新報	山陰中央新報 ON LINE	名古屋でロボカップの世界大会 400チームが技術披露
83	2017.07.27	福井新聞	福井新聞 ON LINE	名古屋でロボカップの世界大会 400チームが技術披露
84	2017.07.27	共同通信	共同通信	名古屋でロボカップの世界大会 400チームが技術披露
85	2017.07.27	ParsToday	ParsTodayホームページ	ロボカップ2017名古屋世界大会、イランのチームが活躍
86	2017.07.27	沖縄タイムス	沖縄タイムスホームページ	名古屋でロボカップの世界大会 400チームが技術披露
87	2017.07.28	ロボットスタート(株)	ロボット情報WEBマガジン& SNS	アマゾン・ロボティクス・チャレンジ開幕、Amazon Logisticsのチーフテクノロジストに聞く「機械学習とハイブリッド・マニピュレーション」
88	2017.07.28	ロボットスタート(株)	ロボット情報WEBマガジン& SNS	まさにタケコプター!なんでも飛ばせるプロペラ【ロボカップ展示ブース紹介vol.1】
89	2017.07.28	ロボットスタート(株)	ロボット情報WEBマガジン& SNS	最高に可愛いロボットをロボカップで発見してしまった【ロボカップ展示ブース紹介vol.2】
90	2017.07.28	ロボットスタート(株)	ロボット情報WEBマガジン& SNS	ソニーブースでアイボとキュリオのステッカーをゲット!! ロボカップゆる〜いレポート
91	2017.07.28	ロボットスタート(株)	ロボット情報WEBマガジン& SNS	アマゾン・ロボティクス・チャレンジ徹底解説 主なルール、会場の様子、動画、技術的なポイント
92	2017.07.29	中央出版	Kicks	ロボカップ2017名古屋世界大会
93	2017.07.29	ロボットスタート(株)	ロボット情報WEBマガジン& SNS	【速報】アマゾン・ロボティクス・チャレンジ競技1日目は「MIT-Princeton」チームがリード
94	2017.07.29	ロボットスタート(株)	ロボット情報WEBマガジン& SNS	【速報】ロボカップ中型リーグは強豪4チームが順当にベスト進出、日本勢は惜しくも敗退
95	2017.07.29	株式会社OSA	Gigazineホームページ& SNS	激しいぶつかり合いと緻密なパス回し、白熱の頭脳戦が展開される「ロボカップサッカー中型リーグ」のゲームが面白過ぎる
96	2017.07.29	日刊工業ビデオニュース	日刊工業ビデオニュース	ロボカップ2017名古屋 熱戦続く
97	2017.07.29	グノシー	グノシーホームページ	「ロボカップ2017名古屋世界大会」現地取材記事まとめ
98	2017.07.29	産経デジタル	訪日ビジネスアイ	「ロボカップ」世界大会、競技始まる…サッカーなど計5部門で、400チームが技術披露
99	2017.07.30	ロボットスタート(株)	ロボット情報WEBマガジン& SNS	インダストリー4.0のスマートファクトリー実現に向けた技術開発と研究を行う「ロボカップインダストリアル」、そのルールを徹底解説

No.	日	Web運営	Web名	タイトル
100	2017.07.30	ロボットスタート(株)	ロボット情報WEBマガジン&SNS	ロボカップサッカー「小型リーグ」の魅力と人気の秘密、スピードと戦術連携を実現する「ビジョンシステムとAIコンピュータ」とは
101	2017.07.30	ロボットスタート(株)	ロボット情報WEBマガジン&SNS	【速報】アマゾン・ロボティクス・チャレンジ競技2日目は「Nanyang」チームが逆転、気になる日本勢は?本日ファイナル
102	2017.07.30	ロボットスタート(株)	ロボットスタート(株)	ロボカップ2017開幕、みらいを創るイノベーションの祭典で日本勢も大活躍!
103	2017.07.30	株式会社OSA	Gigazineホームページ&SNS	二足歩行ロボットによるロボカップサッカー「ヒューマノイドリーグ」はどのレベルでボールをけるのか?
104	2017.07.30	京都新聞	京都新聞電子版	ロボカップで福岡大チームが優勝 名古屋世界大会が閉幕
105	2017.07.30	スタートアップタイムズ	AINOW	ロボカップ:千葉工大チーム3位 名古屋で世界大会
106	2017.07.31	ロボットスタート(株)	ロボット情報WEBマガジン&SNS	アマゾン・ロボティクス・チャレン決勝はオーストラリアが制す -AmazonRoboticsChallenge2017結果
107	2017.07.31	ロボットスタート(株)	ロボット情報WEBマガジン&SNS	「ロボット」vs「人間」のサッカー対決、勝ったのはどっち? 【動画あり】
108	2017.07.31	中京大学	中京大学ホームページ	アマゾン・ロボティクス・チャレンジ「Stow Task」部門で 世界3位
109	2017.07.31	名古屋工業大学	名古屋工業大学ホームページ	ロボカップ名古屋世界大会にNITRo(森田・佐藤研究室学 生チーム)が出場
110	2017.07.31	AFP	AFPホームページ	ロボットのW杯「ロボカップ」、名古屋で開催
111	2017.08.01	ロボットスタート(株)	ロボット情報WEBマガジン&SNS	「ロボットによる完全自動化か、人とロボットの協働か」ア マゾン・ロボティクス・チャレンのマークス博士に聞く
112	2017.08.01	ロボットスタート(株)	ロボット情報WEBマガジン&SNS	【ロボカップサッカー】ヒューマノイドリーグのルールと魅 力「果てしなく遠い夢に向かって」
113	2017.08.02	Network2010事務局	Network2010	ドキュメント ロボカップ2017名古屋世界大会
114	2017.08.02	(株)ビーバー	bouncyホームページ&SNS	AIとロボットの最新技術が詰まった夢の祭典 「ロボカップ2017名古屋世界大会」レポート
115	2017.08.02	大阪大学	Yuji Kawai,Ph.D.	ロボカップ2017名古屋世界大会へ初参戦
116	2017.08.02	株式会社Sabeevo	ROBOT NAUT	「ロボカップ2017名古屋世界大会」に行ってきた! Part1 サッカー編
117	2017.08.03	(株)神清	(株)神清ホームページ	ロボカップ2017名古屋世界大会
118	2017.08.07	TECHMARKET	TECHMARKET β	ロボカップ2017名古屋世界大会- 家庭用ロボットの實力は
119	2017.08.03	ブラザー工業	PRTIMES	「ロボカップ名古屋世界大会」同時開催の展示会へ出展
120	2017.08.09	トヨタ自動車株式会社	トヨタ公式SNS	「人に置き換わるロボットではなく、人をサポートするロボッ トを!」来年のロボカップは、カナダ・モントリオールで開催予定
121	2017.08.09	大学プレスセンター	大学プレスセンターホームページ	「ロボカップ2017名古屋世界大会」で善戦-大阪工業大学「ロボ カップ@ホームリーグプロジェクト」が世界第7位、特別賞受賞
122	2017.08.09	在クアアチア日本国大使館	在クアアチア日本国大使館ホームページ	クアアチア・ジュニアチームが「ロボカップ世界大会2017」 に参加し、3部門で優勝
123	2017.08.09	読売新聞	YOMIURI ONLINE	大阪工業大学「ロボカップ@ホームリーグプロジェクト」が 世界第7位、特別賞受賞
124	2017.08.10	翔泳社	EdtechZine	大阪工業大学「O.I.T.Trial」、「ロボカップ2017名古屋世界 大会」で世界第7位&特別賞受賞
125	2017.08.13	株式会社サイバーエージェント	アマーバニユース	名古屋で「ロボカップ」生活支援を行うロボット開発も進む
126	2017.08.18	名城大学	名城大学ホームページ	理工学部情報工学科の高橋教授がロボカップ2017名古屋世界大会で Infrastructure Oeuvre Award
127	2017.09.03	読売新聞	YOMIURI ONLINE	ロボ競技世界大会 1位 松戸市立小金中

上記の他、新聞報道デジタル版への掲載147件、テレビ報道デジタル版への掲載39件あり

ロボカップPRに力

開催委員会 17年世界大会向け

名古屋市中区二丁目一七番地に「機運醸成に力を入れたい」と機運醸成に力を入れていることを確認した。

ロボカップは、実用化に向けたロボットの技術を競う大会。リモコンではなく、内蔵カメラやセンサーで自律移動するロボットが「サッカースタジアム」のフィールドでサッカーをする。技術者の交流や、子ども向けイベントの開催などを提案していた。

17年ロボカップ名古屋

名古屋市長は19日、自ら状況を確認して動くロボットに約3000人が集まる。このロボカップ世界大会の開催地が同市の決まったと発表した。第一回(1997年)以来、2度目の開催となる。

大会は毎年7月に開かれた地域がロボカップ産業界を

ロボカップ世界大会名古屋に

実用に向けたロボット技術を競う「ロボカップ世界大会」の国際委員会が19日、中国・合肥市であり、二〇一七年開催地が投票の結果、名古屋に決まった。同市での開催は一九九七年の第一回大会以来、二十年ぶりとなる。

大会は一九九七年七月二十一日から七月二十八日までの七日間、港区の市国際展示場「ポートメッセなごや」で、ロボット競技場「テパオ」で開催。人工知能で動くロボット

17年 サッカーや救命競

トがサッカーや人命救助、家事などの各部門で競技する。四十万人から三千人が参加し、十万人の観衆が見込まれる。一七年大会は、名古屋とオーストラリアのシドニーが立候補。理事による投票の結果、名古屋が上回った。

河村たかし市長は「先端科学技術に対する市民の関心が高く、世界大会にふさわしい地域。地域の産業振興の起爆剤となるよう、経済界などと連携する」とコメントした。

▲2015年7月20日 中日新聞

▲2015年7月20日 読売新聞

ロボカップは、サッカーワールドカップのチャレンジャーに勝つて人型ロボットをつくること、日本の研究者が提案。1997年の以降、欧米やアジアで世界各地で毎年開かれていた。

ロボカップが自分で考えて動き、競い合うのが特徴。競技人口は約40カ国に約3千人という。

名古屋は17年大会を7月22、28日、港区の市国際展示場とテパオで開催。10万人以上の来場を見込

▲2015年7月20日 朝日新聞

ロボカップ2017名古屋で開催

人工知能搭載のロボットがサッカーなどを競う「ロボカップ」の2017年世界大会が、名古屋で開催されることになった。19日、15年大会の開催地・中国安徽省合肥市であった国際委員会理事による投票で決まった。名古屋での開催は第一回以来、20年ぶり。誘致は愛知県シドニー市の一騎打ちだった。

ロボカップは、サッカーワールドカップのチャレンジャーに勝つて人型ロボットをつくること、日本の研究者が提案。1997年の以降、欧米やアジアで世界各地で毎年開かれていた。

ロボカップが自分で考えて動き、競い合うのが特徴。競技人口は約40カ国に約3千人という。

名古屋は17年大会を7月22、28日、港区の市国際展示場とテパオで開催。10万人以上の来場を見込

名古屋市長は19日、2017年に開かれる予定のロボットの競技会「ロボカップ世界大会」の開催地として選ばれたと発表した。日本での開催は4回目、名古屋では第一回の1997年以降となる。17年7月22、28日に、国際展示場(名古屋港区)を主な会場に開く予定。河村たかし市長は同日「大会が当地域の産

名古屋ロボカップ決定

2017年世界大会
名古屋市長は19日、ロボットの能力をサッカーなどで競う「ロボカップ」の2017年世界大会の開催地が決まったと発表した。1997年の第一回大会以来20年ぶりの開催となる。国内での開催は05年の大阪大会以来、15年ぶり。中国・合肥市に決まった。国際委員会が発表した。昨年10日に開かれたロボカップ国際委員会では、昨年

▲2015年7月20日 毎日新聞

17年のロボット世界競技会 名古屋で開催決定

業振興の起爆剤となるよう、経済界や関係機関と連携するとのコメントを発表した。中国・合肥市で開催中の世界大会で決まった。開催地は名古屋市のほか、オーストラリアのシドニーも立候補していた。名古屋市長は愛知県がロボカップ産業界の集積地であることなどをアピールしてき

▲2015年7月20日 日本経済新聞

ロボカップ成功へ連携

名古屋市長は19日、ロボットの能力をサッカーなどで競う「ロボカップ」の2017年世界大会の開催地が決まったと発表した。1997年の第一回大会以来20年ぶりの開催となる。国内開催では05年の大阪大会以来12年ぶり。

河村たかし市長は「先端科学技術に対する市民の関心が高く、世界大会にふさわしい地域。地域の産業振興の起爆剤となるよう、経済界や関係機関と連携する」とコメントした。

ロボカップは、サッカーワールドカップのチャレンジャーに勝つて人型ロボットをつくること、日本の研究者が提案。1997年の以降、欧米やアジアで世界各地で毎年開かれていた。

ロボカップが自分で考えて動き、競い合うのが特徴。競技人口は約40カ国に約3千人という。

名古屋は17年大会を7月22、28日、港区の市国際展示場とテパオで開催。10万人以上の来場を見込



あいさつする河村名古屋市長

名古屋市長は19日、ロボットの能力をサッカーなどで競う「ロボカップ」の2017年世界大会の開催地が決まったと発表した。1997年の第一回大会以来20年ぶりの開催となる。国内開催では05年の大阪大会以来12年ぶり。

河村たかし市長は「先端科学技術に対する市民の関心が高く、世界大会にふさわしい地域。地域の産業振興の起爆剤となるよう、経済界や関係機関と連携する」とコメントした。

ロボカップは、サッカーワールドカップのチャレンジャーに勝つて人型ロボットをつくること、日本の研究者が提案。1997年の以降、欧米やアジアで世界各地で毎年開かれていた。

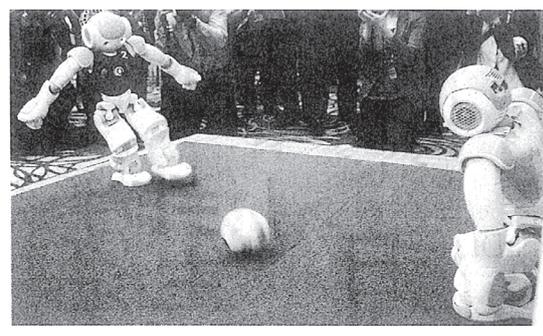
ロボカップが自分で考えて動き、競い合うのが特徴。競技人口は約40カ国に約3千人という。

名古屋は17年大会を7月22、28日、港区の市国際展示場とテパオで開催。10万人以上の来場を見込

▲2015年12月16日 中部経済新聞



サッカー競技を実演するロボット13日、名古屋・名駅で



ロボットによるサッカーのデモンストレーション

A I 決戦へ 練習お披露目

来月名古屋でロボカップ

人工知能(AI)搭載型ロボットの国際大会「ロボカップ2017名古屋世界大会」が七月末に名古屋市内で開催されるのを前に、地元の開催団体が三日、同市内でサッカー競技などを実演し、大会機運を盛り上げた。

会場には、サッカーや災害救助、人の生活支援を想定したロボットが登場。高さ約六十センチの大型ロボット二体が、直径十センチほどのサッカーボールを自動認識して蹴ったり、ゴール前で足を広げて防ぐなどの動作を披露した。

ロボカップ国際委員会の野田五十樹会長(産業技術総合研究所人工知能研究センター総括研究主幹)は「チームワークなど人工知能が扱うにはまだ分らない世界がある。(競つこと)人の知能の解明につながる」と意義を強調した。

大会は、ロボカップ国際委員会などの主催、中日新聞社共催。七月二十七日に同市港区の「ポートメッセなごや」などで開催。約四十カ国・地域から四百以上のチームが出場し、五競技の二十を超える種目で競い合う。名古屋開催は一九九七年の第一回大会以来、二十年ぶり。

▲2017年6月14日 中日新聞

ロボカップ 名古屋で再び

来月、世界大会 競技や技術披露

名古屋市中港区のポートメッセなごやなどで、七月二十三日に開催される「ロボカップ2017名古屋世界大会」の開催概要が13日、発表された。

ロボカップは国際的な自律移動ロボットの競技大会で、1997年に名古屋で初開催して以降、毎年、世界各地で行われている。名古屋では2度目の開催。今回は「サッカー」「レスキュー」「ホーム」「インダストリアル」「ジュニア」の5競技に世界約40カ国から研究者や学生ら約3000人が参加する。ロボット技術に関する展示会や、世界約20カ国から約2000人が参加する「世界青少年発明工夫展」なども行われ、10万人の来場者を見込む。

この日は、サッカーに出場するロボットなどのデモンストレーションも行われ、主催する大会開催委員会会長の河村たかし名古屋市長は記者会見で、「名古屋で始まり、再び開かれる。世界中から足を運んでほしい」と呼びかけた。

1日券1200円(前売り1000円)、4日通し券2400円(同2000円)、高校生以下無料。問い合わせは運営事務局(052・581・3241)。

▲2017年6月14日 読売新聞



松井龍 萩田紀 田所 中川 大田

ロボカップ前に 記念フォーラム 名古屋

教授が、一九九七年に名古屋で開かれた第一回大会の様子を動画で紹介。「ロボットは当時、思うように動かなくロボットが競つ「ロボカップ2017名古屋世界大会」(二十七会)でAIの発展を感じ「三十日・中日新聞社共催)を前に、ロボットの普及について考え、デザインやロボットの活用が注目されていることも紹介された。

大会は名古屋市中港区のポートメッセなごやなどで開かれる。約四十の国や地域から三千人が参加。ロボットによるサッカーなどがある。

▲2017年7月16日 中日新聞

開発進む生活支援ロボット

生活を支援するロボットとの同居が夢の話ではなくなりそう。今月末に開かれるロボットの国際競技大会「ロボカップ」では、搭載する人工知能（AI）に特化して性能を競う部門が新設され開発が加速。高齢化社会を支える技術として政府も開発を後押しする。

（原田成樹）

頭脳開発に集中

ロボカップはAIを搭載したロボットの競技大会。2050年にサッカーW杯のチャンピオンに勝つロボットを開発することを目標に日本の研究者が提唱し、1997年に始まった。

当初はサッカー競技だったが、災害救助や産業支援などに対象を拡大。特に注目を集めるのは今年で11回目となる生活支援競技だ。家庭の台所やリビングなどで活躍する「家事ロボット」を育成する狙いがある。

会場ではロボットが飲み物の希望を聞いて注文通りに運んだり、食事の内容に応じてナイフや皿などの食器をテーブルにセットしたりする課題に挑み、得点を競う。

今年の大会は今年7月27日から名古屋で開催され、生活支援競技には大阪工業大など日本の9チームを含む計32チームが出場する。昨年まではチームが自作した別々のロボットで競っていたが、今年から共通の機種を使って搭載AIの性能だけを競う部門が加わった。

AI競技で進化、賢く優しく

AI、家事に挑む

■ロボカップ2017世界大会

・7月27～30日、名古屋市で開催
・人工知能(AI)搭載の生活支援ロボットの競技に、日本から9チームが参加

トヨタ自動車「HSR」

▽各テーブルでからつ注文を取り、飲み物を運んで渡す

▽音声・画像を認識して腕などを操作する技術が必要

▽音声を聞き、からつ注文を取り、飲み物を運んで渡す

▽音声・画像を認識して腕などを操作する技術が必要

ソフトバンク「ペッパー」

▽扉の付いた棚から指示を取り出す

九州工業大「エクスア」

▽食事の内容に応じて食器をセットする

金沢工業大「Happy mini」

▽音声・画像を認識して腕などを操作する技術が必要

家事	囲碁・将棋	
使用環境	動的	静的
状態変化	実時間	順番交代
取得情報	不完全	完全
制御方式	分散的	中央集権

トヨタ自動車「HSR」は「ヒューマン・サポート・ロボット(HSR)」とソフトバンクの「ペッパー」。スペイン、中国、イタリアなど各国の機種を抑えて選ばれた。

自作のロボットと違って機械の調整などに時間を割く必要がなく、各チームは「頭脳開発」に集中できる。優れたプログラムは競技後に公開され他チームも簡単に共有できるため、全体の水準が底上げされ、技術が加速的に進化する利点がある。

囲碁より高度

AIは最近、囲碁や将棋のトップ級棋士を次々に打ち負かした。原動力となった「深層学習」という新設計法は家事ロボットでも5年前から使われており、言葉や物の特徴を簡単に学習させることができる。

また、現実の世界は囲碁や将棋よりもはるかに複雑だ。目の前を人が横切ると状況は刻々と変化するほか、「よく冷えた飲み物」といった不完全な情報にも応えなければならぬ。

玉川大と電気通信大の合同チームは昨年の生活支援競技で決勝に進出し、引き出しを開けて中から紙を取り出す高度な作業を披露した。使用したHSRは安全のため力が弱く制御されているが、腕を左右に揺らす工夫で引き出しを開けた。

また、ロボットにとって薄い紙をつかむのは難しいが、指の背にある空気の吸引孔で吸い付けて持ち上げ、観客を驚かせた。こうした技で4位となり、

イノベーション賞に輝いた。チームを率いた玉川大の岡田浩之教授は「基本をこなしで勝ち進むのも重要だが、決勝では難しいことに挑戦し、面白いアイデアを見せなければ上位に選ばれない」と話す。

近年は上位を中国とドイツ、オランダが占めており、今年の日本勢はホーム開催とはいえ観衆を許さない。

大会の歩みと関連イベント

政府主催「ワールドロボットサミット」(18年にプレ大会)で人間との協働能力が試される

1997年 2001 07 13 16 20

「2050年にW杯チャンピオンに勝つ」を目標にサッカー競技を実施



生活支援競技を追加

産業支援競技を追加

災害救助競技を追加



棚入れ・棚出し競技「アマゾン・ロボティクス・チャレンジ」が併催



※ロボカップ2016独ライブチ大会、玉川大、大阪工業大、九州工業大、金沢工業大、米アマゾン・ロボティクスの資料を基に作成

勝利から共生へ

サッカー競技用のロボットは、人間並みの二足歩行にもう少し時間がかかりそうだが、移動速度やパワーなどでは既に人間を超えるレベルに達している。むしろ危険で人間と対戦できないほどだ。

人と一緒に過す生活支援ロボットも「怪物」であっては困るので、「優しく柔らかい素材を使う」などの新たな課題が見えてきた。

東京五輪が開かれる2020年、経済産業省などはロボットの利用による高齢化社会などの課題解決を目指して「ワールドロボットサミット」を開催する。

「人間に勝つ」ことを目指すロボカップとは差別化し、人間と触れ合う「共生・協働」を前面に打ち出す。18年にはプレ大会も予定されており、ここ数年はロボットが真のパートナーに成長する正念場となりそうだ。

気配り進化途上

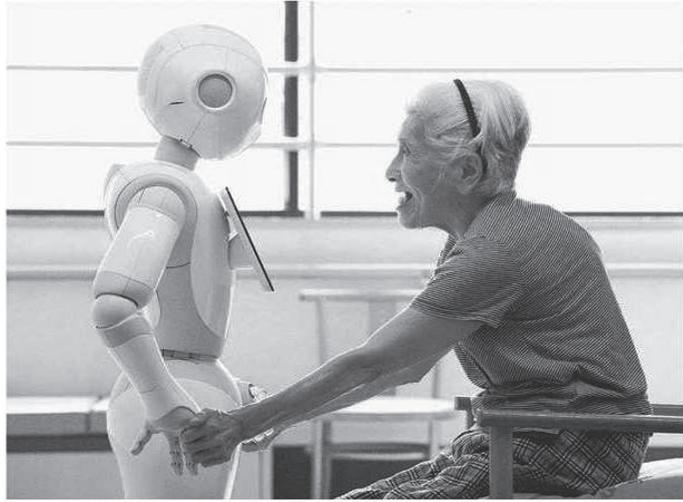
ロボットの動作技術を競う「ロボカップ2017名古屋世界大会」(中日新聞社共催)が27~30日、名古屋市港区の国際展示場「ポートメッセなごや」を主会場に開かれる。1997年の第1回以来、名古屋開催は20年ぶり。この間、ロボットは進化を続け、私たちの暮らしに入りつつある。最前線の現場を歩いた。



80代の女性がこわごわと手を差し出し、硬い手に触れた。ヒト型ロボットの「ペッパー」は手のセンサーで握られたことを感知し、甲高い声を上げた。「ぼくは手を握られるの好きなんだ。あなたの手、あったかいね」。話しかけられた女性の顔がほころんだ。ペッパーは高さ120センチと小学2年生ほどの身長で、ソフトバンクが2015年に一般向けに発売すると、親しみやすさが反響を呼ぶ。普及台数は1万台を超え、

介護施設や銀行、学校などで使われている。自ら持つ感情は「怖い」「楽しい」といった程度で、生後3~6カ月の赤ちゃんと同じ。相手の声色や表情から喜怒哀楽を察して反応するが、「まだ空気を読めない」と担当者は明かす。この20年でスマートフォンが

登場したように、ペッパーも急速に進むネット社会の申し子だ。内蔵した基本ソフトの改良と、アプリの後付けで機能は高められる。相手がつらそうなら優しい言葉をかけ、嫌な顔をされたら少し黙る。そんな気配りができる「隣人」をつくろうと、新たな模索が始まっている。



ペッパーとの会話を楽しむお年寄り。名古屋市長白区の老人保健施設サンタマリアで(太田明子撮影)

27日~ ロボカップ名古屋世界大会

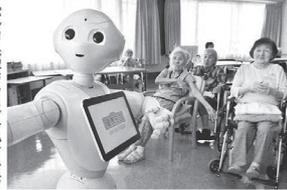
7面に続く

▲2017年7月20日 中日新聞

ロボットのいる世界

ヒト型ロボットのペッパーには、「記憶力」と言える部分がある。十年ほど前からロボカップに出る、サッカー競技などで技術を磨いた「ネオ」が、ソフトバンクは「Oii」など、オッドを開発した「アルテラン」、ロボティクス・視覚ソフトバンクロボティクス・ロボットを販売し、両社共同開発を生かした「ペッパー」だ。ペッパーは、四年六月、感情認識できる世界初のロボットとして発表される。一年後に自ら意識を持つようになり、本体価格九万八千円(税別)で発売された。法に反し、税別で発売された。法に反し、税別で発売された。法に反し、税別で発売された。

ペッパーを育てる



ペッパーの再声(合音)は、健康を確保する「お年寄り」を名古屋市白区の大保健施設サンタマリアで。ペッパーは、別の人種(合音)は「お年寄り」を確保する「お年寄り」を名古屋市白区の大保健施設サンタマリアで。ペッパーは、別の人種(合音)は「お年寄り」を確保する「お年寄り」を名古屋市白区の大保健施設サンタマリアで。

弱点補い機能を充実

世界中の研究者が集まるロボカップの大会で発表された。毎年、世界各50年までにヒト型ロボットのソフトバンクは、27日開催のロボカップに「ワールドカップ」で優勝した。ペッパーは、27日開催のロボカップに「ワールドカップ」で優勝した。ペッパーは、27日開催のロボカップに「ワールドカップ」で優勝した。

楽しんで冒険的な挑戦を

名古屋で開く意義、増し圧倒的すれど、冒険的な挑戦を。楽しんで冒険的な挑戦を。楽しんで冒険的な挑戦を。楽しんで冒険的な挑戦を。

▲2017年7月20日 中日新聞

27日~ ロボカップ名古屋世界大会

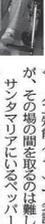
▲2017年7月21日 日刊工業新聞

ロボカップ名古屋開催

27-30日



ロボカップ国際委員会会長 野田 五十樹氏



ロボカップ2017名古屋大会開催委員会会長 河村 たかし氏

ロボットのサッカーやレスキュー活動、工場の自動化技術などを競う「ロボカップ2017名古屋世界大会」が27-30日に名古屋市で開かれる。名古屋での開催は97年の第1回以来20年ぶり。ロボカップの研究的な意義や産業への効果などを河村たかしロボカップ2017名古屋大会開催委員会会長(名古屋市長)と野田五十樹ロボカップ国際委員会会長(産業技術総合研究所人工知能研究センター総括研究主幹)に聞いた。

操縦の切り分け焦点

▲2017年7月21日 日刊工業新聞

大会の見どころは、人間の技術がないと開行ロボットドローンの切り分けが見どころに。操縦の切り分け焦点。操縦の切り分け焦点。操縦の切り分け焦点。

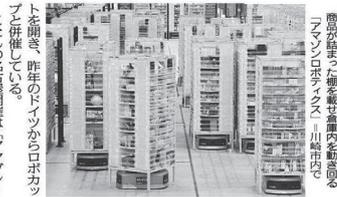
「ボム(生活支援 工用能)A」は、人間の技術がないと開行ロボットドローンの切り分けが見どころに。操縦の切り分け焦点。操縦の切り分け焦点。操縦の切り分け焦点。

「ボム」は、人間の技術がないと開行ロボットドローンの切り分けが見どころに。操縦の切り分け焦点。操縦の切り分け焦点。操縦の切り分け焦点。

▲2017年7月21日 日刊工業新聞

アマゾンが、下版に法が... 倉庫内を自動走行するロボットが...

アマゾンの倉庫



物流業界は、移動の速さを競う。アマゾンが、倉庫内を自動走行するロボットを投入...

速さ追求進む省人化

アマゾンが、倉庫内を自動走行するロボットを投入... 省人化を進める...

ソフトバンクのスマートロボットの進化... 介護ロボットが...

トヨタの思想



介護施設で実証実験を進めるトヨタのロボット。介護現場に活用される...

感情不要 人に寄り添う

介護現場に活用されるロボット。感情を必要としない...

27日 ロボット名古屋世界大会

27日 ロボット名古屋世界大会

2017年7月22日 中日新聞

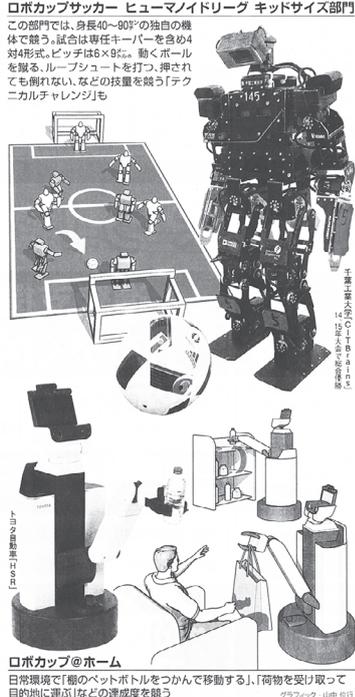
2017年7月21日 中日新聞

科学の扉

ロボサッカー 進化20年

ロボットによるサッカーの国際大会「ロボカップ」が始まって20年...

- 1993 日本研究者が提唱
95 構造的論文を人工知能の国際会議で発表
97 第1回大会(名古屋) シミュレーション、小型、中型の3リーグ...



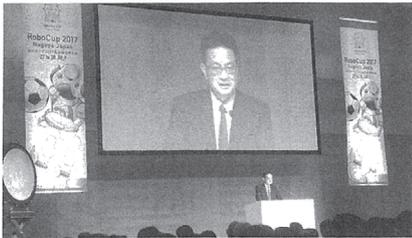
ロボカップサッカー ヒューマノイドリーグ キッドサイズ部門
この部門では、身長40〜90cmの独自の機体で競う...

体と頭脳 2050年「人に勝つ」目標

ロボットの進化。2050年「人に勝つ」目標。ロボットの進化は...

2017年7月23日 朝日新聞

ロボカップ開会式 名古屋



ロボカップ2017名古屋大会の開会式。会場は名古屋市の港区にある「ポートメッセなごや」で開かれた。27日、今回初めて、身長1メートル以上のロボットの出場も予定されている。

自律移動型ロボットの世界大会「ロボカップ2017名古屋」が26日、名古屋市の港区にある「ポートメッセなごや」で開かれた。27日、今回初めて、身長1メートル以上のロボットの出場も予定されている。

5分野・26サブリーグで技術競う

ロボットの製作補助「インダストリアル」や「ドローン」など、26のサブリーグで技術競う。大会は、名古屋市の港区にある「ポートメッセなごや」で開かれた。27日、今回初めて、身長1メートル以上のロボットの出場も予定されている。

42カ国・地域 393チーム参加

ロボットの製作補助「インダストリアル」や「ドローン」など、26のサブリーグで技術競う。大会は、名古屋市の港区にある「ポートメッセなごや」で開かれた。27日、今回初めて、身長1メートル以上のロボットの出場も予定されている。



大会に先立ちロボットのサッカー練習が公開された（26日、名古屋市港区）

「ロボカップ」名古屋で開幕

「ロボカップ」名古屋大会が26日、名古屋市の港区にある「ポートメッセなごや」で開幕した。大会は、42カ国・地域から393チームが参加する。ロボットの製作補助「インダストリアル」や「ドローン」など、26のサブリーグで技術競う。大会は、名古屋市の港区にある「ポートメッセなごや」で開かれた。27日、今回初めて、身長1メートル以上のロボットの出場も予定されている。

▲2017年7月27日 日本経済新聞



ヒト型ロボットをサッカーで対戦した（27日、名古屋市港区）

サッカーだって滑らかに

ロボットの製作補助「インダストリアル」や「ドローン」など、26のサブリーグで技術競う。大会は、名古屋市の港区にある「ポートメッセなごや」で開かれた。27日、今回初めて、身長1メートル以上のロボットの出場も予定されている。

ロボカップ 名古屋で開幕

ロボットの製作補助「インダストリアル」や「ドローン」など、26のサブリーグで技術競う。大会は、名古屋市の港区にある「ポートメッセなごや」で開かれた。27日、今回初めて、身長1メートル以上のロボットの出場も予定されている。

▲2017年7月27日 日本経済新聞

戦術プロ並み ロボサッカー

▲2017年7月27日 日刊工業新聞

ロボットの製作補助「インダストリアル」や「ドローン」など、26のサブリーグで技術競う。大会は、名古屋市の港区にある「ポートメッセなごや」で開かれた。27日、今回初めて、身長1メートル以上のロボットの出場も予定されている。

きょうから名古屋で大会



▲2017年7月27日 読売新聞

AI進化で実力急上昇

ロボットの製作補助「インダストリアル」や「ドローン」など、26のサブリーグで技術競う。大会は、名古屋市の港区にある「ポートメッセなごや」で開かれた。27日、今回初めて、身長1メートル以上のロボットの出場も予定されている。

レスキュー 世界のロボ躍動

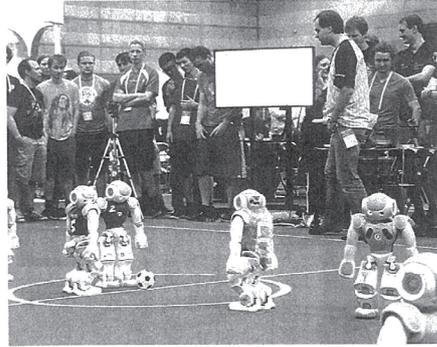
ロボットの製作補助「インダストリアル」や「ドローン」など、26のサブリーグで技術競う。大会は、名古屋市の港区にある「ポートメッセなごや」で開かれた。27日、今回初めて、身長1メートル以上のロボットの出場も予定されている。



ロボカップ2017名古屋大会が始まり、レスキュー部門で競う参加者たち（27日、名古屋市の港区にある「ポートメッセなごや」で撮影）

▲2017年7月27日 中日新聞

ロボ技術見せた競った



多くの観戦者で盛り上がった小型ヒト型ロボットのサッカー決勝戦（30日、名古屋市港区）

名古屋市で開かれた「ロボカップ2017名古屋世界大会」が30日、古巣世界大会が30日、閉幕した。サッカーや家事支援、災害救助などの全ての競技を終え、優勝チームを表彰した。観客連れの観戦が詰めかけ、小型ヒト型ロボが点を取り合うサッカーでは観戦者から笑い声も聞かれるなど盛り上がりを見せた。

約40の国・地域から388チームが出場し、日本からは53チームが参加

名古屋のロボカップ閉幕

家事支援、九州工大がV

した。今回から新たな競技として採用された家事支援ロボの人工知能（AI）が、特別賞を受賞した。

（I）技術を競う部門では、九州工業大学のチームが優勝した。同大の田向権准教授は「最先端のAIを生かす学生のチームワークが抜群だった」と感じ、ボールを足の間には激した様子だった。玉川さんだりして転倒したりするロボも多く、時折笑いや歓声が上がった。ゴール前では混戦となり、観客は興奮した様子だった。

ロボカップはこれまでサッカーの試合をする部門16カ国で開催。17年の名古屋世界大会には27日、立大学の混成チームが優勝。共通ロボットを使ってサッカーのAI技術を競う種目では、愛知県立

▲2017年7月31日 日本経済新聞

ロボカップが閉幕



「ロボカップ2017名古屋世界大会」のサッカー部門で、3位決定戦の試合をする千葉工業大のロボット（右と中央）＝30日午後、名古屋市

約40の国・地域の約400チームが名古屋市国際展示場（同市港区）などで人工知能（AI）の性能を競った「ロボカップ2017名古屋世界大会」が30日、閉幕した。事前にプログラミングミソクした選手がテレビ画面でサッカーの試合をする部門で、福岡大と大阪府立大の混成チームが優勝するなど日本勢も活躍した。

身長40〜90センチの小型ヒト型ロボットがサッカーをする部門では千葉工業大のチームが3位に入り、4年の学生リーダー「関澤太さん（23）」は「入賞できたのは良かったが、ロボットが自陣ゴールに向かってしまう不具合が起ころうと課題が残った」と振り返った。

競技はサッカーのほか、災害時を想定して救助活動の技術を競う「レスキュー」など計5部門。日本からは千葉工業大を含め約50チームが出場した。

ロボカップは1997年に名古屋で1回目が開かれて以来、毎年開催。人型ロボットが2050年までにサッカーのワールドカップ優勝チームに勝つのを目標にしている。次回大会はカナダのモントリオールで開催。

▲2017年7月31日 中部経済新聞



表彰式で笑顔を見せる愛知県立大チーム＝30日、名古屋市港区で

自律移動ロボットが競う「ロボカップ2017名古屋世界大会」（中日新聞社共催）最終日の30日、14種目の決勝戦が名古屋市港区のポートメッセなごやで行われた。高さ約58センチの人型ロボットがサッカーをする種目では、愛知県立大チームが優勝した。同チームのメンバーは、表彰台に上がると拳を振り上げるなど大喜

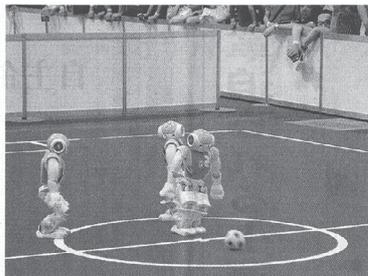
ロボカップ閉幕 技術の進歩誓い

び。学生リーダー日高憲太さん（24）は「世界の舞台で優勝できてうれしい。今後も研究を続ける励みになる」と声を弾ませた。閉会式で、大会を主催するロボカップ国際委員会の北野宏明理事が「社会や産業の役に立とうと、この20年でロボット技術は進歩した。次の20年も創造力を高め、進歩を加速させよう」と呼び掛けた。

▲2017年7月31日 中日新聞



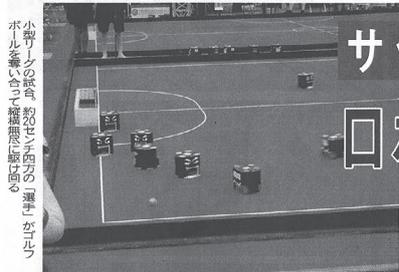
試合が始まると、フィールドの周りには黒山の人たかりが



相手の動きを予測し、ボールを蹴りこむのが得意



中型リーグはボールも実物大のものを使うので迫力満点



小中学生の試合、約20センチ四方の「選手」がゴールボールを奪い合って競り合っている

サッカー世界チャンピオンチームを破る!!

ロボット工学とAIを融合

ロボカップ2017

西暦2050年までにサッカーの世界チャンピオンチームに勝てる自律型ヒューマノイドロボットのチームを作る。サッカーを通じてロボット工学と人工知能の融合を図るランドマークプロジェクト。ロボカップの世界大会「ロボカップ2017名古屋」が7月27〜30日の4日間、名古屋市のボイトモツもぎやで開催された。

サッカーを題材にしたロボット競技大会「ロボカップ」が、現在ではロボカップの大会で、世界中のロボット愛好者が参加している。大会では、ロボット工学と人工知能の融合を図るランドマークプロジェクト。ロボカップの世界大会「ロボカップ2017名古屋」が7月27〜30日の4日間、名古屋市のボイトモツもぎやで開催された。



TOYOTA Partner Robot

災害救助や物流、倉庫管理も題材に

ロボカップの大会は、ロボット工学と人工知能の融合を図るランドマークプロジェクト。大会では、ロボット工学と人工知能の融合を図るランドマークプロジェクト。大会では、ロボット工学と人工知能の融合を図るランドマークプロジェクト。



ロボカップ2017名古屋大会の会場

ロボカップの大会は、ロボット工学と人工知能の融合を図るランドマークプロジェクト。大会では、ロボット工学と人工知能の融合を図るランドマークプロジェクト。大会では、ロボット工学と人工知能の融合を図るランドマークプロジェクト。



▲2017年8月19日 日刊自動車新聞

2050年、ロボットがサッカーでワールドカップ(W杯)王者に勝利する。こんな大きな目標を掲げた世界大会が始まり、今年で20年を迎えた。その間、ロボットのプレーや戦術は着実に進化してきた。囲碁や将棋で人工知能(AI)がトッププロを回る実を身につけたと同様に、「身体」を備えたAIがサッカーで人を超える日は来るのか。

7月、名古屋市で開かれた「ロボカップ」には42カ国・地域から3000人近い研究者や学生が集まった。1997年に始まった世界大会で、ロボット競技の祭典だ。メインとなるサッカーは小型、中型、大型など5つのカテゴリに大別される。進歩が著しいのが車輪付きの中型だ。扱うボールは人と同じで、バレーボールのコートほどの大きさのピッチを車輪で縦横無尽に30分間、走り回る。人は操作せず、1チーム5

サッカーロボ 連係巧み

台のロボットが自律走行する。味方向土が情報をやり取りしながら、搭載したAIの判断に基づきプレーしたり、作戦を組み立てたりする。今回、優勝したのは中国チーム。準備はオランダだった。こうして強豪チームの攻

撃はロボットの自律動作とは思えないほど優れていた。例えば、有効なスペースを見つけて10メートル以上の距離でも正確なパスを通す。浮き球を使ったシュートでゴール隅を狙う。守備の際もスキルを作るま

いと素早く敵のパスコースを

らされる。子供がボールに密集する「回子サッカー」とはレベルが違ふ。「小学校低学年より高度なプレーができる」

AIが戦略判断、進化着々

切る。ピンチには2〜3台がシュートのコースをぎざぎざ、ボールを砕いて飛ばさせない。ロボカップ日本委員会の武村泰範・西日本工業大学准教授は「今年から高精度なスル

動を予測し、守備の間を切り裂く見事なパスを見せた。こうした連係で攻撃側が有利になるスペースを探し、守備は壁をワークして空間を埋める駆け引きが繰り返

と武村准教授は見る。ただ、中型では1メートル以上のドリブルは禁止されており、華麗なドリブルは認めない。ロボカップの提唱者の一人である大阪大学の浅田稔教授

パス。ロボットの動きは、着実に人に近づいている。こうしたレベル向上の背景にはハードウェアの技術の進化がある。カメラで捉えるピッチの白線から自らの場所を把握し、センサーも駆使してボールやゴール、敵味方のいる位置を正確に捉えて精度の高いプレーにつなげる。さらに勝敗を左右するのがAIだ。上位チームのロボットは大量の学習データに基づき、場面に応じて効果的なプレーを選択している。しかし、W杯王者に打ち勝つには、まだまだ遠い。そもそも現在のロボットは機体が硬く、人にケガを及ぼす恐れがある。全力で人と戦うには、まず軟らかいボディを持つ人型ロボットが必要だ。

は「第1回とは比べものにならない動き」と感嘆する。かつてはロボットがボールを認識できず1分以上動かない場面もあり「試合として成立していなかった」という。1対1のパス連係が可能になったのは05年で、その距離は1年には2〜3倍、15年には10倍以上延びた。そして今大会で見せた高度なスル

その人型は急速に進化しているとはいえ、車輪型より制御が難しい。2本の足で機体を支え、芝の上を普通に歩くのも簡単ではない。今回の大会でも、人型ロボットのカテゴリには倒れる場面が目立ち、改善の余地が大きいことを印象づけた。千葉工業大学

の入江清上席研究員は「ハード面で革新が必要だ」と話す。一流選手のプレーは華麗だ。例えば14年のW杯フランス大会でMVPに輝いたアルゼンチンのメッシ選手のドリブル、敵のわずかな重心移動さえ見逃さず、ボールを数センチ単位で操りフェイントも織り交せて相手の逆を狙う。筑波大学サッカー部の顧問を務める浅井武教授は「目の前の情報を読み取り、成功率が高い選択肢を採用して身体の動きにつなげる。一流選手は一連の作業を脳の中で無意識にこなせる」と話す。周囲の状況を判断してプレーする人もロボットも同じだが、AIを駆使してもしなやかで細かな動きにつなげるのは現時点では困難だ。ただ、プロ棋士に勝利する難となった技術「深層学習(ディープラーニング)」がロボカップで本格的に使われるのはこれからだ。

「体」はまだまだまだ、一流選手並みの戦略・戦術を身につけたロボットが登場するのは意外に早いかもしれない。(松添亮甫)



2050年にW杯王者に勝つのが目標

中型ロボットは技術の進歩が著しい



東京工芸大のロボット。高さ80センチ、幅52センチ以下

見る

360度を見渡すカメラで自分の立ち位置やボール、敵を把握

考える

機体内のコンピューターで自力で状況を判断、プレー

走る

3〜4個の車輪で縦横無尽に移動

トラップ

吸い寄せるようにボールを受け止める

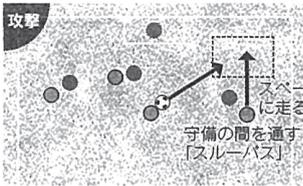
キック

電磁力を利用してボールを蹴り出す

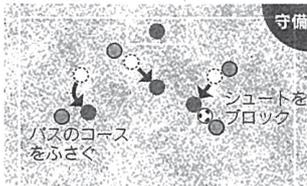


人型のロボットは歩行、キックとも制御が難しい(千葉工業大のロボット)

強豪チームにできる動き



そのほか
・ゴール隅を狙ったシュート
・浮き球を使う
・10メートル超のロングパス



そのほか
・機体を寄せてボールを奪う
・パスをカットする
・キーパーは「腕」を伸ばしてセーブ

グラフィックス 貝瀬 周平

キョウフ

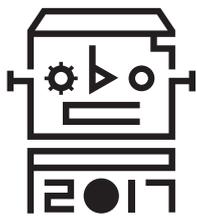
ロボカップ

日本発祥、産業へ応用も

ロボカップは日本の研究者らによって発案されたロボット競技会だ。第1回の世界大会は1997年に名古屋市で開かれた。ロボット工学と人工知能(AI)の融合などを掲げる。2050年に人間のサッカーワールドカップ(W杯)王者に勝つロボットチームを作るのが目標だ。

社会に役立つ技術を生み出す狙いもある。当初のサッカーから分野は広がっており、現在は災害現場での救助ロボット、家庭での生活支援に役立つロボット向けの競技もある。

東京電力福島第1原子力発電所の内部調査に投入された千葉工業大学のロボットや、倉庫で荷物を自動搬送する米アマゾンシステムなどにもロボカップの成果が生きている。



RoboCup 2017
Nagoya Japan

ロボカップ2017名古屋世界大会 開催報告書

2017年(平成29年)12月

編集・発行:ロボカップ2017名古屋大会開催委員会
制作:株式会社インターグループ

Sponsors of RoboCup 2017

Global Sponsors



Platinum Sponsors



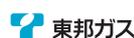
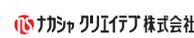
Gold Sponsors



Silver Sponsors



Bronze Sponsors



Official Logistics Partner



この事業は、競輪の補助を受けています。
<http://hojo.keirin-autorace.or.jp>



RoboCup 2017
Nagoya Japan

ロボカップ2017名古屋大会開催委員会